



intuos[®]5



ユーザーズガイド

Intuos5 touch (PTH-450, PTH-650, PTH-850)

Intuos5 (PTK-450, PTK-650)

作業環境を整える

ペンを使う

ペンをカスタマイズする

タブレットを使う

タブレットをカスタマイズする

タッチ操作

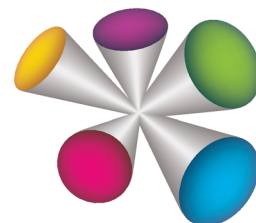
タッチ入力のカスタマイズ

ラジアルメニューを使う

特定のソフトウェアに対する設定

ワイヤレス通信

トラブルシューティング





製品の保証について

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから1年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

Wacom、Intuos は、株式会社ワコムの登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

Intuos5 シリーズユーザーズガイド

Version 1.1, Rev F2312

©2012 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。

しかしながら、マニュアルがユーザーに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。





目次

本書について	5	ペン入力をカスタマイズする	50
Intuos5 シリーズについて	6	ペン先の感触とダブルクリックを調整する	51
機種の特徴	6	テールスイッチ（消しゴム）の感触を調整する	52
タブレット表面	7	ペン先とテールスイッチ（消しゴム）の 詳細な設定	52
Intuos5 touch タブレット	7	サイドスイッチのカスタマイズ	53
Intuos5 タブレット	8	傾き感度のカスタマイズ	54
タブレット裏面（共通）	9	タブレット機能のカスタマイズ	54
ペン	10	ファンクションキーのカスタマイズ	55
姿勢と作業環境を整える	11	タッチホイールのカスタマイズ	56
正しい姿勢	11	タブレットを画面にマッピングする	57
タブレットの向きを設定する	13	表示エリア	59
USB 接続ケーブルの取り付け	14	タブレット操作エリア	60
タブレットの操作エリアについて	15	ボタン機能	61
マルチディスプレイへのマッピング	17	ラジアルメニューの使い方と設定	68
コントロールパネルの使い方	17	マッピング画面切り替えを使う	69
Intuos5 シリーズを使う	18	特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定	71
ペンを使う	18	特定のソフトウェアに対する設定を作成する	72
ペンの持ち方	19	特定のソフトウェアに対する設定を変更する	73
ポインタの移動	20	特定のソフトウェアに対する設定を削除する	73
クリック	21	複数の入力デバイスでの作業	74
ドラッグ	21	タブレットモードの変更	75
サイドスイッチを使う	22	オプション設定	76
筆圧を使って描画する	23	Intuos5 シリーズをワイヤレスで使う	77
ペンを傾けて描画する	23	ワイヤレスキットの構成	77
消しゴム	24	ワイヤレスキットの取り付け	78
画面を見ながらペンを使う	24	ワイヤレス通信の確立	79
タブレットを使う	25	ワイヤレス通信を最適化する	80
ファンクションキーを使う	26	電池および電源管理	81
タッチホイールを使う	28	電池の充電	81
Intuos5 touch シリーズのタッチ機能を使う	29	電池およびワイヤレス通信の状態	82
タッチによる操作	30	省電力機能	83
タッチのカスタマイズ	40	電池寿命について	84
タッチオプションを設定する	41	電池を交換する	85
ジェスチャーの標準設定	42	ワイヤレスモジュールを取り外す	86
ジェスチャーの個人設定	43	ワイヤレスレシーバーの保管	87
タッチ入力を無効にする	44	ワイヤレス通信のテスト	88
タッチのテスト	45		
Intuos5 シリーズをカスタマイズする	46		
コントロールパネルを開く	47		
コントロールパネル概要	48		





トラブルシューティング	89	エクスプレビューを使う	110
タブレットのテスト	90	設定ファイルの管理	111
タブレットおよび入力デバイスのテスト	92	複数タブレットの設置	112
ファンクションキーのテスト	93	タブレットコントロールができる処理が	
タッチホイールのテスト	93	組み込まれたソフトウェアを使う	113
ペンのテスト	94	上級者向けの設定を組み込む	114
トラブルシューティング情報	95	エアブラシとアートペンを使う	115
一般の問題	95	マウスの使用	116
ペンの問題	96	マウスボタンのカスタマイズ	117
タッチの問題	99	マウスのテスト	118
ワイヤレス通信の問題	100	Windows でのペンおよびデジタルインク	
Windows の問題	102	入力機能	119
Mac の問題	103	製品情報	120
テクニカルサポート	105	オプション品の注文	121
ドライバのダウンロード	106	用語	122
付録	107	索引	125
Intuos5 シリーズのお手入れ	107	お問い合わせ／修理依頼票	127
芯を交換する	108		
タブレットドライバのアンインストール	109		





本書について

本書は、[Intuos5](#) の使い方や機能について説明しています。本書に記載される情報は、Windows と Mac コンピュータに共通するもので、特に記載のない限り、Windows の画面を使用しています。

- [目次](#)または[索引](#)で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。



表紙へ移動します。

目次

目次のはじめへ移動します。

索引

索引のはじめへ移動します。



1つ前に表示したページに戻ります。



ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

[トピック](#)

トピックへ移動します。



トピックの続きへ移動します。

- ご使用のディスプレイ上でユーザーズガイドのサイズを拡大するには、PDF ビューアのズームインツールを使用します。その他のツールの使用方法とユーザーズガイドの印刷については、ビューアソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「」で囲まれた文字は、キーボードのキー、ダイアログボックス、コントロールパネルのオプションの名前を特定するのに使用しています。
- タブレットドライバ CD-ROM には、「製品に関する重要なお知らせ」が収録されていますので、必ずお読みください。「製品に関する重要なお知らせ」には、製品安全上のご注意、製品仕様、規制文書、およびライセンス（タブレットドライバソフトウェア使用許諾契約）が含まれています。
- お客様のコンピュータのハードウェアないしオペレーティングシステムに関する情報、またはソフトウェアに関する情報は、本製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルおよび CD-ROM または DVD-ROM を参照してください。
- Microsoft Windows 7 および Windows Vista のインク機能のほか、多くのグラフィックソフトが筆圧機能および消しゴム機能に対応しています。これらの機能に対応するソフトウェアについては、ワコムホームページに記載されております。[製品情報](#)をご覧ください
- 特定のソフトウェアでタブレットの機能を最大限に活用する方法については、そのソフトウェアに付属のマニュアルをお読みください。

補足：本書では、タブレットドライバのインストール方法は説明しておりません。製品に付属する「クイックスタートガイド」を参照し、自動ソフトウェアインストーラ（タブレットドライバ CD-ROM に収録）をお使いください。

タブレットドライバ、本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。



Intuos5 シリーズについて

この章では、Intuos5 シリーズの概略を説明します。

- Intuos5 シリーズでは互換性のあるワコム製の入力デバイス（付属のペン、または Intuos5 シリーズに対応しているオプション品）以外は使用できません。それ以外の入力デバイスは正しく動作しない可能性があります。
[オプション品の注文](#)をご覧ください。

Intuos5 シリーズは以下の 2 つの基本製品で構成されています：

- タブレット：操作エリアとして機能します。
- ペン：入力デバイスとしてタブレット上で使います。

機種の特徴

[タブレット表面 Intuos5 touch タブレット](#)

[タブレット表面 Intuos5 タブレット](#)

[タブレット裏面（共通）](#)

[ペン](#)


機種の特徴


Intuos5 シリーズの各機種には、それぞれ以下のような特徴があります。[ワイヤレスキット](#)はオプション品ですが、製品構成によっては同梱されているモデルがあります。

機種名	タッチ入力	ペン入力	ファンクションキー	タッチホイール	ワイヤレスキット対応
Intuos5 touch	○	○	○	○	○
Intuos5		○	○	○	○

本書では一部のトピック見出しの近くに以下のアイコンが表示され、そのトピックがタッチ入力またはペン入力についての情報であることを示します。Intuos5 シリーズの全機種に共通の章では、アイコンは使用されません。

各機種で共通のトピックにはアイコンは表示されません。必要に応じて機種固有の補足を記載します。

- タッチ入力の情報：

- ペン入力の情報：

タブレット表面

Intuos5 touch タブレット



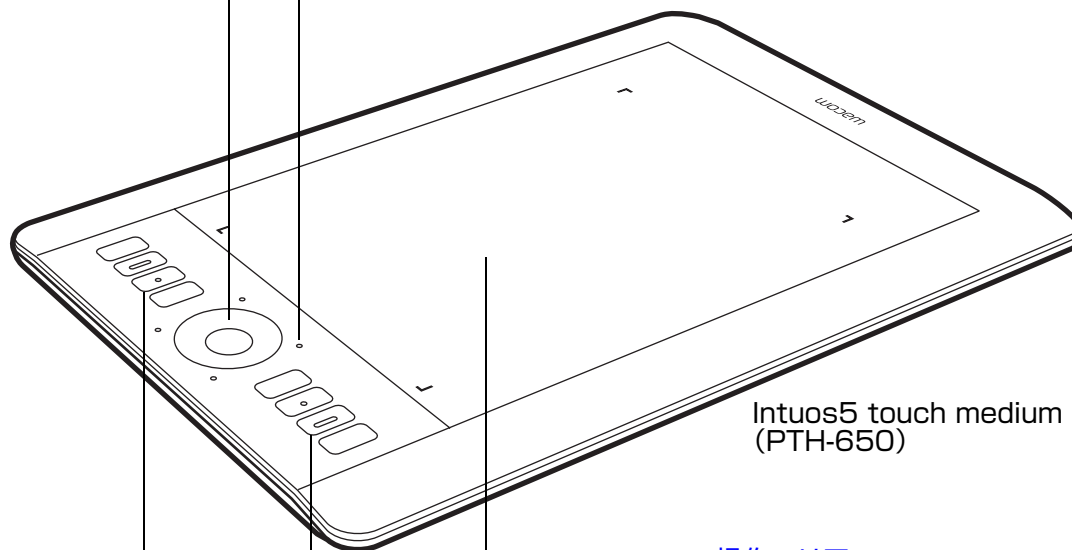
[タッチホイール](#)

ホイール中央の切り替えボタンは、タッチホイール機能を切り替えたり、ワイヤレス通信時にスリープモードから復帰させることができます。

ステータスランプ

- 利用可能な USB ポートに接続すると、ランプの1つが点灯します。
- 操作エリアにタッチしたり、ペン、タッチホイールまたはファンクションキーを使うと明るく点灯します。
- タッチホイール機能を切り替えると、対応するランプが点灯します。

ワイヤレス通信については、[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。



Intuos5 touch medium
(PTH-650)

[ファンクションキー](#) (カスタマイズ可能)

Intuos5 touch small (PTH-450) では、ファンクションキーは6個です。

[エクスプレビューを使う](#)もご覧ください。

[操作エリア](#)

操作エリアマーカー (ランプ) は、ペン入力とタッチ入力の操作エリアを示すためのランプです。[ペン](#)および [Intuos5 touch シリーズのタッチ機能を使う](#)をご覧ください。

操作エリアマーカー (ランプ) とステータスランプの明るさを設定する方法については、[オプション設定](#)をご覧ください。



Intuos5 タブレット



[タッチホイール](#)

ホイール中央の切り替えボタンは、タッチホイール機能を切り替えたり、ワイヤレス通信時にスリープモードから復帰させることができます。

[ファンクションキー](#) (カスタマイズ可能)

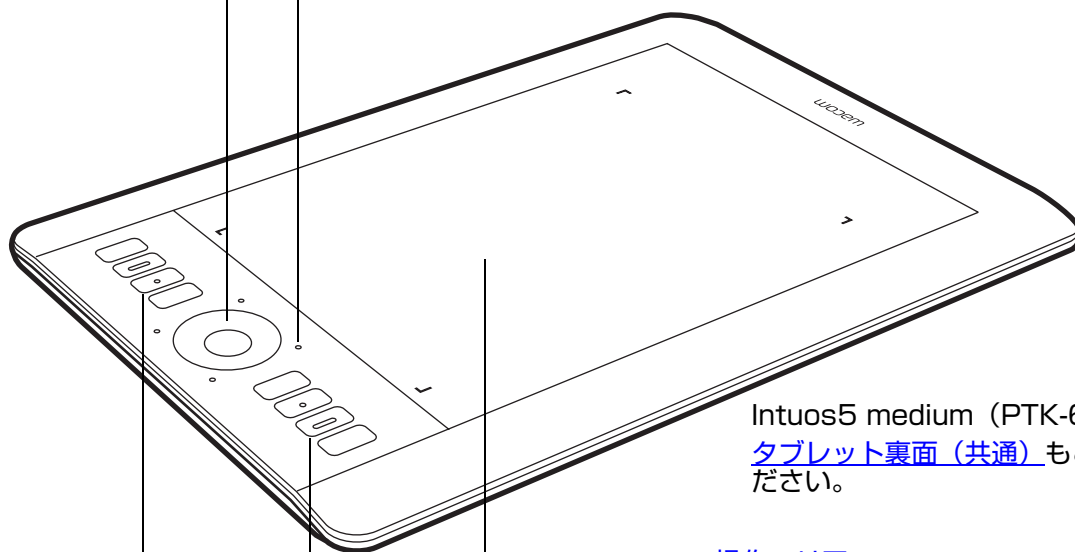
Intuos5 small (PTK-450) では、ファンクションキーは6個です。

[エクスプレビューを使う](#)もご覧ください。

ステータスランプ

- 利用可能な USB ポートに接続すると、ランプの1つが点灯します。
- ペン、タッチホイールまたはファンクションキーを使うと明るく点灯します。
- タッチホイール機能を切り替えると、対応するランプが点灯します。

ワイヤレス通信については、[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。



Intuos5 medium (PTK-650)
[タブレット裏面 \(共通\)](#) もご覧ください。

[操作エリア](#)

操作エリアマーカー (ランプ) は、ペン入力の操作エリアを示すためのランプです。[ペン](#)をご覧ください。

操作エリアマーカー (ランプ) とステータスランプの明るさを設定する方法については、[オプション設定](#)をご覧ください。

タブレット裏面（共通）

ワイヤレスモジュール収納部

ワイヤレスレシーバー収納部

[Intuos5 シリーズをワイヤレスで使う](#)をご覧ください。

ワイヤレスキットカバー

[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。

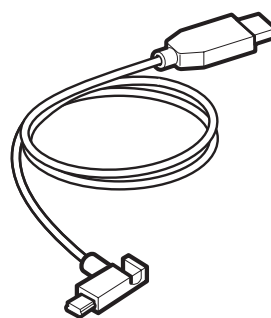
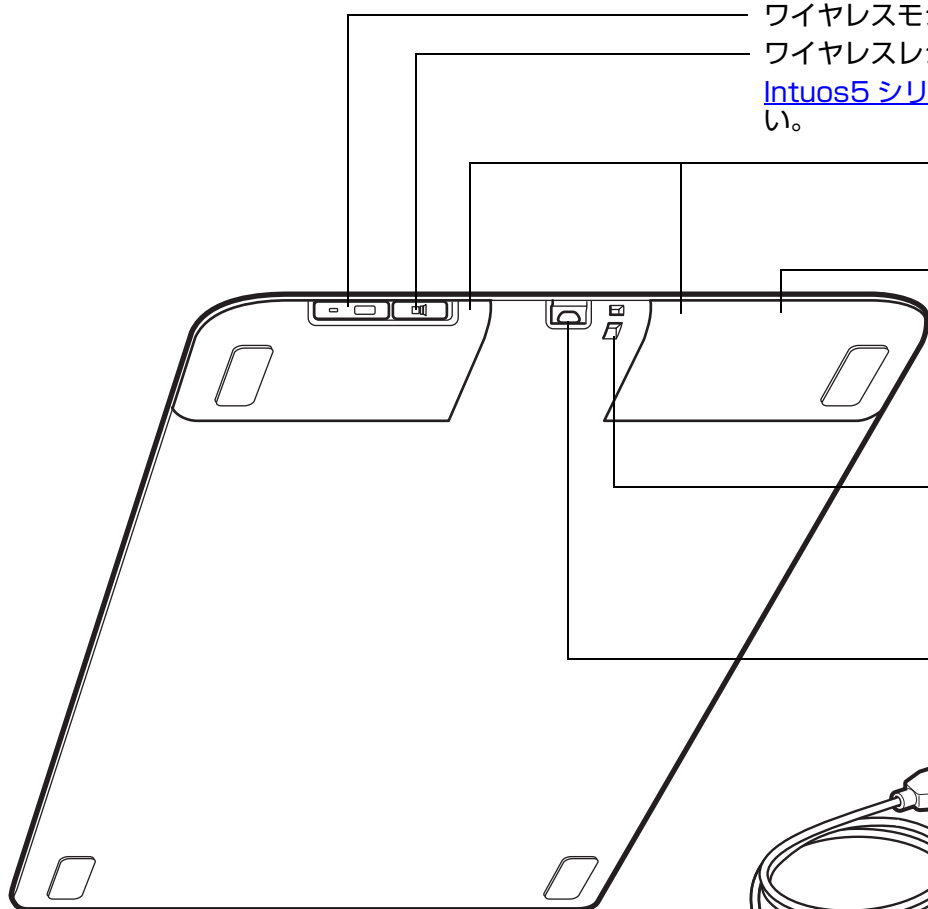
電池収納部

small サイズのタブレット (PTH-450、PTK-450) では、ワイヤレスキットカバーは 2 つに分かれていません。

ケーブル取り付け穴

市販のセキュリティーケーブルなどを取り付けられます。

USB ポート



USB 接続ケーブル
(取り外し可能)

タブレットを保管したり持ち運ぶ際には、タブレットから取り外してください。また、ケーブルをタブレットの周囲に巻き付けないようにしてください。

USB プラグにはケーブルのループ用クリップがあります。詳しくは [USB 接続ケーブルの取り付け](#) をご覧ください。

ペン



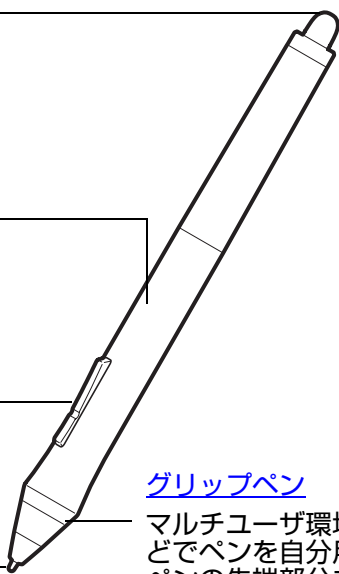
付属のグリップペンはコードレスで、電池は不要です。

[テールスイッチ](#)
(消しゴム)

グリップ部

[サイドスイッチ](#)
(取り外し可能)

[ペン先](#)
(交換可能)

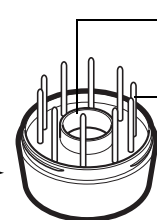


[グリップペン](#)

マルチユーザ環境で作業する場合などでペンを自分用にしたいときは、ペンの先端部分を回して軸から外し、付属品のカラーペンリングを他の色と交換することができます。

ペンスタンド

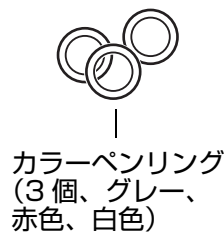
ペンスタンドの下部を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出すことができます。



芯抜き

替え芯

- 標準芯 (5本、黒色)
- ハードフェルト芯 (3本、グレー)
- エラストマー芯 (1本、中心が白色、外縁が黒色)
- ストローク芯 (1本、白色、バネ付き)



カラーペンリング
(3個、グレー、赤色、白色)

グリップペンの機能をサポートしているソフトウェアについては[製品情報](#)をご覧ください。その他の入力デバイスおよび付属品については、[オプション品の注文](#)をご覧ください。

姿勢と作業環境を整える

疲労が軽減するように、作業環境を整えて楽に作業できるようにしてください。タブレット、ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるようディスプレイを調整してください。画面のポインタがタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置いてください。

[正しい姿勢](#)

[タブレットの向きを設定する](#)

[USB 接続ケーブルの取り付け](#)

[タブレットの操作エリアについて](#)

[マルチディスプレイへのマッピング](#)

[コントロールパネルの使い方](#)

正しい姿勢



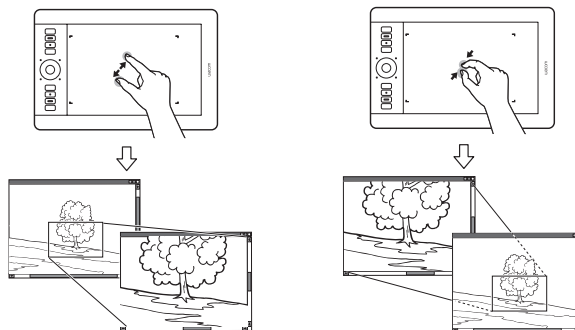
補足：Intuos5 が原因と思われる反復性ストレスの徴候、障害、あるいは症状についての治療や予防の説明、約束、保証はいたしかねます。必ず医師の診断を受け、適切な処置をとるようにしてください。

以下の項目にご注意ください。

- 常に良い姿勢を保ってください。
- Intuos5 を操作するときはなるべく力を抜いてください。
- 目の健康のため、一定の時間ごとにディスプレイから目を離して、室内の他のものを眺めるようにしてください。
- 作業の合間に休憩をとり、筋肉を伸ばしたり、リラックスさせてください。
- 1 日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行ってください。作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。
- 不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- タブレットで絵を描いたり、写真を加工したりする場合は、タブレットをキーボードの手前、ディスプレイに対して中央に置くことをおすすめします。
- 右手で使う場合は、操作エリアがファンクションキーの右側に来るようにタブレットを置いてください。左手で使う場合は、操作エリアをファンクションキーの左側にしてください。[タブレットの向きを設定する](#) をご覧ください。
- タブレットを通常のマウスの代わりに使う場合はキーボードの右または左に置くことをおすすめします。

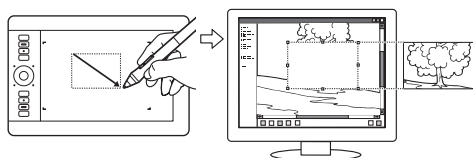


Intuos5 シリーズは、日常の様々なシーンでお使いいただけます。Intuos5 touch をお使いの場合は、従来の画面操作などがタッチ操作でも可能になります。



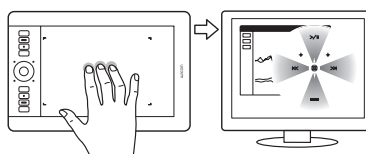
ズームング (拡大)

タブレット上で 2 本の指を使って、画像の倍率を大きくまたは小さくします。



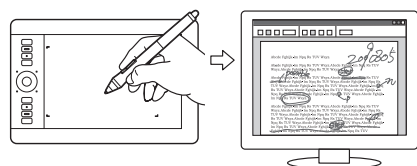
画像加工

ペンを使って、画像編集ソフトウェアの中で絵や写真を編集します。



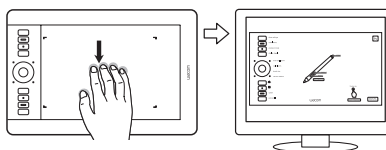
ラジアルメニューの表示

3 本の指でタブレット操作面をタップし、ホールドすることで [ラジアルメニュー](#) を開くことができます。



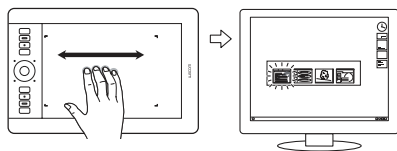
アノテーション (書き込み)

ペンを使って文書にマーキングや注釈をつけることで、文書レビューが簡単になります。



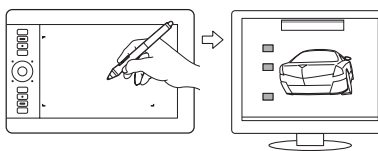
タブレット設定の表示

タブレット操作面で 5 本の指を下方向にスワイプすることでタブレットの設定を表示し、簡単にカスタマイズすることができます。



ソフトウェアの切り替え

タブレット操作面で 4 本の指を左右にスワイプすることで、アプリケーションスイッチャーを開くことができます。



描画

お好きなソフトウェアで、ペンを使ってフリーハンドで絵を描くことができます。

これらを含めたタブレットの使い方の詳細については、[Intuos5 touch シリーズのタッチ機能を使う](#)、[ペンを使う](#)または[タブレットを使う](#)をご覧ください。

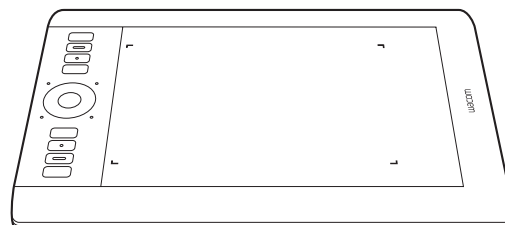
タブレットの向きを設定する

タブレットドライバのインストール中に、タブレットの向きを選択するよう求められます。ここで選択した向きが、タブレットの標準設定となります。

しかし、左利きまたは右利きのユーザに合わせて、いつでもタブレットの設定を変更することができます。利き手の設定を変更すると、自動的にファンクションキーとタッチホイールの設定が変更されます。

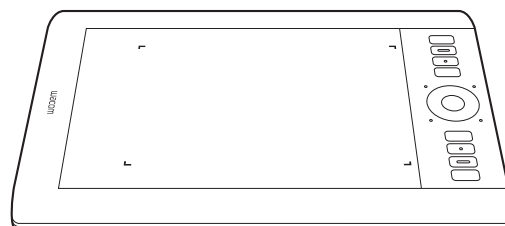
右利き用

- [コントロールパネルを開いて](#)、「[マッピング](#)」タブを選択します。「[ファンクションキーを左側](#)」を選択します。タブレットの設定（コントロールパネルのオプションも含む）が自動的に右利き用に調整されます。
- 次に、タブレットの向きを変えて、ファンクションキーが左側に配置されるようにします。[USB 接続ケーブルの取り付け](#)をご覧ください。



左利き用

- [コントロールパネルを開いて](#)、「[マッピング](#)」タブを選択します。「[ファンクションキーを右側](#)」を選択します。タブレットの設定（コントロールパネルのオプションも含む）が自動的に左利き用に調整されます。
- 次に、タブレットの向きを変えて、ファンクションキーが右側に配置されるようにします。[USB 接続ケーブルの取り付け](#)をご覧ください。



タブレット操作面でペンを上方向に動かして、向きが正しく設定されていることを確認してください。

縦長のディスプレイで作業する場合：

- 「[ファンクションキーを上側](#)」を選択し、タブレットを時計回りに 90 度回転させて使用します。タッチホイールとファンクションキーは上側に配置されます。
- 「[ファンクションキーを下側](#)」を選択し、タブレットを反時計回りに 90 度回転させて使用します。タッチホイールとファンクションキーは下側に配置されます。

ヒント：オプション品のマウスをご使用の場合、コントロールパネルで「[オプション…](#)」ボタンをクリックし、右利きまたは左利きに合わせて設定します。[オプション設定](#)をご覧ください。

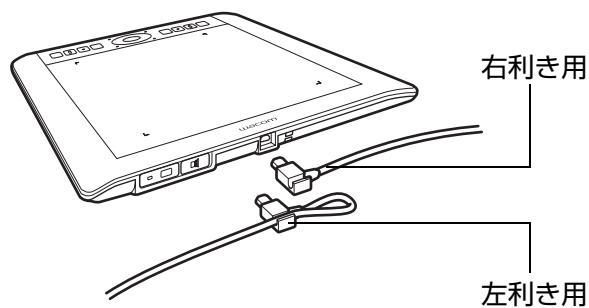
補足：この操作により標準設定が変更されることはありません。このためログオンおよびユーザの切り替え画面では、タブレットドライバのインストール時に選択した向きでのご使用になります。標準設定としてのタブレットの向きを変えたい場合は、タブレットドライバを再インストールしてください。



USB 接続ケーブルの取り付け

1. USB 接続ケーブルはユーザの利き手に合わせて接続を変更できます。
 - 右利きの場合は、USB 接続ケーブルをそのまま接続します。
 - 左利きの場合は、USB 接続ケーブルで緩いループを作り、USB プラグのループ用クリップに押し込みます。
2. USB 接続ケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータの USB ポートに接続します。

[タブレットの向きを設定する](#)をご覧ください。



タブレットの操作エリアについて

Intuos5 シリーズは、機種によってペン入力、またはタッチ入力とペン入力を行うことができます。

ペン入力

タブレットの操作エリアにペンを置くと、ポインタは画面の対応する場所にジャンプします。画面のポインタはペンの位置を示し、タブレット操作エリアのペンの動作に従います。

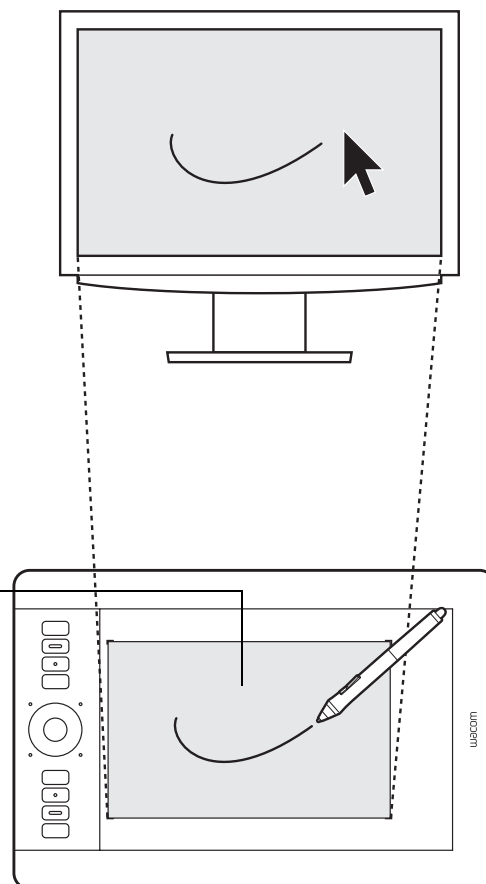
[ペンを使う](#)をご覧ください。

補足：操作エリアはコンピュータ画面の表示域に割り当てられます。標準設定では、画面全体、またはディスプレイが複数ある場合はすべてのディスプレイに割り当てられています。ペン入力時のタブレット操作エリアとディスプレイ画面のマッピングを設定するには、[タブレットを画面にマッピングする](#)をご覧ください。

タブレットの操作エリアとは、ペン入力やタッチ入力を検出するタブレット上の領域を指します。

ペン入力とタッチ入力の両方に対応する機種の場合：

ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの[検出範囲](#)内にある場合、タッチ入力は無効になります。タブレットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力ができるようになります。



タッチ入力

タッチ入力可能な Intuos5 touch では、以下のことができます。

- タブレットの操作エリア上で指をスライドさせてディスプレイ画面のポインタを動かす
- クリックおよび右クリック
- スクロールおよびズーム
- ほとんどの Web ブラウザや文書 / 写真ビューワでのページの移動
- ラジアルメニューの表示
- ソフトウェア間の移動、およびその他のデスクトップ機能
- 作業の保存
- タブレット設定の表示

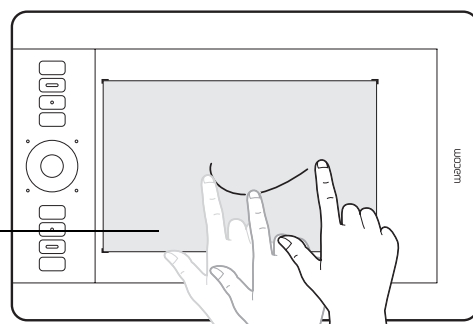
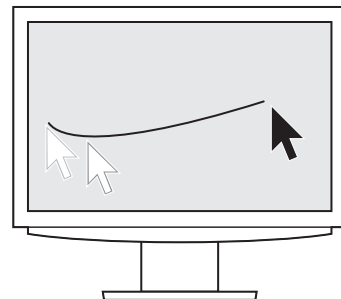
ジェスチャーのいくつかはカスタマイズが可能です。

[Intuos5 touch シリーズのタッチ機能を使う](#)をご覧ください。

タブレットの操作エリアとは、ペン入力やタッチ入力を検出するタブレット上の領域を指します。

ペン入力とタッチ入力の両方に対応する機種の場合：

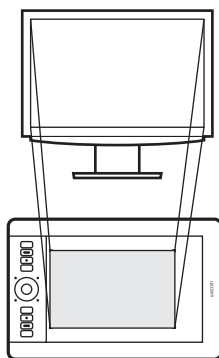
ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの検出範囲内にある場合、タッチ入力は無効になります。タブレットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力ができるようになります。



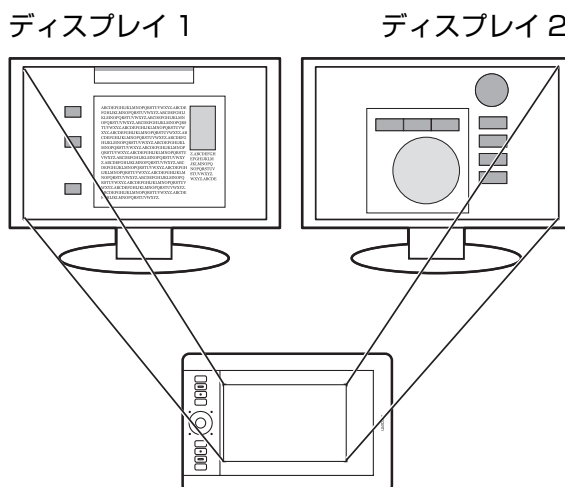
マルチディスプレイへのマッピング

お使いのコンピュータに複数のディスプレイが接続されている場合、「画面のプロパティ」ダイアログで設定されている内容に基づいて、Intuos5 はディスプレイとマッピングされます。

- 複数のディスプレイが使われている環境で拡張ディスプレイモードをお使いの場合、タブレットは複数のディスプレイを 1 つの大きなディスプレイとしてディスプレイ全体にマッピングします。



この例では、タブレットとディスプレイが 1 対 1 でマッピングされています。



この例では、タブレットの操作エリアがディスプレイ全体に対してマッピングされている状態をあらわしています。画面は 2 つのディスプレイに表示されています。

- ミラーモードをお使いの場合、タブレットの操作エリアは各ディスプレイのスペース全体に割り当てられ、ポインタも各ディスプレイに同時に表示されます。

複数ディスプレイでのご利用について、コンピュータとオペレーティングシステムの設定の詳細については、コンピュータ本体とオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

ヒント：• 1 つのディスプレイや、ディスプレイ領域の一部分に割り当てるように、タブレットをカスタマイズすることもできます。[タブレットを画面にマッピングする](#)をご覧ください。

- システムが複数のディスプレイで構成されている場合、「マッピング画面切り替え」機能をファンクションキーに割り当てることにより、メインのディスプレイと他のディスプレイ間で、タブレットのマッピングを切り替えることができます。[マッピング画面切り替えを使う](#)をご覧ください。

コントロールパネルの使い方

タブレットの基本的な使い方を習得したら、次に Intuos5 シリーズでのタッチ入力やペン入力の操作をカスタマイズする方法を学びます。コントロールパネルで、そのような Intuos5 シリーズの設定のカスタマイズを行います。

[コントロールパネルを開く](#)
[コントロールパネル概要](#)

Intuos5 シリーズを使う

初めて Intuos5 シリーズをお使いになるときは、この章をお読みください。また、[Intuos5 touch シリーズのタッチ機能を使う](#)もご覧ください。

重要：Intuos5 シリーズでは互換性のあるワコム製の入力デバイス（付属のペン、または Intuos5 シリーズに対応しているオプション品）以外は使用できません。それ以外の入力デバイスは正しく動作しない可能性があります。[オプション品の注文](#)をご覧ください。

[ペンを使う](#)

[タブレットを使う](#)

ペンを使う



コードレス・電池レスのグリップペンは、筆圧機能および傾き検出機能に対応しています。

ペンの基本的な使い方は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの4つです。ペンを使うことに慣れていない場合は、下記のページからの練習を行ってください。

補足：ペン入力とタッチ入力の両方に対応する機種では、ペンのペン先かテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの[検出範囲](#)にあると、タッチ入力ができなくなります。ペンをタブレットの操作エリアから離すと、タッチ入力ができるようになります。

ペンの操作中に意図しないタッチ動作が生じる場合は、「タッチ機能 on/off 切り替え」に設定された[ファンクションキー](#)を押して、タッチ入力を無効にすることができます。ペンによる作業を終えたら、再度そのファンクションキーを押すと、タッチ入力を再開することができます。[タブレット機能のカスタマイズ](#)をご覧ください。

[ペンの持ち方](#)

[ポインタの移動](#)

[クリック](#)

[ドラッグ](#)

[サイドスイッチを使う](#)

[筆圧を使って描画する](#)

[ペンを傾けて描画する](#)

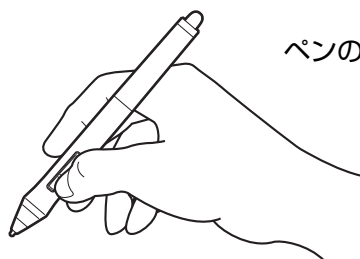
[消しゴム](#)

[画面を見ながらペンを使う](#)

ペンの持ち方



鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。ペンを握る位置を調節し、サイドスイッチを親指または人差し指で簡単に切り替えることができるようにしてください。ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。最も描きやすいようにペンを傾けてご使用ください。



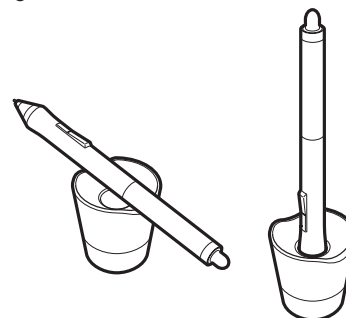
ペンの使い方



消しゴムの使い方

タブレットからすぐ手の届くところにペンスタンドを置いてください。ペンスタンドには、ペンを立てるか横にして置いておくことができます。

- 重要：**
- ペンを使用しないときは、ペンスタンドに立てるか、または机の上に横にして置いてください。ペンの感度を維持するために、ペン先やテールスイッチ（消しゴム）が押されてしまうような入れ物には収納しないでください。故障の原因となります。
 - Intuos5シリーズの入力デバイスをタブレット上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使用する際に画面のポインタの移動ができなくなったり、コンピュータがスリープ状態に入るのを妨げたりする場合があります。



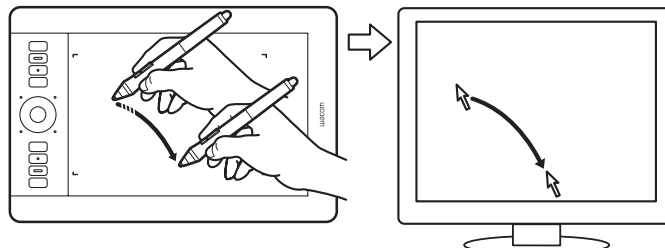
ポインタの移動



画面上でカーソル（またはポインタ）の位置を決めるためにペンを使います。

タブレットの操作エリアで、ペンを少し持ち上げて、ペン先を移動させます。

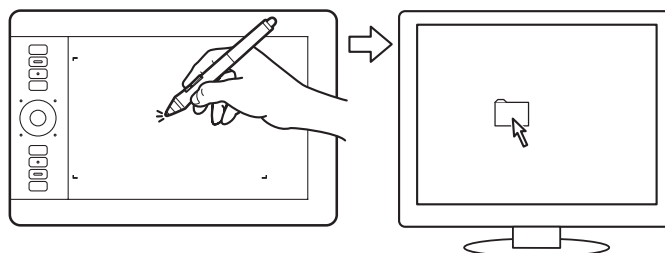
画面上のポインタがペン先の移動に合わせて、移動します。[タブレットの操作エリアについて](#)をご覧ください。



デスクトップ上のアイコンやフォルダを選択するには、ペンでポインタを操作してオブジェクトの上に置き、そのまま押します。

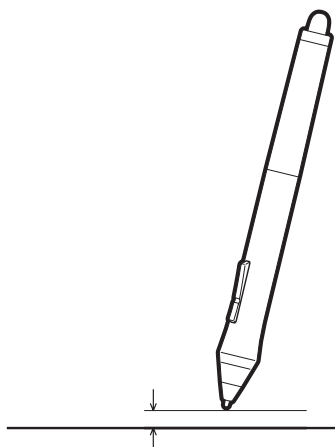
ヒント：ペンの操作に少し違和感がある場合は、[画面を見ながらペンを使う](#)を参照してください。

画面のポインタが、タブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するように、ディスプレイの向きに合わせてタブレットを置くと、ポインタを簡単に操作できるようになります。



画面上のポインタの動きかたには、ペンモードと[マウスモード](#)の2つの設定があります（[タブレットを画面にマッピングする](#)を参照してください）。

- [ペンモード](#)では、タブレットの操作エリアは、コンピュータ画面に割り当てた表示部と一致します。タブレットにペンを置くと、画面のポインタは画面上の対応する点にジャンプします。これはペンの標準設定です。
- [マウスモード](#)では、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。



検出範囲（約 10 mm 以内）

画面のポインタを移動したり、サイドスイッチを操作するには、ペン先をタブレット面から 10 mm 以内の場所に近づけます。画面のポインタを移動させたり、サイドスイッチを使用するのにペン先でタブレットにタッチする必要はありません。

Intuos5 シリーズのすべての入力デバイスは、タブレットの操作エリア以外では動作しません。

ペン入力とタッチ入力の両方をサポートしている Intuos5 シリーズでは、ペンのペン先かテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの検出範囲（約 10 mm 以内）にあると、タッチ入力ができなくなります。ペンをタブレットから離すと、タッチ入力ができるようになります。

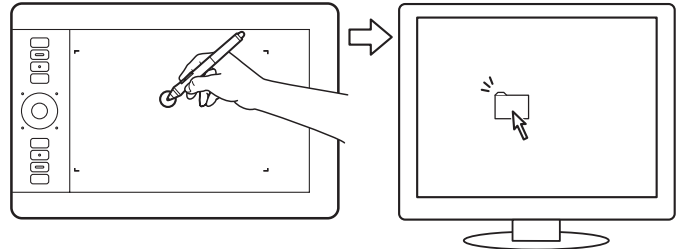
クリック



画面上にあるものをハイライトさせたり、または選択する場合、クリックします。開くにはダブルクリックします。

クリック：クリックするには、タブレットをペン先で一度軽くたたか、タブレットにペン先を強めに押しつけます。クリック音は鳴りません。

フォルダアイコン上に画面のポインタを移動させ、ペン先を押してアイコンをクリックしてみてください。フォルダアイコンを押すと、ハイライトされます。

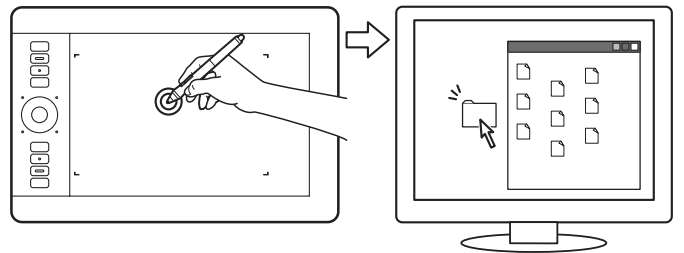


ヒント：ペンをアイコンに近づけるだけで選択でき、シングルクリックで起動するように Windows を設定します。この機能を使用可能にするには、フォルダを開いて、以下の設定を行ってください。

- Windows 7 または Windows Vista の場合：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション ...」を選択します。「全般」タブで、「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。
- それ以外の Windows の場合：任意のフォルダを開いて「ツール」メニューを選択し、プルダウンメニューから「フォルダオプション ...」を選択します。「全般」タブで、「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

ダブルクリック：ダブルクリックするには、ペン先で同じ場所を短く2回たたきます。マウスボタンで2回クリックするのと同じです。フォルダアイコンをダブルクリックして開いてみてください。

ヒント：上部のサイドスイッチの標準設定はダブルクリックです。サイドスイッチを押すことにより、ペン先で2回タブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。



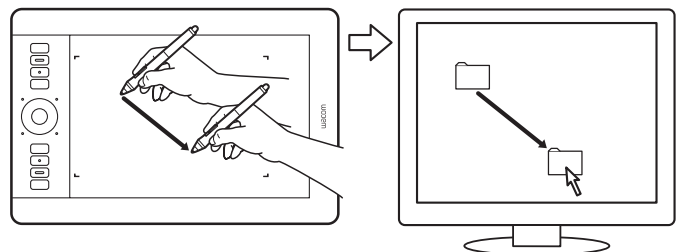
ドラッグ



ドラッグして、画面上のオブジェクトを選択したり、移動したりできます。

ペンで画面上のアイコンをドラッグするには、まずアイコンを選択します。次にペン先をタブレットに押し当てたままタブレット面の上を滑るように移動させます。選択したアイコンは、画面上を移動します。

文書内のテキストを選択するには、画面のポインタを行の開始位置に移動させます。次にタブレット上でペンをドラッグし、テキストをハイライトの状態にします。



サイドスイッチを使う



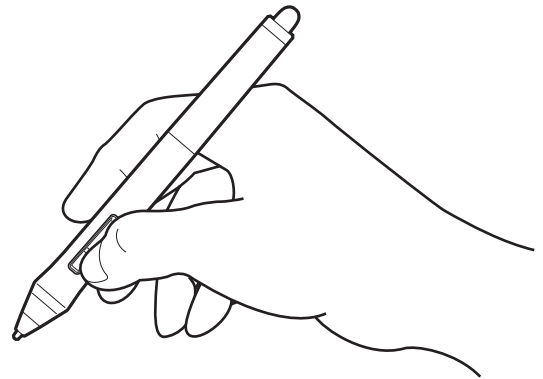
ペンにはカスタマイズできる2種類の機能を備えたサイドスイッチが装備されています。ペン先がタブレットの操作エリアから高さ 10 mm 以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がタブレットにタッチしていなくても、サイドスイッチは使用できます。

サイドスイッチの標準設定

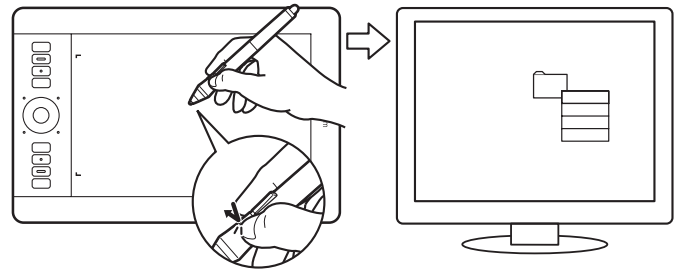
上側：「ダブルクリック」

下側：「右ボタンクリック」

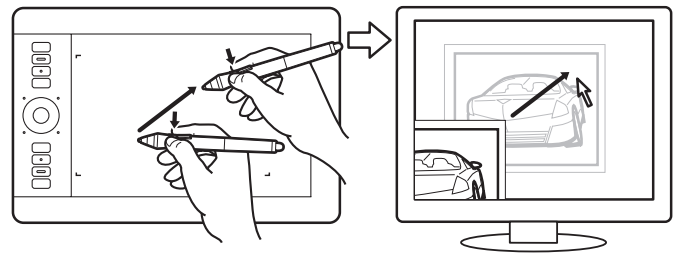
ダブルクリック：ダブルクリックするには、上側のサイドスイッチを押します。ペン先で2度タブレットの面をたたく方法よりも簡単に、ダブルクリック操作を行うことができます。



右ボタンクリック：特定のソフトウェア、または特定のアイコンのメニューを表示させるには、右ボタンクリックを使います。



操作エリア内で書類または画像を任意の方向に移動させるには、サイドスイッチの1つに「スクロール/移動」を割り当てます。次にサイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレット操作面上で動かします。ウィンドウ内の書類または画像が任意の方向に移動します。タブレット上でのペンの動きに合わせて、ウィンドウ内の書類あるいは画像が移動します。ペンのサイドスイッチを放すか、またはタブレットからペン先を離すと、「スクロール/移動」は終了します。



ソフトウェアによっては、ペン先の動きに対応する画面上のポインタと同じ方向に書類や画像が移動するだけの場合があります。

新しいスイッチ機能を割り当てるには、[サイドスイッチのカスタマイズ](#)をご覧ください。

筆圧を使って描画する



ペンは微妙な手の動きや変化を感知し、筆圧に対応したソフトウェアでは自然な感じの手書き文字やインクのラインを表現できます。多くのグラフィックソフトには筆圧に対応した描画機能が備わっています。たとえばソフトウェアによっては、スライダは太さ・色・透明度などの線の特徴を変えるのに使用します。このような特徴はペンの筆圧機能でさらに調整できます。ペンに加える力で、線の太さ、色の混ぜ合わせ、透明度を変えられます。Microsoft Windows 7/Vista および Office 2007 以降の[デジタルインク](#)機能も筆圧に対応しています。

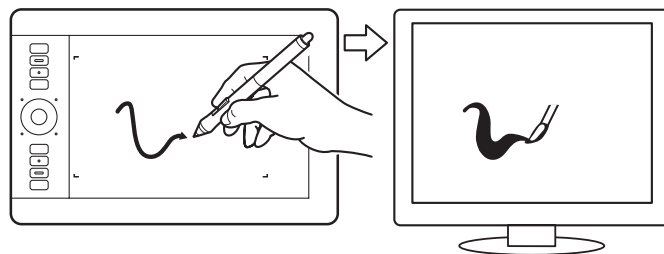
筆圧を使用して、描画したり文字を書いたり線を引いたりするには、ペン先に加える力を変えながら、ペン先でタブレット面をなぞるようにしてペンを移動させます。

- 線を太く、または色を濃くするには、ペン先を強く押し付けます。
- 線を細く、または色を薄くするには、ペン先を軽く押し付けます。

ソフトウェアによっては最初にツールパレットから筆圧ツールを選択する必要があります。

ペン先の感触を調整するには、[ペン先の感触とダブルクリックを調整する](#)をご覧ください。

筆圧に対応するグラフィックソフトについては、ワコムホームページをご覧ください ([製品情報](#)をご覧ください)。



ペンを傾けて描画する



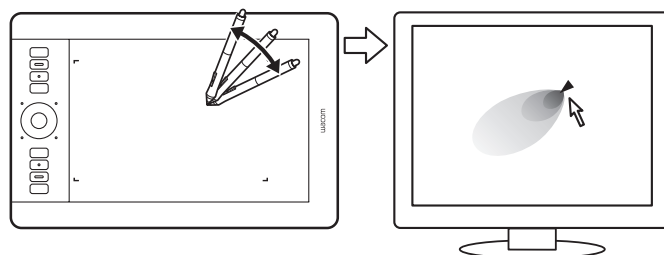
ペンを垂直位置から傾けると、タブレットがこれを認識します。グラフィックソフトのなかには、線の形や太さのコントロールに傾きを使用できるものがあります。これは、ペンを傾けた場合は線が太くなり、ペンを垂直にすると線が細くなるエアブラシと同じような機能です。ソフトウェアによっては、傾きを調整することで、ブラシの太さ、色、不透明度といった特性を決めることができます。

傾きをテストするには、傾きをサポートする Painter などのグラフィックソフトで曲線を描いてみます。ソフトウェアの傾き検出機能が有効であることを確認し、次にブラシで線を描きながらペンの傾きを変えて、線の形や太さが変わることを確認します。

例として、Corel Painter でブラシの形を傾きに対応するように設定した場合、ペンを傾けることにより長く引き伸ばされたパターンが作成できます。これにより、塗面から角度が付いたエアブラシのスプレー効果をシミュレートすることができます。

使用するソフトウェアで、ペンの傾き加減を調整するには、[傾き感度のカスタマイズ](#)をご覧ください。

傾きをサポートするソフトウェアについては、ワコムホームページをご覧ください ([製品情報](#)をご覧ください)。



消しゴム

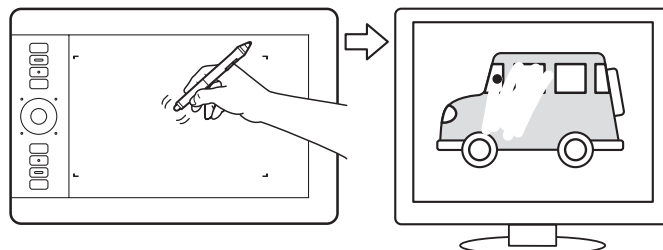


ペンのテールスイッチ（消しゴム）は、鉛筆の消しゴムのように使用できます。

消しゴム機能に対応するグラフィックソフトで、ペンのテールスイッチ（消しゴム）をタブレットの操作エリアに近づけると自動的に消しゴムツールに切り替わり、直感的で自然な使いかたができます。

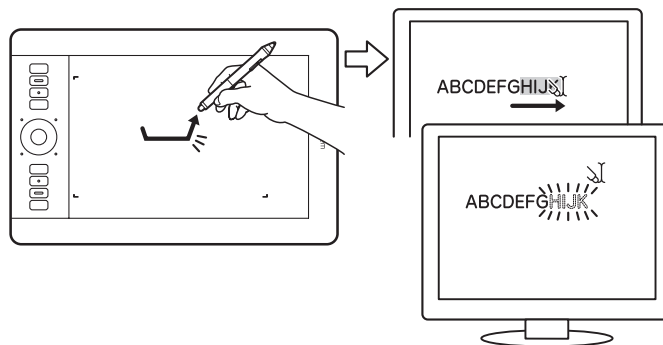
筆圧機能に対応しているソフトウェアでは、筆圧により消しゴムの幅や濃淡を調整できます。

詳しくは、[テールスイッチ（消しゴム）の感触を調整する](#)をご覧ください。



Office 2007 またはそれ以降のバージョン、Windows 7 および Vista での消しゴム機能は、[デジタルインク](#)で書かれたメモやスケッチを消すことができます。また、ソフトウェア内のテキストや表計算のセルの中のテキストを選択して消去することもできます。

テキストに対応したソフトウェア内で、テールスイッチでテキストを選択し続いてテールスイッチを持ち上げると、選択中のテキストは削除されます。



消しゴム機能に対応するソフトウェアについては、ワコムのホームページ (<http://wacom.jp/>)、および本書の[製品情報](#)をご覧ください。ソフトウェアが消しゴム機能に対応していない場合でも、ポインタの移動や、線引き、アノテーション（書き込み）にテールスイッチ（消しゴム）を使うことができます。

画面を見ながらペンを使う



ペンを使用する際の目と手の連動に慣れるために、下記の練習をすることをおすすめします。

1. グラフィックソフトを開きます。線ツールを使って 20 ～ 25 mm の間隔で格子を描きます。通常のマウスを使ってもよいでしょう。
2. フリーハンドツールを選択して、格子の各交点にペンで点を打ちます。
3. 格子の各交点にペンで X 印をつけます。
4. 今度は、画面をクリアして簡単な絵を描いてみてください。ペンを使うほどに、線を引いたり、字を書いたり、ポインタを操作することが楽になっていきます。

タブレットを使う

グラフィックソフトなどをお使いのとき、作業をスムーズに行うために、Intuos5 シリーズにはファンクションキーとタッチホイールが搭載されています。利き手でタッチ入力またはペン入力を行いながら、同時にもう一方の手で、ファンクションキーやタッチホイールを操作することができます。

操作エリア

タッチ入力またはペン入力を検出するタブレット上の領域

ファンクションキー

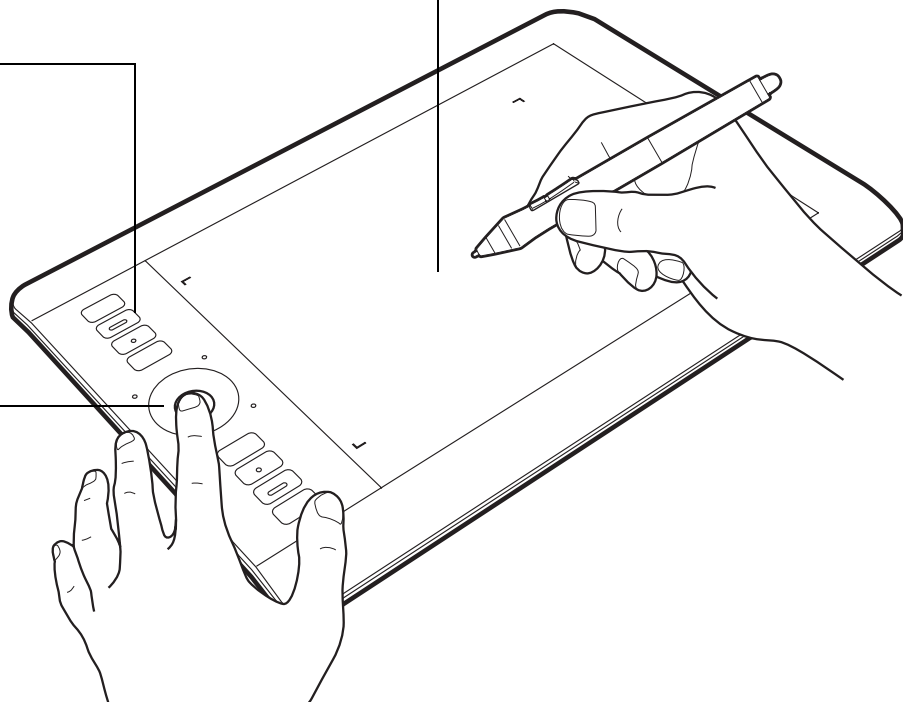
ファンクションキーを押すことによって、よく使われる機能、キーストローク、ボタンのクリック、修飾キーなどを実行できます。ファンクションキーはカスタマイズが可能です。

補足：small サイズのタブレット (PTH-450、PTK-450) では、ファンクションキーは6個です。

タッチホイール

タッチホイールの上を指でなぞると、ズームやスクロール、その他の割り当てた機能を実行できます。

タッチホイールの中央にある切り替えボタンを押すと、タッチホイールに割り当てられた4つの機能を切り替えることができます。機能を切り替えると、4つのステータスランプの内、対応するステータスランプが点灯します。



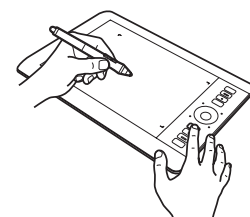
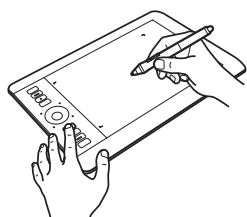
[ファンクションキーのカスタマイズ](#)および[タッチホイールのカスタマイズ](#)もご覧ください。

ファンクションキーを使う

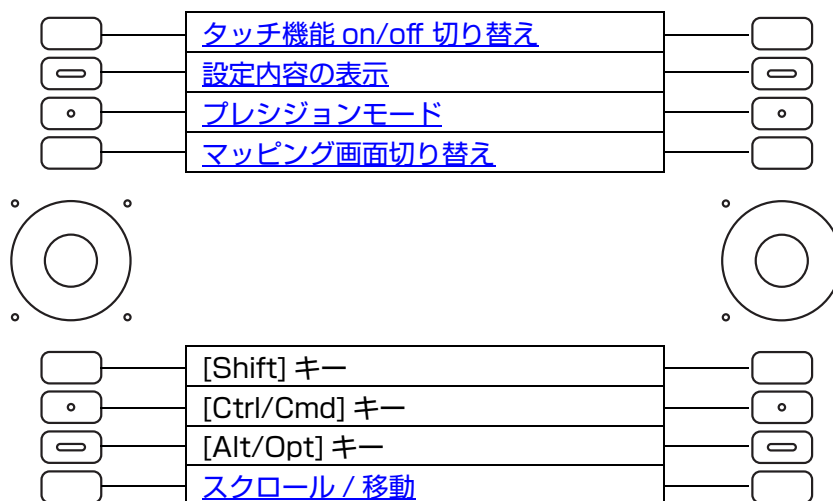
ファンクションキーを押すと、よく使われる機能やキーストロークを実行できます。ファンクションキーは、作業を進めながらタッチ、ペン、またはその他の入力デバイスのプロパティを変更するためにも使うことができます。お使いのタブレットが[タッチ入力](#)に対応していれば、以下の機能の多くはジェスチャーで実行することができます。

タブレットの左側にファンクションキーが配置された場合
(ファンクションキーを左側)

タブレットの右側にファンクションキーが配置された場合
(ファンクションキーを右側)



Intuos5 touch medium (PTH-650) /large (PTH-850) の標準設定:



補足: Intuos5 medium (PTK-650) の標準設定:

- 設定内容の表示
- ラジアルメニュー
- プレジジョンモード
- マッピング画面切り替え
- [Shift] キー
- [Ctrl/Cmd] キー
- [Alt/Opt] キー
- スクロール / 移動

Intuos5 small (PTK-450) の標準設定:

- 設定内容の表示
- プレジジョンモード
- [Shift] キー
- [Ctrl/Cmd] キー
- [Alt/Opt] キー
- スクロール / 移動

Intuos5 touch small (PTH-450) の標準設定:

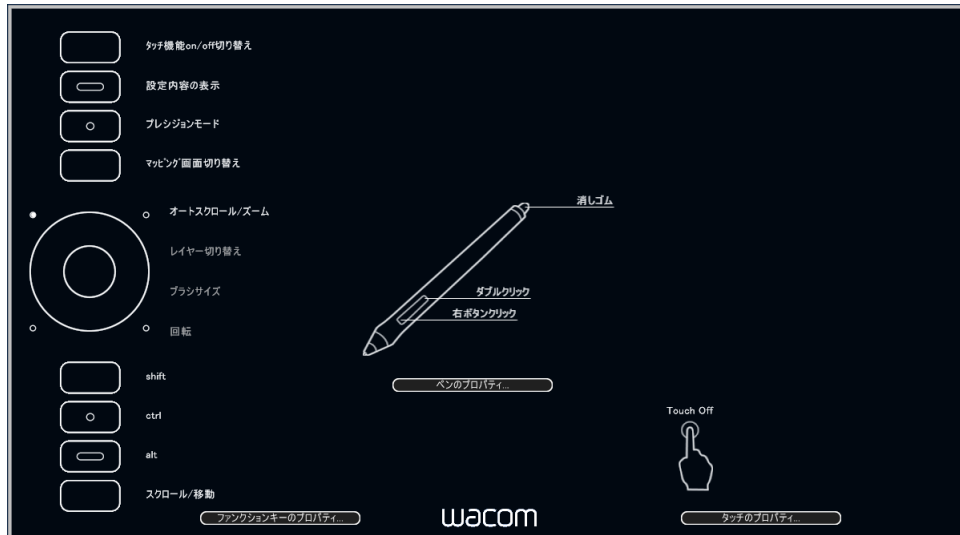
- タッチ機能 on/off 切り替え
- 設定内容の表示
- [Shift] キー
- [Ctrl/Cmd] キー
- [Alt/Opt] キー
- スクロール / 移動

2つのファンクションキーを組み合わせて操作することができます。たとえば、1つのボタンに「Ctrl」を、別のボタンに「Alt」を設定します。両方のボタンを押すと、「Ctrl」+「Alt」が実行されます。



ヒント：• [ラジアルメニュー](#)を使用してタブレットの機能を拡張できます。

- ファンクションキーに触れると[エクスプレビュー](#)が起動し、ファンクションキーの設定が表示されます。
- [設定内容の表示](#)の割り当てられたファンクションキーを押すと、コントロールパネルとリンクするインタラクティブな設定一覧が表示されます。



上の画面は Intuos5 touch medium (PTH-650) を例にしています。
お使いの機種により、一部設定が異なる場合があります。

また、以下のようなファンクションキーの使い方も試してください。

- よく使うキーボードのショートカットをキーに設定します。
- よく使うファイルあるいはソフトウェアを起動するようにキーを設定します。
- お使いのペンのサイドスイッチを利用しない、または利用できない場合には、ファンクションキーのどれかに右ボタンクリックまたはダブルクリックをセットしてください。
- その他の割り当てられる[機能](#)から選択し、キーを設定します。[ファンクションキーのカスタマイズ](#)をご覧ください。

重要：ソフトウェアによっては、ファンクション機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

コントロールパネルからファンクションキーの機能をカスタマイズします。

[コントロールパネルを開く](#)

[コントロールパネル概要](#)

[ファンクションキーのカスタマイズ](#)

タッチホイールを使う

タッチホイールを使って、表示中の文書や画像をスクロールしたり、拡大縮小したりすることができます。割り当てられたキーストローク機能を実行することもできます。



拡大の例

指でホイールを時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは拡大、または下方向へスクロールが行えます。タッチホイールの上部を軽くたたくと、割り当てられた機能が1つ進みます。



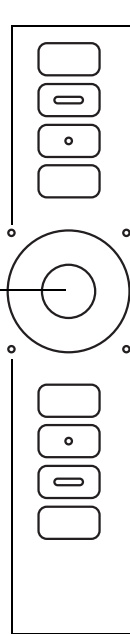
縮小の例

指でホイールを反時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは縮小、または上方向へスクロールが行えます。タッチホイールの下部を軽くたたくと、割り当てられた機能が1つ進みます。

タッチホイールがタブレットの左側になるように配置する場合の設定（標準設定）：

切り替えボタンを押すと、タッチホイールの4つの機能が切り替わります。機能が切り替わると、対応するステータスランプが点灯します。機能が設定されていないランプは、スキップして次に切り替わります。

切り替えボタンを押すと、現在のタッチホイールの設定内容が、ディスプレイ画面に少しの時間表示されます。



設定1：「オートスクロール/ズーム」 グラフィックソフトでホイールはズームに、他のソフトウェアではスクロールに設定されます。ソフトウェアによっては、ズームがスクロールとみなされたり、あるいは全く機能が働かない場合があります。同様に、スクロールがズームとみなされたり、全く働かない場合もあります。

設定2：「レイヤー切り替え」 Adobe Photoshop で、ファイルに複数のレイヤーがある場合、レイヤーウィンドウのレイヤーを上方向または下方向に切り替えることができます。円に沿って時計回りになぞると、上方向のレイヤーへと切り替わります。

設定3：「ブラシサイズ」 Adobe Photoshop で、ブラシのサイズを大きくしたり小さくしたりできます。

設定4：「キャンバスの回転」 Adobe Photoshop で、画像全体を回転させたり反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

タッチホイールの変更するには、[タッチホイールのカスタマイズ](#)をご覧ください。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

コントロールパネルからタッチホイールの機能をカスタマイズします。

[コントロールパネルを開く](#)

[コントロールパネル概要](#)

[タッチホイールのカスタマイズ](#)

Intuos5 touch シリーズのタッチ機能を使う



Intuos5 touch シリーズは、作業をより効率よく行えるように設計されています。タッチ機能により、タブレット上で指を動かすだけで、コンピュータを操作できます。

Intuos5 touch シリーズでは、スマートフォンやノートパソコンのトラックパッドと同様にタッチ機能を使うことができます。初めに基本操作を学び、ポインタの操作や通常のマウス操作を行うことができるようにします。次に、スクロール、ズーム、回転などの操作が行えるようにします。

タブレットの[操作エリア](#)を指で触れると、タッチ入力が可能になります。

- タッチ入力をするときは、指を操作しやすい間隔に開いてください。指同士をぴったりとくっつけてタブレットに置くと、1本の指を使った操作と判断されたり、操作やジェスチャーがどの指で操作されたのかを識別しにくくなることもあります。操作中、すべての指は必ず操作エリア内に置いてください。
- もっとも操作しやすい方法でタッチ入力を行ってみてください。ジェスチャー中は不用意なタッチを避けるように注意してください。たとえばズームまたはスクロール中に、操作エリアに小指や手のひらが触れた場合に、不要な右クリックが実行されたりすることがあります。

補足：ペン入力とタッチ入力の両方が操作可能なタブレットについて、ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの[検出範囲](#)内にある場合、タッチを行うことはできません。タブレットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力が可能になります。

[タッチによる操作](#)

[タッチのカスタマイズ](#)

[タッチのテスト](#)

タッチによる操作



Intuos5 touch シリーズでは、タッチ機能により、タブレットの操作エリア上で指を動かすだけでコンピュータを操作することができます。[タブレットの操作エリアについて](#)をご覧ください。

各タッチオプションは、コントロールパネルから有効 / 無効を切り替えることができます。「タッチオプション」、「ジェスチャーの標準設定」、あるいは「ジェスチャーの個人設定」タブでチェックを入れたタッチオプションは有効になります。

- 基本的な動作で、ポインタの移動や一般的なマウスの機能を実行します。
- ジェスチャーを使ってスクロール、ズーム、回転などの機能を実行します。ジェスチャーによっては、タブレットにジェスチャーが認識されたことを知らせる視覚表示が、表示画面に表れます。

チェックを外し、タッチ入力を無効にしてください。

コントロールパネルのどのタッチ機能タブからでも、タッチ入力を完全に無効にする（また有効に戻す）ことができます。



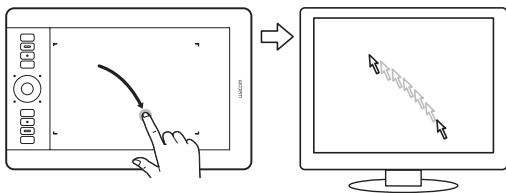
上の画面は Windows での「ジェスチャーの標準設定」タブを例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。

[タッチのカスタマイズ](#)または[ファンクションキーのカスタマイズ](#)を行って、さらに別のタッチ機能を実行することもできます。

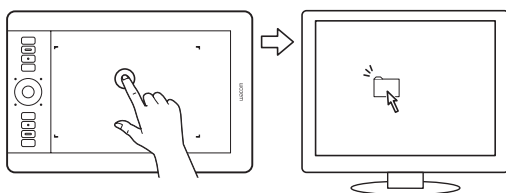


1本指での操作



トラック

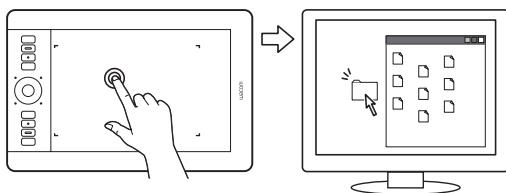
1本の指で画面上のポインタを操作します。指をタブレットの操作面に置いて、スライドさせます。



タップでクリック

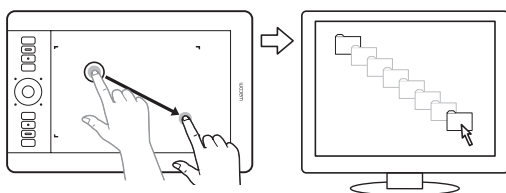
クリック

1本の指で画面上の項目までトラックします。ここで指を持ち上げた後タップし、選択します。



ダブルクリック

1本の指で画面上の項目までトラックします。一度離してもう一度タップします。



ドラッグ

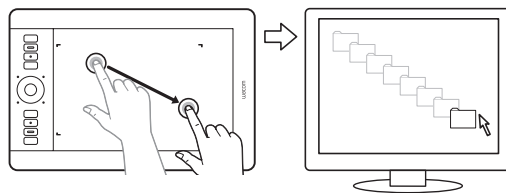
(「ドラッグに固定」がオフの場合)：1本の指で画面上の項目をタップして選択します。再び指を素早くタブレットの操作面上に置き、トラック(スライド)してドラッグします。指を持ち上げて、項目から離します。

ヒント：・ デスクトップ上では複数の項目を選択し、ドラッグできます。

Windows の場合：複数の項目を選択する場合、タップしながら「Ctrl」または「Shift」キーを押します。

Mac の場合：複数の項目を選択する場合、タップしながら「shift」あるいは「command」キーを押します。

- ・ 2本の指で[選択とドラッグ](#)を行うこともできます。

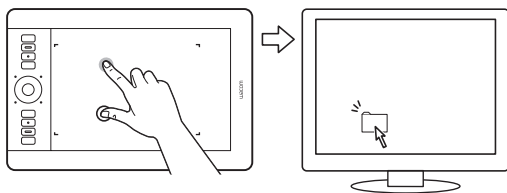


ドラッグロック

(「ドラッグに固定」がオンの場合)：1本の指で画面上の項目をタップして選択します。ドラッグするには、タブレット上で指をトラック(スライド)します。再度、タップして項目を離します。



2本指での操作、およびジェスチャー



2本目の指のタップでクリック

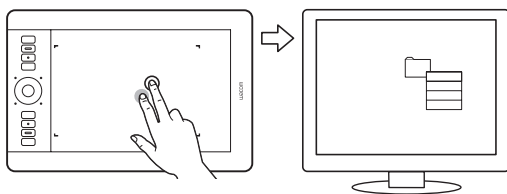
選択とドラッグ

1本の指で画面上の項目までトラックします。親指または2本目の指をその左側に置き、選択します。続けて項目をドラッグしたりテキストブロックを選択したりする場合は、親指以外の2本の指で操作することをおすすめします。

- 選択した項目を移動するには、2本の指をそのままタブレット上で動かします。
- テキストブロックをハイライトさせるには、2本の指をそのままタブレット上で動かしてテキストを選択します。
- ドラッグの途中で操作エリアの端に行き着いた場合、選択を解除せずにドラッグを延長することもできます。そのためには、1本目の指を持ち上げてから、ドラッグを続けやすい位置に2本目の指を動かします。1本目の指を再びタブレットに置き、両方の指で続けてドラッグします。

選択を解除するには、親指または2本目の指を持ち上げます。

補足：タブレットを左利き用（ファンクションキーはタブレットの右側）に設定している場合、1本目の指の右側に2本目の指を置きます。

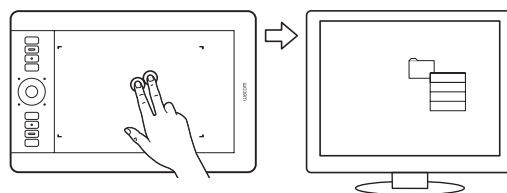


2本目の指のタップで右クリック

1本の指を使って画面上の項目までトラックします。次に2本目の指をその右側に置き、離します。指を離すと右クリックが実行され、ポインタの位置にコンテキストメニューが表示されます。

メニューのオプションまで指をトラックし、タップして項目を選択します。

補足：タブレットを左利き用（ファンクションキーはタブレットの右側）に設定している場合、1本目の指の左側に指を置きます。

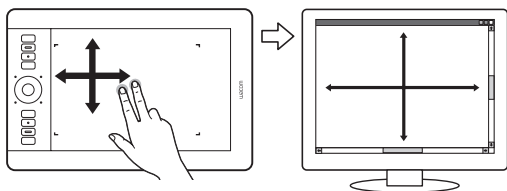


タップで右クリック

右クリックして、画面上のポインタの位置にコンテキストメニューを表示させるには、2本の指を少しだけ離してタブレットの操作面をタップします。指をそろえて早素く同時にタップしてください。

次に、メニューのオプションまで指をトラックし、タップして項目を選択します。





スクロール

2本の指をタブレットの操作面に置きます。指を同時にゆっくりと平行移動させます。

- 上方向へ指をスライドさせると、画面の上方向へファイルがスクロールします。
- 下方向へ指をスライドさせると、画面の下方向へファイルがスクロールします。
- 左方向へ指をスライドさせると、画面の左方向へファイルがスクロールします。
- 右方向へ指をスライドさせると、画面の右方向へファイルがスクロールします。

ヒント：• 最後に指をフリックさせると、指がタブレットを離れた後、ほんの短いスクロールが続きます。

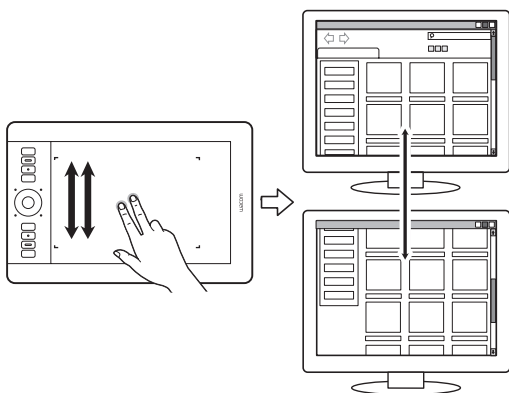
- 縦と横にスクロールする Windows では、指をどの方向にスライドさせてもドキュメントの表示はそれに従います。
- 上方向へのスクロールだけにしたい場合は、コントロールパネルの「ジェスチャーの標準設定」タブを選択して「スクロール」ドロップダウンメニューから「縦」を選択します。
- コントロールパネルの「ジェスチャーの標準設定」タブを選択して、「スクロール」ドロップダウンメニューから「ナチュラル」または「標準」を選択します。

Mac OS X 10.7.x の場合：

「ナチュラル」を選んだ場合、表示はスクロール操作と同じ方向に移動します。

「標準」を選んだ場合、表示はスクロール操作と逆方向に移動します。下方向にスクロール操作をすると、表示は上方向に移動します。



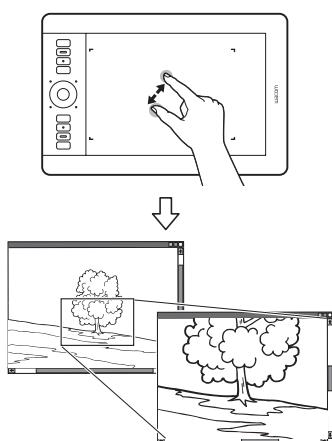


ファストスクロール

2本の指を同時に素早く動かし（あるいはフリックし）、動作の終わりに指を上へ持ち上げます。

- 上方向へ指をフリックして、スピードをつけてスクロールします。
- 下方向へ指をフリックして、スピードをつけてスクロールします。

補足：ファストスクロールは、垂直スクロールに対してのみ有効です。

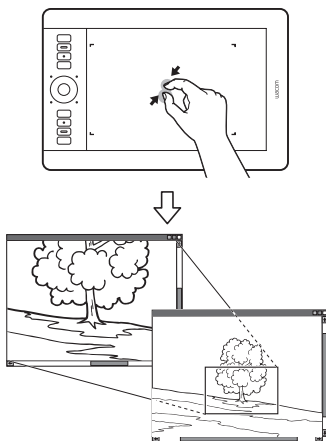


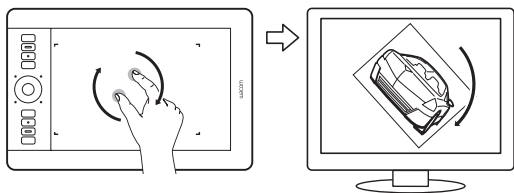
ズーム

初めに、タブレット操作面に2本の指を置きます。

- 1つの指ともう1つの指の間が徐々に広がるように、拡大操作を行います。
- 1つの指ともう1つの指でつまむようなかたちをつくって、指同士が徐々に近づくように縮小操作を行います。

補足：ズーム機能が Adobe Photoshop で正しく動作しない場合、「編集」メニュー→「環境設定」→「一般」を選択し、ウィンドウから「スクロールホイールでズーム」のチェックがはずれていることを確認します。



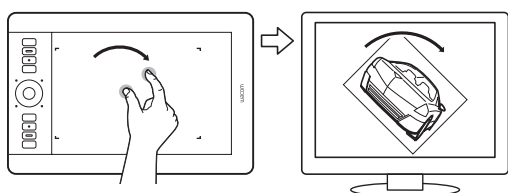


回転（2本指での回転）

タブレット操作面に2本の指を斜めに離して置き、時計回りあるいは反時計回り方向に回転させます。

このジェスチャーをタブレットに正しく認識させるために、2本の指を斜めに約25 mm以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

補足：回転によるジェスチャーは、使用中のソフトウェアによって動作が異なります。たとえば、90度ずつ回転する場合があります。あるいは、全く回転しない場合もあります。



回転（指を軸にして回転）

タブレット操作面に2本の指を斜めに離して置きます。

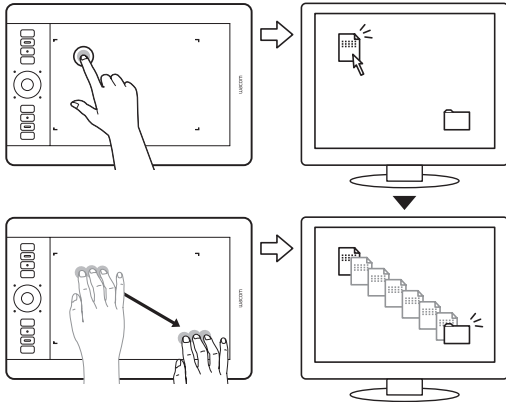
1本の指を固定して、もう1本の指をそのまわりで回転させます。

このジェスチャーをタブレットに正しく認識させるために、2本の指を斜めに25 mm以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

補足：回転によるジェスチャーは、使用中のソフトウェアによって動作が異なります。たとえば、90度ずつ回転する場合があります。あるいは、全く回転しない場合もあります。



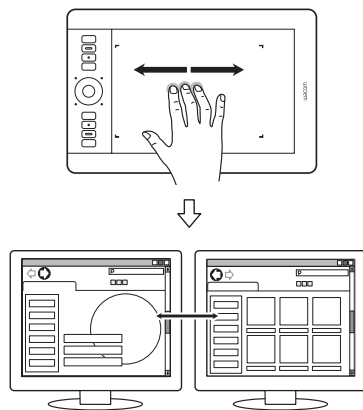
3本指でのジェスチャー



ドラッグ

Mac OS X 10.7.x の場合：

1本の指でタップして選択し、操作面から指を離します。続いて、少し離れた状態の3本の指でドラッグし、操作面から指を離します。



左右スワイプによるページ移動

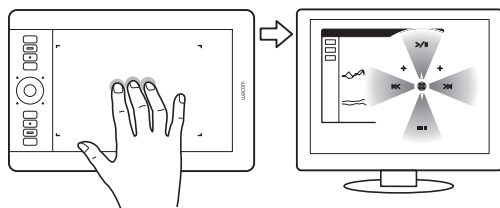
「進む」または「戻る」(右あるいは左へのスワイプ)

3本の指を少し離れた状態でスワイプします。動作の終わりに指を持ち上げます。

- 右方向にスワイプすると、多くのブラウザと画像ビューアで「進む」が実行されます。
- 左方向にスワイプすると、多くのブラウザと画像ビューアで「戻る」が実行されます。

ヒント：スワイプは、ドキュメントビューアでの右矢印キーおよび左矢印キーを使用するのと同じ働きをします。

ジェスチャーによるスワイプを使用すると、ほとんどの Web ブラウザでページを進めたり前に戻したりできます。

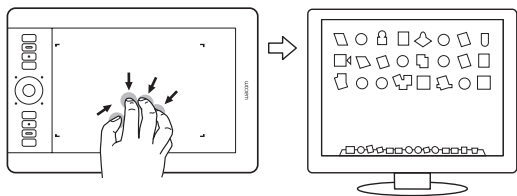


タップ&ホールドでラジアルメニューを表示

3本の指を少し離してタップし、指を操作面に触れたままにすると、ディスプレイ画面にラジアルメニューが開きます。操作面から指を離してラジアルメニューを操作します。

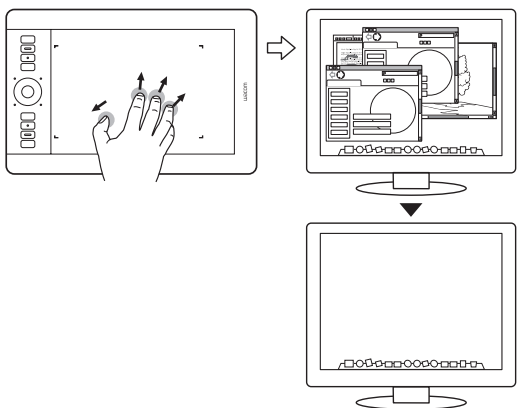
このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。

4本指でのジェスチャー



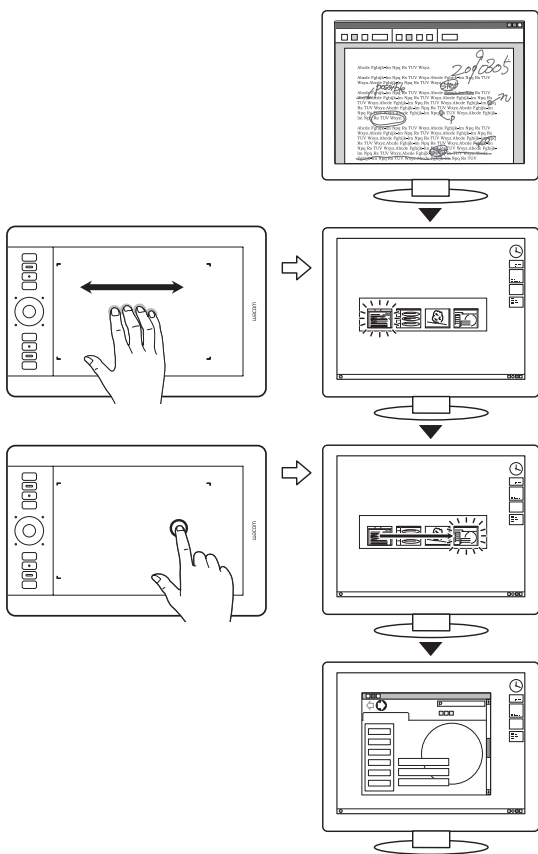
ピンチで Launchpad を開く

Mac OS X 10.7.x の場合：タブレット上に親指と他の 3 本の指を置き、すべての指を閉じるように近づけると、表示中のウィンドウが消え、コンピュータにあるすべてのソフトウェアが画面に表示されます。



スプレッドでデスクトップを表示する

Mac OS X 10.7.x の場合：タブレット上に親指と他の 3 本の指を置き、すべての指を離すように広げると、デスクトップが表示されます。



左右スワイプによるソフトウェアの切り替え

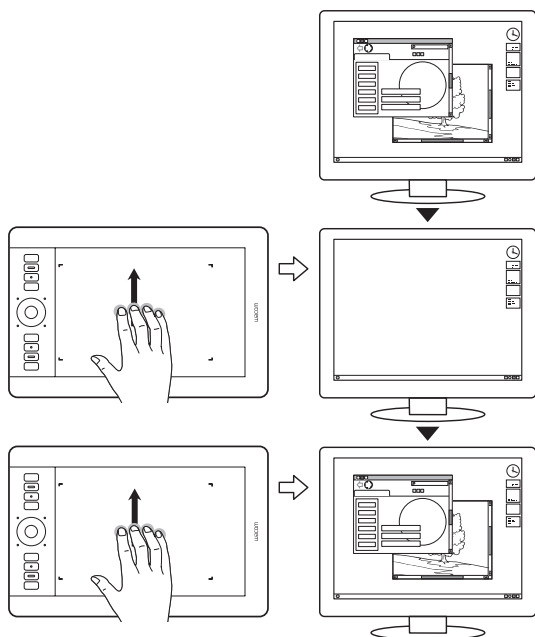
指同士を少し離れた状態で 4 本の指を左右に動かすと、アプリケーションスイッチャーが開きます。

続いて 1 本の指を左右に移動すると、ソフトウェアがハイライト表示されます。ソフトウェアを軽くたたいて選択します。

Windows XP の場合：4 本の指を左右に動かすと、Windows フリップが開きます。続いて再度 4 本の指でスワイプすると、リスト内の次のソフトウェアが開きます。

Mac OS X 10.7.x の場合：4 本の指で左右にスワイプすると、フルスクリーンアプリケーションが切り替わります。



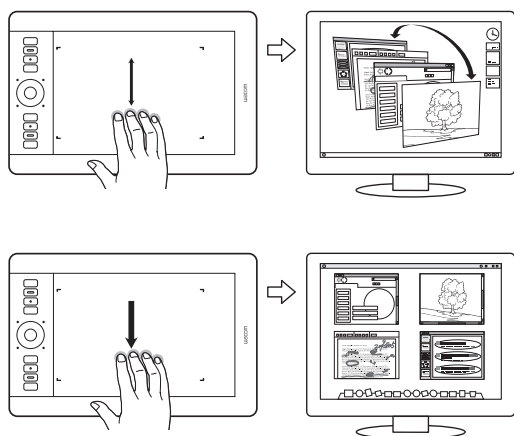


上方向スワイプでデスクトップ画面を表示

指同士を少し離れた状態で 4 本の指を上方向にスワイプすると、表示中のウィンドウが隠れデスクトップが表示されます。再度上方向にスワイプすると、隠れたウィンドウが再びデスクトップ上に戻されます。

Mac OS X 10.7.x の場合：4 本の指を上方向にスワイプすると Mission Control が開き、お使いの Mac で開かれたすべてのウィンドウを表示します。もう一度上方向にスワイプすると、Mission Control を終了します。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。



下方向スワイプでフリップ 3D/Exposé を実行

指同士を少し離れた状態で、4 本の指を下方向にスワイプします。

- フリップ 3D (Windows) の場合：最初のスワイプでフリップ 3D が開きます。再度下方向にスワイプするとフリップ 3D が閉じます。

左または右にスワイプして、開いた複数のウィンドウ間を移動します。1 本の指で 1 回タップして選択します。Windows XP では、この操作はできません。

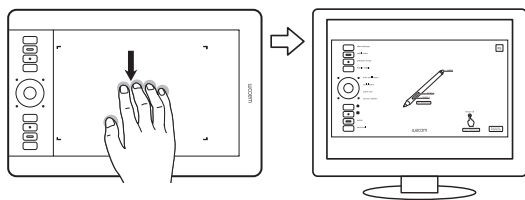
- Exposé (Mac) の場合：最初のスワイプで Exposé が開きます。再度下方向にスワイプすると Exposé は閉じます。

1 本の指で 1 回タップして選択します。

- App Exposé の場合 (Mac OS X 10.7.x)：下方向にスワイプすると、使用中のソフトウェアが開いているウィンドウをプレビューします。もう一度下方向にスワイプすると、App Exposé を終了します。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。

5本指でのジェスチャー



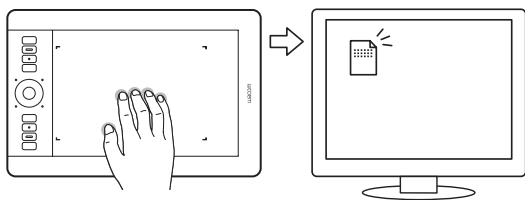
下方向スワイプで[設定内容の表示](#)を表示する

少し離れた状態の5本の指を下方向にスワイプすると、現在のファンクションキー、タッチホイール、ペン、およびタッチのインタラクティブな（コントロールパネルとリンクする）設定一覧が、画面に表示されます。

各項目をクリックするとコントロールパネルのタブを開き、設定の変更を行うことができます。

再び下方向にスワイプするか、各項目以外の領域をクリックすると、表示は終了します。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。



タップ&ホールドで保存

5本の指を少し離して操作面をタップし、指を操作面に触れたままにすると、開いているソフトウェアで行った作業内容を保存します。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。

タッチのカスタマイズ



使い方に合わせて、[コントロールパネル](#)からタッチ入力の最適なカスタマイズを行うことができます。コントロールパネルの「入力デバイス」リストから「タッチパネル」（タッチアイコン表示）を選択し、カスタマイズしたいタブに切り替え、利用可能なオプションを選んで設定を変更します。[タッチによる操作](#)をご覧ください。

[コントロールパネルを開く](#)

[コントロールパネル概要](#)

[タッチオプションを設定する](#)

[ジェスチャーの標準設定](#)

[ジェスチャーの個人設定](#)

[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)

[タッチ入力を無効にする](#)

タッチオプションを設定する



「タッチオプション」タブを選んで設定します。

ここでは、タッチ操作やジェスチャー操作を感知するための速度を設定します。

「ポインタの速度」ではトラッキングおよびナビゲーション用に、ポインタの速度を調節します。ポインタをゆっくり動かしたい場合は、「遅い」にスライドします。ポインタを素早く動かしたい場合は、「速い」にスライドします。

「ダブルタップの間隔」は、ダブルクリックを認識させるための速さを調節します。設定をテストするには、「テスト」エリアにポインタを置き、2回タップします。

「スクロールスピード」でジェスチャーによる「スクロール」の速度を設定します。

画面のポインタの加速度レベルを設定します。タブレット上の指の動きに対する反応を遅くするときは「低」に、速くするときは「大きい」にスライドします。

補足：タッチ速度と加速度の設定は、通常のマウスの設定から独立しています。これらの設定を変更しても、通常のマウスの設定に影響はありません。ただし、通常のマウスの設定を変更すると、タブレットの設定に影響することがあります。

ジェスチャーの標準設定



Intuos5 シリーズをカスタマイズし、ユーザごとに最適なタッチの設定を行う場合は、「ジェスチャーの標準設定」タブを選択します。

各項目をチェックすると、[タッチ](#)操作やジェスチャーが利用可能になります。

様々な使い方に対応できるように、右クリックなど一部の機能は別の動作でも実行できます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

オプションを選ばなければ、自動的に一番上のオプションから順に画像が表示されます。

[タッチによる操作](#)および[ジェスチャーの個人設定](#)もご覧ください。



上の画面は Windows での表示を例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。

ジェスチャーの個人設定



カスタムタッチジェスチャーを作成する場合は、「ジェスチャーの個人設定」タブを選択します。

選択した[タッチ](#)ジェスチャーを使うことができます。また、実行されるオプションを、プルダウンメニューから選んで変更することができます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

オプションを選ばなければ、自動的に一番上のオプションから順に画像が表示されます。

[タッチによる操作](#)および[ジェスチャーの標準設定](#)もご覧ください。



上の画面は Windows での表示を例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。

タッチ入力を無効にする



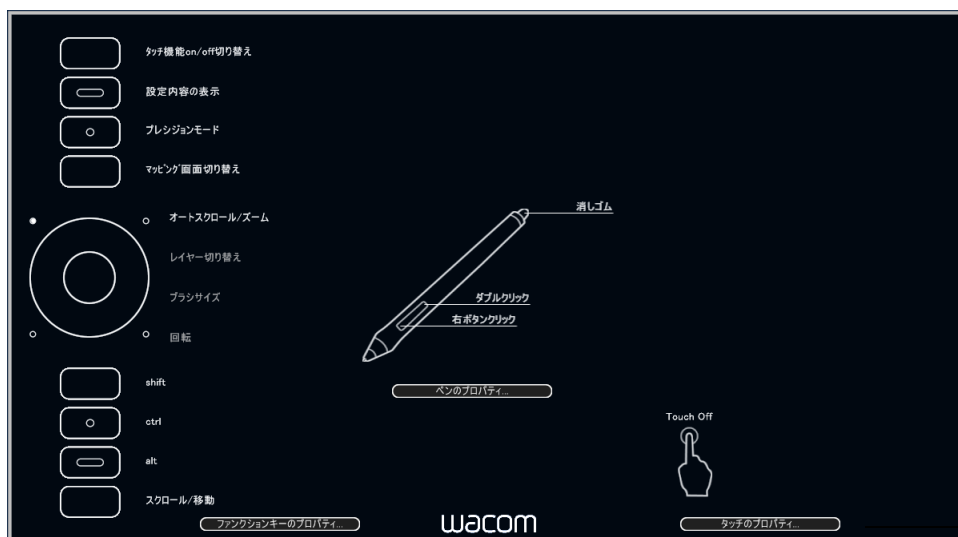
「ジェスチャーの標準設定」タブ、「ジェスチャーの個人設定」タブ、または「タッチオプション」タブを選択して、タッチの有効 / 無効を切り替えます。

- 選択を解除するとタッチ入力が無効になります。この場合もファンクションキーおよびペンでの作業は有効です。
- 「タッチ機能 on/off 切り替え」機能をファンクションキーに割り当てることができます。



上の画面は「ジェスチャーの標準設定」タブを例にしています。

「設定内容の表示」から、タッチ入力を有効または無効にすることもできます。「設定内容の表示」の割り当てられたファンクションキーを押すと、コントロールパネルとリンクするインタラクティブな設定一覧が画面に表示されます。



「タッチのプロパティ」をクリックし、タッチの設定をご覧ください。

タッチのテスト



タッチ入力に関してトラブルがあった場合は、現在割り当てられているタッチ機能をチェックするか、または標準設定に戻してください。

さらにタッチのテストを続ける場合：

1. タブレット操作面上で指をすべらせてポインタを動かしてみてください。次にどれかの項目をタップして選択します。タブレットの操作エリアをタッチすると、ステータスランプが点灯します。[タブレットのテスト](#)もご覧ください。
2. コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスは、タブレットとお使いの入力デバイスの現在の状態、およびタッチ入力可能なタブレットについての適切な情報を表示します。[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)もご覧ください。
3. 「診断」ダイアログボックスを開き、タブレット操作面を1本の指でタッチし、次に2本の指でタッチします。
タブレット操作面をタッチするたびにタブレットのステータスランプが点灯し、「タッチ情報」の状態が変化します。
4. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。



Intuos5 シリーズをカスタマイズする

Intuos5 シリーズのコントロールパネルを使って、使いやすいように Intuos5 シリーズをカスタマイズできます。

操作に慣れたユーザーは、[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)を作成することで、Intuos5 シリーズを最適な状態でお使いいただくことができます。

[コントロールパネルを開く](#)

[コントロールパネル概要](#)

[ペン入力をカスタマイズする](#)

[タッチのカスタマイズ](#)

[タブレット機能のカスタマイズ](#)

[タブレットを画面にマッピングする](#)

[ボタン機能](#)

[ラジアルメニューの使い方と設定](#)

[マッピング画面切り替えを使う](#)

[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)

[複数の入力デバイスでの作業](#)

[タブレットモードの変更](#)

[オプション設定](#)



コントロールパネルを開く

コントロールパネルを開きます。

- Windows : Windows の「スタート」ボタンをクリックして、「すべてのプログラム」を選択します。次に「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。
- Mac : 「Finder」の「アップル」メニューあるいは「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。次に「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

Intuos5 シリーズはコントロールパネルからカスタマイズすることができます。コントロールパネルでは、お使いの機種¹の最新モデル、および設定に当てはまるタブとオプションのみ表示されます。[コントロールパネル概要](#)をご覧ください。

補足 : 各ユーザごとに設定が行えます。ログオンした後、各ユーザはコントロールパネルで個人の設定をカスタマイズすることができます。別のユーザに切り替えると、自動的にそのユーザの設定が読み込まれます。

ヒント : 現在の設定一覧を表示するには、[設定内容の表示](#)に割り当てられたファンクションキーまたは他のデバイスボタンを押します。

「設定内容の表示」の各項目をクリックすると、該当するコントロールパネルのタブが開きます。

機種によって表示あるいは設定の一部が異なる場合があります。



コントロールパネル概要

コントロールパネルを使って、Intuos5 シリーズまたは入力デバイスをカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、グリップペンまたはその他の Intuos5 用入力デバイスのアイコンが「入力デバイス」リストに表示されます。タッチ入力に対応したタブレットの場合は、「タッチパネル」アイコンも同時に表示されます。該当するタブが表示されます。

カスタマイズする場合は、該当するタブの項目を変更します。設定をいろいろ試して、最適な設定を見つけてください。変更した設定内容はすぐに反映されます。標準設定に戻すには、「標準設定」ボタンをクリックします。

各アイコンはお使いの「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」の設定を示しています。

ファンクションキー、タッチホイール、およびラジアルメニューの設定をカスタマイズする場合は、「ファンクション」を選択します。マルチディスプレイでお使いの場合は、「マッピング画面切り替え」オプションが利用できます。

タッチ入力可能なタブレットの場合は、「タッチパネル」を選択してタッチの設定をカスタマイズします。[タッチのカスタマイズ](#)をご覧ください。

「グリップペン」を選択し、ペンの設定をカスタマイズします。タブレットの操作面で一度ペンを使用すると、このアイコンを選択することができます。入力デバイスごとに名前を変更することもできます。

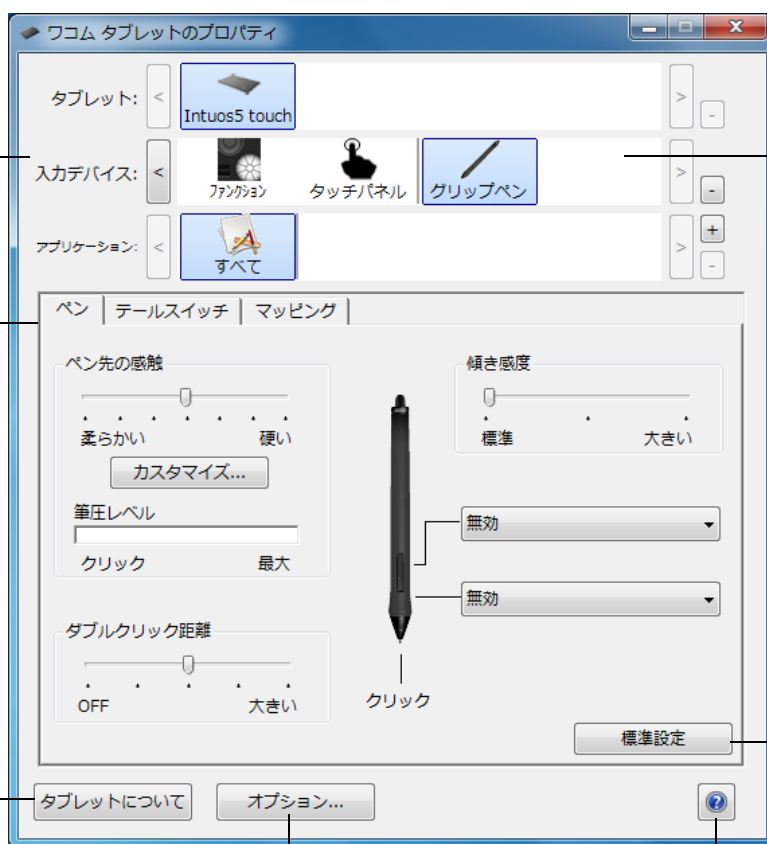
タブの設定を標準設定の状態に戻します。

タブには、選択したペンやマウスに対してカスタマイズが可能な設定が表示されます。

タブレットとソフトウェアの情報、および「診断」ダイアログボックスにアクセスするオプションも表示されます。

[オプション設定](#)をご覧ください。

ユーザズガイドをダウンロード、または表示します。



ヒントはほとんどのコントロールパネルの項目の上に表示されます。項目の上に画面のポインタを置いて静止させると、ヒントがすぐにポップアップします。

キーボードのタブと矢印キーを使って、コントロールパネルを操作することもできます。



コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」、「アプリケーション」リストから、目的のタブレット、入力デバイス、アプリケーション（ソフトウェア）を選択して設定を変更します。

「タブレット」リストには、現在、コンピュータに接続されていて、タブレットドライバがサポートしているタブレットのアイコンが表示されます。リストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

- コントロールパネルは、タブレットドライバに対応したタブレットがコンピュータに接続されないと表示されません。
- タブレットがコンピュータに接続されていないと、コントロールパネルリストからタブレットを削除することはできません。

[複数タブレットの設置](#)および[タブレットモードの変更](#)をご覧ください。



現在、選択されているものがハイライトされます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」およびタブレットで使われている入力デバイスのアイコンが表示されます。タッチ入力可能な機種の場合は、「タッチパネル」アイコンが表示されます。

特定の入力デバイスをカスタマイズするには、「入力デバイス」リストの該当するアイコンをクリックし、該当するタブを表示します。[タブレット機能のカスタマイズ](#)、[ペン入力をカスタマイズする](#)、および[タッチのカスタマイズ](#)をご覧ください。

補足：タブレットの操作面で一度ペンを使用すると、そのペンは自動的に「入力デバイス」リストに追加されます。このとき、ペンの各機能は標準設定です。

[複数の入力デバイスでの作業](#)をご覧ください。

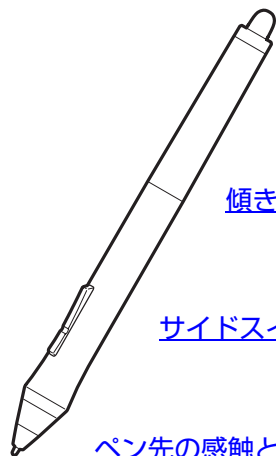
「アプリケーション」リストを使うと、特定のソフトウェアに対してのみ適用されるペンやマウスを設定を定義できます。[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

補足：「アプリケーション」リストは必要に応じて設定してください。

ペン入力をカスタマイズする



ペンのカスタマイズは簡単に行うことができます。ペンを使用してコントロールパネルを開きます。ペンが「入力デバイス」リストで自動的に選択され、適切なタブが表示されます。ペンが自動的に選択されない場合、「入力デバイス」リストから選択します。タブを選択し、使用可能なオプションから選択します。



[テールスイッチ（消しゴム）の感触を調整する](#)

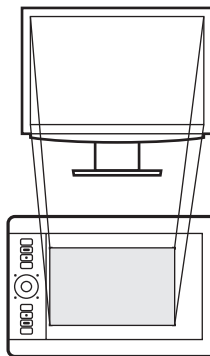
[傾き感度のカスタマイズ](#)

[サイドスイッチのカスタマイズ](#)

[ペン先の感触とダブルクリックを調整する](#)

[ペン先とテールスイッチ（消しゴム）の詳細な設定](#)

[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)



[タブレットを画面にマッピングする](#)

ワコムではオプション品として、アートペンやエアブラシなど各種のペンを提供しています。

- アートペンは筆圧対応のペン先と消しゴムを搭載し、傾き検出と回転機能にも対応しています。ペン軸の回転はカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描写を実現し、この機能に対応しているソフトウェア内でユニークな効果を生み出します。
- エアブラシは、アナログのエアブラシの感覚そのままに作業できるデジタルエアブラシです。筆圧対応のペン先と消しゴム機能、傾き検出、およびホイール機能を搭載し、デジタルペイントのソフトウェアを制御します。

これらの入力デバイスは、タブレットドライバでサポートされています。これらのペン先でタブレットの操作面に触れると、コントロールパネルの「入力デバイス」リストにアイコンが表示されます。コントロールパネルは自動的に更新され、新しい入力デバイスとカスタマイズ対象のオプションが表示されます。

これらの入力デバイスに対応したソフトウェアでは、ソフトウェア内でアートペンの回転やエアブラシのホイール機能の調節などを行うことができます。詳しくは、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

これらのオプション品についてのさらに詳しい情報、また Intuos5 シリーズで使用可能なその他のオプション品については、ワコムのホームページをご覧ください。ワコムのホームページでは、現在これらの入力デバイスの新機能に対応しているソフトウェアを確認することもできます。

ペン先の感触とダブルクリックを調整する



ペン先の感度を調整する場合は、「ペン」タブを選択します。

クリックや描画、インクに必要な筆圧をカスタマイズします。

太い線を引きたい場合、または軽いタッチでクリックしたい場合は、「ペン先の感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。細い線を引きたい場合は、スライダを「硬い」へ移動させます。

クリックし、ペン先の感度をさらに[細かくカスタマイズ](#)します。

ポインタをコントロールパネルの何も無い領域に置き、ペン先でタブレットの操作エリアを押します。筆圧バーを動かして、ペンで最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。



ダブルクリックする領域の大きさを調整します。[ダブルクリックアシスト](#)を必要としない場合は、スライダを OFF の位置へドラッグします。

- ヒント：
- ほとんどの筆圧対応のソフトウェアでは、筆圧の範囲を広くする場合は、「ペン先の感触」を柔らかくします。
 - ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧設定にすると、ペンがわずかな筆圧にも過剰に反応する場合があります。この場合は、「ペン先の感触」を硬い方に設定してみてください。
 - ダブルクリックをより簡単に行うためには、「ダブルクリック距離」を大きくするか、「ペン先の感触」を柔らかくします。
 - グラフィックソフトによっては、ダブルクリック距離を大きくすると筆のストロークに時間差が生じるため、ドラッグの動きやインクのストロークにも時間差が生じることがあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使ってダブルクリックしてみてください。[ファンクションキーにダブルクリックを設定する](#)こともできます。

テールスイッチ（消しゴム）の感触を調整する



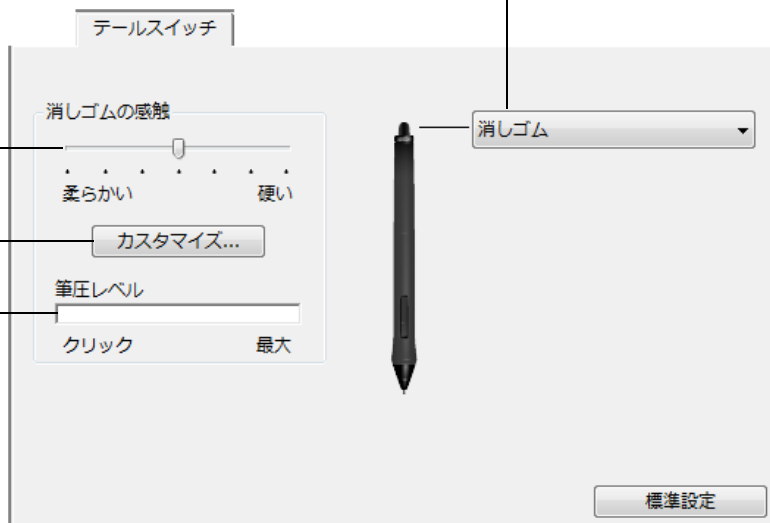
ペンでテールスイッチ（消しゴム）の感度を調節するには、「テールスイッチ」タブを選択します。

テールスイッチ（消しゴム）を使うときに必要な筆圧をカスタマイズします。スライダをドラッグして柔らかい、または硬いに設定します。

テールスイッチ（消しゴム）を使用する場合に実行する **ボタン機能** を選択します。

クリックすると、テールスイッチ（消しゴム）の感触をさらに **細かくカスタマイズ** することができます。

コントロールパネルの空領域にポインタを置き、タブレットの操作エリアにテールスイッチを押し付けます。筆圧バーを動かして、消しゴム機能で最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。



ペン先とテールスイッチ（消しゴム）の詳細な設定



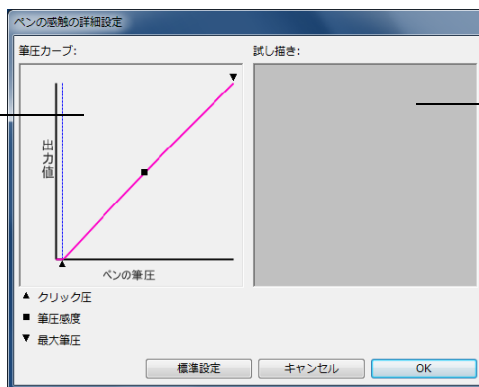
ペン先あるいはテールスイッチ（消しゴム）の筆圧を設定する場合、「ペン」または「テールスイッチ」タブを選択し、「カスタマイズ…」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧感度とクリックのしきい値設定を変更できます。

筆圧カーブは、選択した筆圧感度の曲線とクリック圧の設定を図で示したものです。

筆圧の各コントロールを動かして、筆圧カーブを変更します。

- 「クリック圧」は、筆圧の登録やペン先でのクリックに必要な荷重を設定します。
- 「筆圧感度」を調節し、筆圧カーブの傾きを変更します。
- 「最大筆圧」は、最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。

急激な増加を表す曲線は、ペンの感度が高いことを示します。



ペン先、またはテールスイッチ（消しゴム）を使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

重要：「ペン先の感触」、または「消しゴムの感触」のスライダと詳細な設定は連動しているため、変更される際にはご希望に合う設定画面をお使いください。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。

サイドスイッチのカスタマイズ



お使いのペンのサイドスイッチとペン先に割り当てられた機能を変更するには、「ペン」タブを選択します。



上部、または下部のサイドスイッチを押した場合に働く [ボタン機能](#) を選択します。

タブレットにペンを接触させずに、タブレット面から 10 mm 以内にペン先を近づけて、上部、または下部のサイドスイッチを押した場合、設定した機能が働きます。

ヒント：「ダブルクリック」を、上部のサイドスイッチ（標準設定）、または下部のサイドスイッチに設定すると、簡単にダブルクリックを行うことができます。

この位置をダブルクリックすると、ペン先の機能が変わります。

- クリックが設定されていないと、ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。ペンのボタンのいずれか1つを、必ず「クリック」機能に設定してください。
- グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

補足：右クリックや他のクリック機能を実行する際のペンの操作方法を変えることができます。[オプション設定](#)をご覧ください。

傾き感度のカスタマイズ



ペンの傾き感度を調整するには、「ペン」タブを選択します。対応するソフトウェアで最大限の効果を得るために、入力デバイスをどれだけ傾げるかを決定します。高い感度では、低い感度ほどペンを傾げる必要はありません。



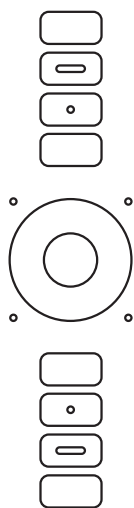
スライダをドラッグして、「傾き感度」の高低を調整してください。傾きをサポートするソフトウェアで新しい設定をテストします。傾きの設定はペン先およびテールスイッチ（消しゴム）の両方に適用されます。

傾きはペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。

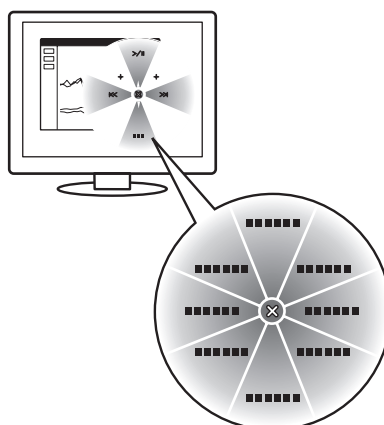
傾きをサポートするソフトウェアの最新情報についてはワコムホームページをご覧ください ([製品情報](#)をご覧ください)。

タブレット機能のカスタマイズ

Intuos5 シリーズをカスタマイズするには、コントロールパネルを[開いて](#)、「入力デバイス」リストから「ファンクション」アイコンを選択します。カスタマイズするタブを選択して、利用可能なオプションを選択して設定を変更します。



- [ファンクションキーのカスタマイズ](#)
- [タッチホイールのカスタマイズ](#)
- [マッピング画面切り替えを使う](#)
- [特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)



[ラジアルメニューの使い方と設定](#)

ファンクションキーのカスタマイズ

ファンクションキーをカスタマイズするには、「ファンクションキー」タブを選択します。各キーは、マッピング画面切り替え、修飾キー、キーストロークなどの機能をカスタマイズすることができます。

「ファンクションキー」タブを選択すると、現在設定されている各ファンクションキーの機能が表示されます。

各キーを押した場合に実行される機能をプルダウンメニューから選択します。

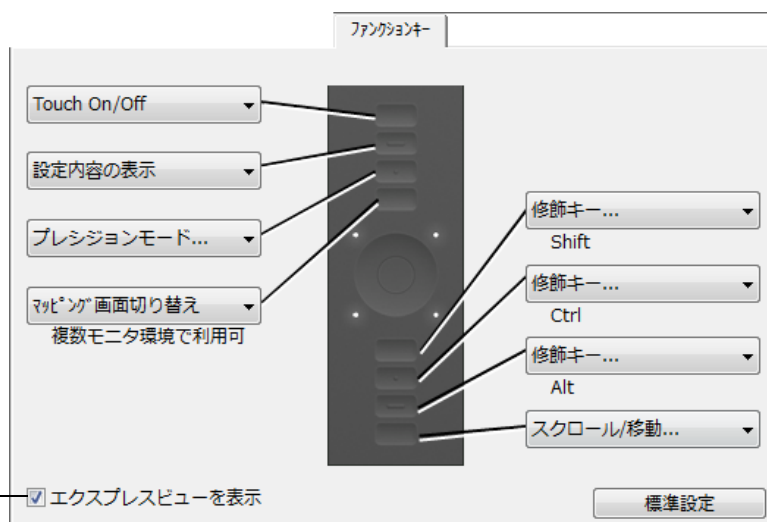
ファンクションキーは、特定のソフトウェアごとに設定することができます。設定については、[特定のアプリケーションソフトウェアに対する使用](#)をご覧ください。

さらに知りたいときは、[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

補足：small サイズのタブレット（PTH-450、PTK-450）では、ファンクションキーは6個です。

[エクスプレビューを表示](#)を無効または有効にします。

無効にした場合、ファンクションキーの上に指を載せても設定内容は画面表示されません（有効にした場合は表示されます）。



上の画面は、右利きの場合を例にしています。

重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーの機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

タッチホイールのカスタマイズ

タッチホイールをカスタマイズするには、「タッチホイール」タブを選択します。ズーム、スクロール、あるいはカスタマイズ可能なキーストローク機能を実行するように、タッチホイール機能を変更することができます。



タッチホイールで実行する機能を選択します。カスタマイズ可能な4つの機能を切り替えることができます。

これによって、ズーム速度やスクロール速度、キーストローク情報をソフトウェアに送る速度を調整できます。

タッチホイール機能は、[ソフトウェアごと](#)に設定できます。

詳細については[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。

タッチホイール設定の一欄表示を有効または無効にします。

- ヒント:
- タッチホイールに他の操作を設定するには、「キーストローク」オプションを選択し、[キーストローク](#)機能を定義します。ソフトウェアによるキーストロークショートカットのサポートについては、ソフトウェアに付属する取扱説明書をご覧ください。
 - 「スキップ」を選択すると、切り替えの順番からスキップされるようにタッチホイールの切り替えボタンを設定できます。
 - Adobe Photoshop CS3以降で、ポインタの位置する画像をズームするには、「Photoshop」メニュー→「環境設定」→「一般」を選択します。続いて「スクロールホイールでズーム」オプションをチェックして、「OK」をクリックします。
 - タッチホイールのステータスランプと操作エリアマーカーの明るさを調節する場合は、コントロールパネル最下部の「オプション」ボタンをクリックします。「オプション」ダイアログボックスで、必要に応じて「明るさの調整」の設定を変更してください。

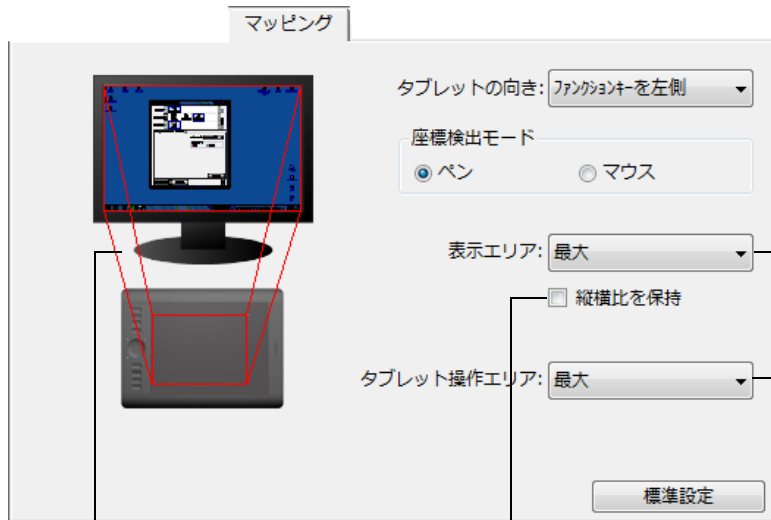
重要: ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

タブレットを画面にマッピングする



「マッピング」タブを選択して、タブレット操作エリアでの入力デバイスの動作とディスプレイ画面でのポインタの動作の関係を設定します。

標準設定では、タブレットの操作エリア全体がディスプレイ全体にマッピングされます。複数のディスプレイを使用中の場合、タブレットはすべてのディスプレイにマッピングされます。[マルチディスプレイへのマッピング](#)をご覧ください。



画像はすぐに更新され、選択したマッピングの関係が表示されます。

「縦横比を保持」のチェックをはずした場合、正確な縮尺、比率は保持されません。選択したタブレットの操作エリアが、選択した画面の表示エリアに割り当てられます。タブレットで円を描いてもディスプレイ画面では楕円になることがあります。全ての入力デバイスについての標準設定です。

「縦横比を保持」にチェックを入れると、正確な縦横比が保持されます。タブレットで円を描くとディスプレイ画面でも円が描かれます。設定によりませんが、このオプションが選択されている場合、タブレットの操作エリアで利用できない領域があります。

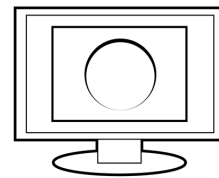
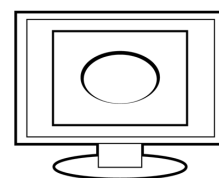
「タブレットの向き」はタブレットごとに設定され、この設定は、すべての入力デバイスとソフトウェアに適用されます。[タブレットの向きを設定する](#)をご覧ください。

選択する「座標検出モード」により、画面のポインタの動き方が異なります。

- 「ペンモード」では、ポインタの動作がタブレット上のペン先の位置に対応するよう設定されます。これによって、タブレット上にペンを置くと、ポインタが、画面上の対応するポイントまでジャンプします。これは絶対座標で、ペンの標準設定です。
- 「[マウスモード](#)」では、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。

[表示エリア](#)をご覧ください。

[タブレット操作エリア](#)をご覧ください。



Intuos5 でオプションのマウスを使用する場合、マッピングタブの表示画面で設定を行います。

「マウス操作」オプションは、マウスのみに適
用されます。

- 「タブレットの向きに従う」を選択すると、
タブレットの上部へマウスを移動させると、
ポインタも画面の上へ移動します。この
モードでは、タブレットの操作エリアすべ
てがマウス操作の領域になります。
- 「マウスの動きに従う」を選択すると、マウ
スの向きに対し上へ移動させると、ポイン
タも画面の上へ移動します。このモードで
は、操作エリアの一部分でマウスを操作で
きます。これは、Intuos5 シリーズの標準
設定です。



ポインタの加速を設定します。

ポインタの速度を設定します。

補足：画面の[ラジアルメニュー](#)を使用して、ペンモードとマウスモードを切り替えることもできます。
ペンモードとマウスモードをよく切り替える場合は、ペン、マウスまたはタブレットのボタンに
「[ペン⇄マウスモード](#)」機能を割り当てることもできます。

表示エリア



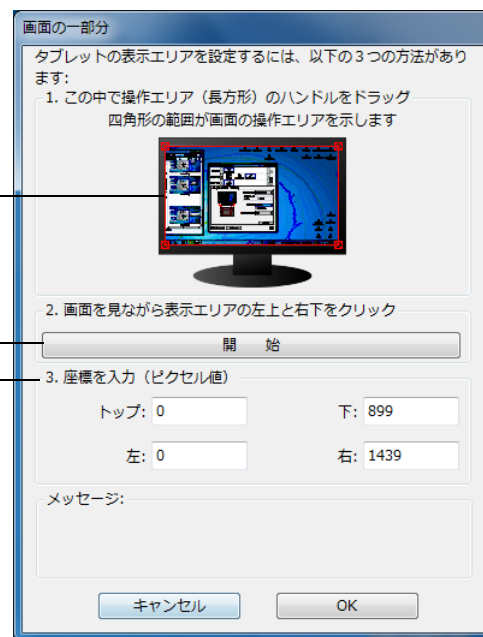
お使いのタブレットがディスプレイ画面のどの部分にマッピングされるかを定義するには、コントロールパネルの「マッピング」タブで「表示エリア」オプションを選択します。

最大 複数のディスプレイ全体を 1 つの大きな画面とします。標準設定です。詳細については[マルチディスプレイへのマッピング](#)をご覧ください。

一部領域 ... 表示されるダイアログボックスから、表示画面の一部を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、表示エリアを選択します。
- 「開始」ボタンを選択し、画面のポインタを動かして表示エリアを選択します。画面の「メッセージ」に従って設定してください。
- 画面表示エリアの上、下、左、右の境界に対してピクセルの値を入力する方法です。値は、画面の上の左隅から測定されます。メッセージに従って確認してください。

画面の一部を定義したあと、表示エリアのその他の領域にアクセスするには、違う入力デバイスを使用してください。



モニタ (数字)

1 つ選んだディスプレイの領域全体に割り当てられます。複数のディスプレイがシステムに接続されている場合、検出されるそれぞれのディスプレイにオプションを適用できます (たとえば、2 つのモニタが接続されている場合、モニタ 1、モニタ 2 でそれぞれオプション設定ができます)。

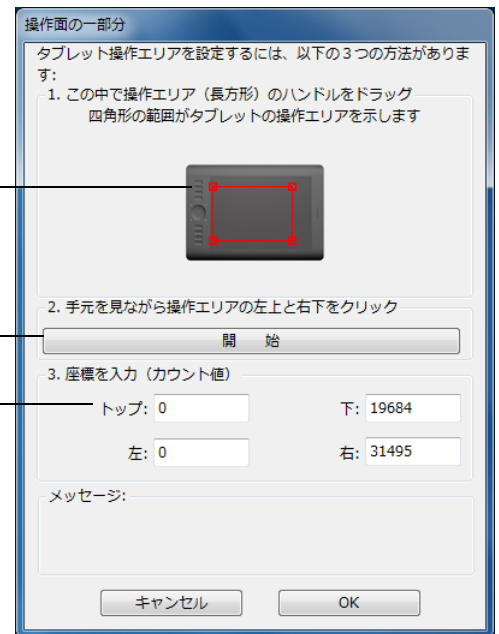
タブレット操作エリア



ディスプレイ画面に割り当てられるタブレット上の操作領域を定義するには、「マッピング」タブの「タブレット操作エリア」オプションを選択します。

最大	タブレットの操作エリア全体を画面の表示部に割り当てます。標準設定です。
一部領域 ...	表示されるダイアログボックスから、操作面の一部を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、選択した表示エリアに割り当てるタブレット操作エリアを設定します。
- 「開始」ボタンを選択し、入力デバイスを使ってタブレット操作エリアを選択します。画面の「メッセージ」に従って設定してください。
- タブレット操作エリアの上、下、左、右の境界に数値を入力する方法です。





ボタン機能

作業スタイルに合わせて Intuos5 シリーズをカスタマイズできます。サイドスイッチ、ファンクションキー、タッチホイール、またはラジアルメニューの設定に割り当てられたボタン機能を、コントロールパネルから簡単に変更することができます。機種により、割り当てることができる機能は異なる場合があります。スイッチやキー、あるいは機種により利用できない機能もありますのでご注意ください。

機能	説明
クリック	
• クリック	ペン先の標準設定です。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの1つに設定してください。
• 右ボタンクリック	右ボタンクリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で2度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	デバイスボタンを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放すことに相当します。クリックロックは、オブジェクトをドラッグしたり、テキストブロックを選択したりする場合に便利です。
• 第4ボタンクリック	マウスの第4ボタンクリック（戻る）に相当します。
• 第5ボタンクリック	マウスの第5ボタンクリック（進む）に相当します。



機能

説明

キーストローク ...

キーストロークを実行することができます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが開きます。

手動で、1つのキーストロークまたはキーストロークの組み合わせを「キー」ボックスに入力することができます。

キーストロークには、文字キー、テンキー、「F3」のようなファンクションキー、修飾キー（Windowsでは「Shift」、「Alt」、「Ctrl」、Macでは「shift」、「option」、「command」、「control」キー）を組み合わせることができます。

「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択します。

キーストロークの組み合わせを入力したら、「OK」をクリックします。

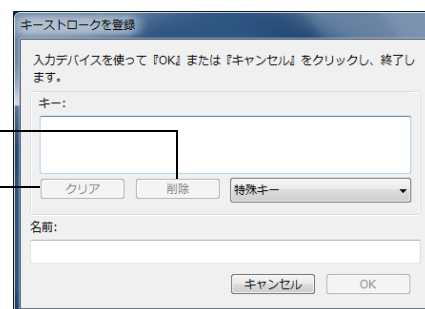
重要：「Enter」キー（Windows）および「return」キー（Mac）は、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択するのに使用しないでください。必ず入力デバイスを使用して「OK」をクリックしてください。

キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれのコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

キーストローク入力ボックスに入力した最新の内容のみ削除します。

キーストローク入力ボックスを全てクリアします。



タッチホイールまたはマウスホイールにキーストロークを割り当てる場合、ダイアログボックスには2つの「キー」入力ボックスが表示されます。

上記で述べたように、タッチホイール上での時計回りおよび反時計回りの回転動作やマウスホイールの奥と手前への回転動作にキーストローク機能を割り当てます。



割り当てた一組のキーストロークに名前を入力して、「OK」をクリックします。

各ソフトウェアがどのキーストロークショートカットに対応しているかについては、そのソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。



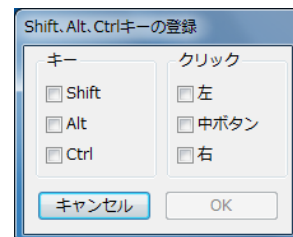
機能

説明

修飾キー ...

修飾キー (Windows の「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーや、Mac の「shift」、「option」、「command」、「control」キーなど) を割り当てることができます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してオブジェクトの大きさや位置を限定します。

キーオプションをチェックして選択します (複数可)。



「クリック」オプションのどれかをチェックすると、対応するマウスボタンを押すことと同じ働きをします。

ラジアルメニュー

画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。

戻る

ブラウザの「戻る」コマンドに相当します。

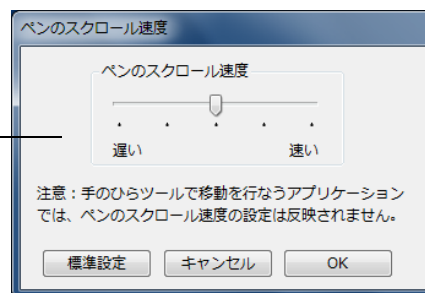
進む

ブラウザの「進む」コマンドに相当します。

スクロール / 移動 ...

ペン入力のためのオプションです。文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。「スクロール / 移動 ...」に設定されたサイドスイッチを押して、タブレットの操作エリアでペン先をドラッグします。

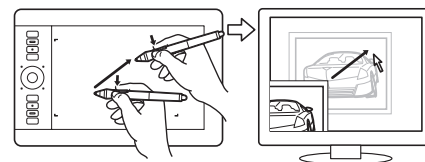
「スクロール / 移動 ...」を選択すると、手のひらツール (ピクセルレベル) でのパン機能をサポートしていないソフトウェアでのスクロール速度を設定することができます。

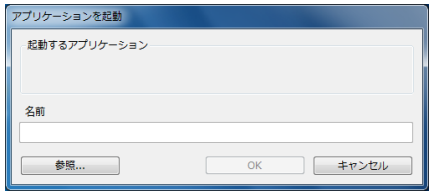


設定を遅くするとスクロール速度が下がることから、画像の正確な制御が必要な細かい作業がやりやすくなります。

タブレット上でペン先を動かすと、画面上の文書や画像が移動します。

移動を終了する場合は、サイドスイッチから指を離す、またはタブレットからペン先を離してください。



機能	説明
オートスクロール／ズーム	この機能をタッチホイールに設定すると、ほとんどのグラフィックソフトウェアではズーム操作が、他のソフトウェアではスクロール操作が行われるようになります。
スクロール	タッチホイールにスクロール動作を設定します。
ズーム	タッチホイールにズーム動作を設定します。
デスクトップの表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
タスク切り替え	「タスク切り替え」ダイアログボックスが表示され、起動中のソフトウェアから前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。Aero を搭載した Windows 7 および Windows Vista のシステムでは、フリップ 3D が起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。
開く / 起動 ...	<p>ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。</p> <p>「参照 ...」 ボタンをクリックして、起動するソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択します。「名前」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。その選択でよければ「OK」をクリックします。</p>  <p>ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがデバイスボタンオプションとして割り当てられます。次回デバイスボタンを押すだけで、割り当てられたオプションが起動します。</p> <p>ラジアルメニューを選んだ場合、その場所に表示されるようになります。</p>
タッチ機能 on/off 切り替え	<p>Intuos5 touch タブレットでのみ利用できます。「タッチ機能 on/off 切り替え」は、ペンで作業中にペンモードのみを使いたい場合に便利です。</p> <p>「タッチ機能 on/off 切り替え」を割り当てたファンクションキーを押すことによって、一時的にタッチ入力を無効にします。タッチを有効にするには、再度このファンクションキーを押します。ファンクションキーのカスタマイズをご覧ください。</p>
Ink 文字認識 ON/OFF	(Mac のみ) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については、Mac のヘルプをご覧ください。
Exposé	(Mac のみ) 画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ...」 → 「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。
筆圧一定	ボタンを押している間、筆圧を現在の筆圧レベルに保ちます。たとえば筆圧感度を使って描画をし、筆の太さが希望のレベルになったところでボタンを押すと、ボタンを離すまでは同じ太さで描画できます。



機能

説明

プレジジョンモード

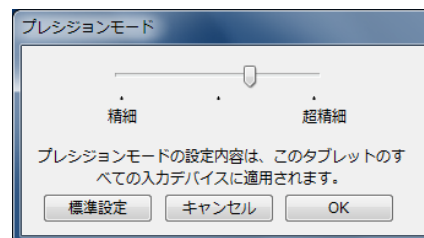
ペン先位置周辺のマッピングの比率を変更し、一定の距離ポイントを動かすには、ペンをそれより長い距離動かさなければならぬよう設定します。この機能は、ペンまたはブラシで正確な軌跡を書きたい場合に役立ちます。

この機能をデバイスボタンに割り当てると、プレジジョン設定を調節できるようになります。

機能を有効にするには：

- **ずっと使う場合**、機能を割り当てたデバイスボタンを押すと、「プレジジョンモード」に切り替わります。再度同じデバイスボタンを押すと、通常のマッピングに戻ります。
- **そのときだけ使う場合**、機能を割り当てたデバイスボタンを押し続けます。デバイスボタンを離すと、通常のマッピングに戻ります。

ペンやマウスがマウスモードの場合、ポイントの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。



マッピング画面切り替え

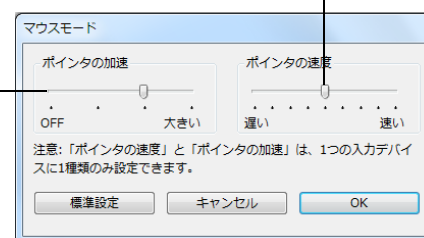
マルチディスプレイシステムで使用します。この機能の割り当てられたファンクションキーを押すと、マッピングとポイントを現在のディスプレイから別のディスプレイへ切り替えることができます。[マッピング画面切り替えを使う](#)をご覧ください

ペン⇄マウスモード

ペンモードとマウスモードを切り替えます。初めてこの機能をデバイスボタンに設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速とスピードを調節できます。

マウスモードの場合は、ポイントの速度を設定します。

マウスモードの場合は、ポイントの加速を設定します。



マウスモードは、コントロールパネルの多くのダイアログからアクセスして設定できます。「ポイントの加速」と「ポイントの速度」は、カスタマイズ中の入力デバイスとソフトウェアにつき、1つしか設定できません。

「ポイントの加速」と「ポイントの速度」の設定は、通常のマウスの設定から独立しています。コントロールパネル内で設定を変更しても、システム側の同内容の設定に影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、お使いのタブレット設定に影響する場合があります。



機能

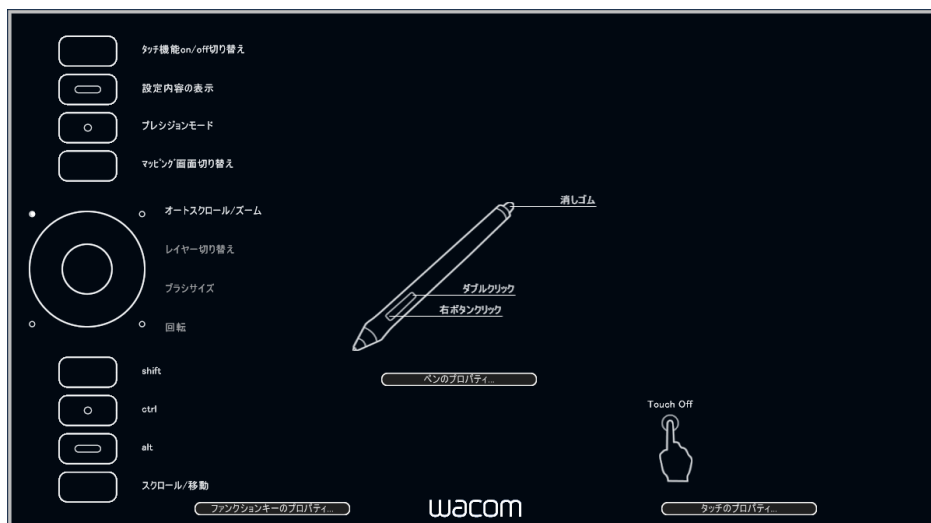
説明

消しゴム

「消しゴム」機能に対応しているソフトウェアでは、このボタンを押したときにペン先が消しゴムの役割をします。[消しゴム](#)をご覧ください。

設定内容の表示

ファンクションキー、タッチホイール、ペン、およびタッチのインタラクティブな（コントロールパネルとリンクする）設定一覧を画面に表示します。現在割り当てられている機能が表示されます。



「設定内容の表示」のファンクションキーやタッチホイール、ペン、タッチの各項目をクリックすると、対応するコントロールパネルのタブが開きます。続いて必要な設定変更を行います。

この機能が割り当てられているファンクションキーやその他のデバイスボタンを再度押すか、または画面の各項目以外の領域のどこかをクリックすると、「設定内容の表示」が閉じます。

お使いの機種によっては表示や設定の一部が異なる場合があります。





機能	説明
タブレット PC	
• Tablet PC 入力パネル	Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows 7 および Windows Vista で利用可能なオプションです。この機能が割り当てられたデバイスボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
• Windows Journal	Windows Journal を含む Windows 7、Windows Vista で利用可能なオプションです。Windows Journal が開きます。
• Tablet PC の設定に従う	Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows 7 および Windows Vista で利用可能なオプションです。 以下のダイアログの設定に従い、ボタン機能を設定します。 • 「Tablet PC 設定」と「ペンと入力デバイス」コントロールパネル
無効	すべてのボタン機能を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにボタンの数の情報を送ります。この機能は、CAD プログラムのように、タブレットのサポートが組み込まれたソフトウェアで働きます。 また、高度な統合ソフトウェアによっては、ファンクションキーとタッチホイールを直接コントロールすることができるようになります。
スキップ	タッチホイールでのみ選択可能。タッチホイールの機能切り替え時にスキップさせる（順番を飛ばす）機能を選ぶことができます。
標準設定	ボタンを標準設定に戻します。



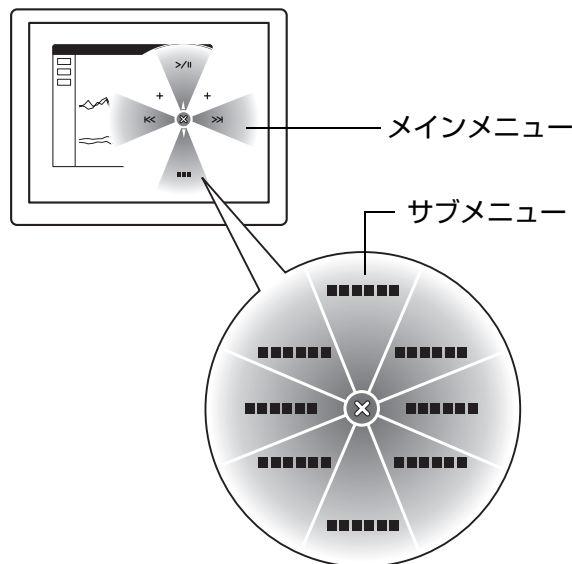
ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューは円形のポップアップメニューです。ラジアルメニューをカスタマイズすると、編集、ナビゲーション、メディア操作などが簡単に行えるようになります。

- デバイスボタンまたはファンクションキーに「ラジアルメニュー」を設定します。デバイスボタンを押すと、ラジアルメニューがポインタの位置を中心として表示されます。
- Intuos5 touch の場合：機能を割り当てられたジェスチャーを使ってラジアルメニューを開くこともできます。
- 階層構造を持つラジアルメニューが円形で表示されます。メニューの各レベルを構成する 8 つの項目に含まれる、様々な機能やオプションが選択可能です。
- クリックでどれかのオプションを選択します。オプションによっては、選択するとサブメニューが表示され、利用可能なオプションをさらに選ぶことができます。
- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。

機能を選択せずに終了する場合、ラジアルメニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。再びメニューを表示するときは、「ラジアルメニュー」が割り当てられたボタンを押します。

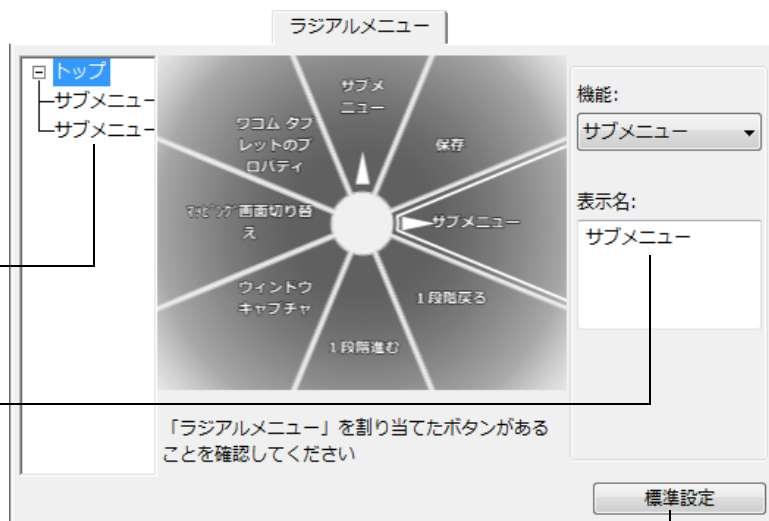
- ラジアルメニューを開いたままで選択するには、ラジアルメニューを呼び出すデバイスボタンを押し続けます。



コントロールパネルの「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. 扇形（メニュー項目）を 1 つ選択します。
2. 任意の「機能」を割り当てます。必要に応じて「表示名」を変更してください。
3. メニューまたはサブメニューを選択し、さらに細かくカスタマイズします。

- ヒント：
- 「機能」メニューで「サブメニュー」を選択し、任意のサブメニューを設定、追加できます。
 - 「Enter (Return)」キーを押すと、複数行の「LABEL」テキストを追加できます。



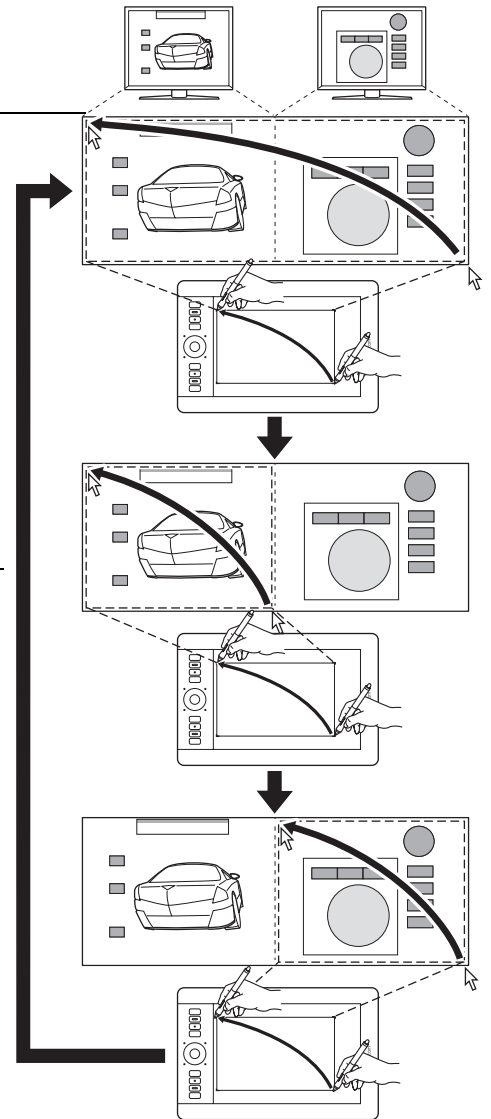
現在、表示されているメニューを標準設定に戻します。

マッピング画面切り替えを使う

マルチディスプレイ環境では、「マッピング画面切り替え」を利用することができます。この機能を使うと、タブレット1台をディスプレイ全体に、あるいはディスプレイ1つずつに割り当てを切り替えながら作業を行うことができます。[マルチディスプレイへのマッピング](#)をご覧ください。

ファンクションキーまたはサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」に設定すると、デバイスボタンを押すことで、基本マッピング（「[マッピング](#)」タブの設定）とその他のディスプレイマッピングを順番に切り替えることができます。

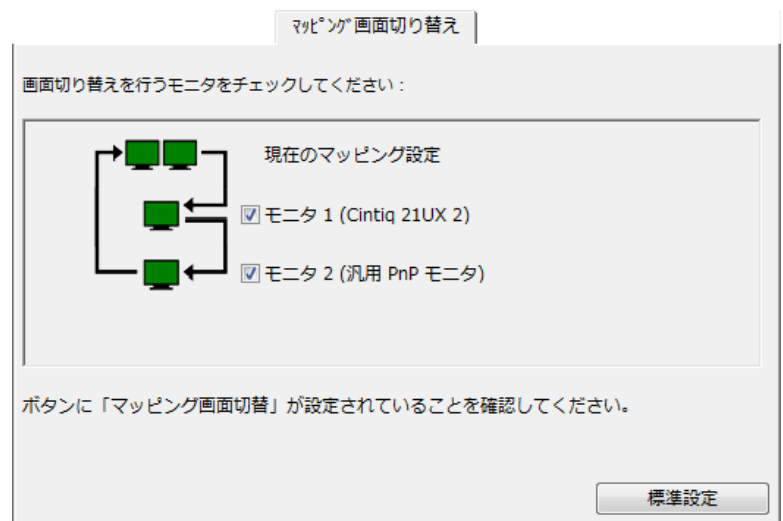
1. マルチディスプレイの表示領域全体が拡張モードに設定されていて、Intuos5 シリーズの操作エリアに割り当てられています。
2. 「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンを押すと、タブレットのマッピングを次のディスプレイに順番に切り替えていきます。



Intuos5 シリーズがマルチディスプレイ環境に接続されている場合、コントロールパネルには「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、ディスプレイを切り替える順番を設定します。

標準設定では、すべてのディスプレイが順番に選択されます。ディスプレイのチェックをはずすと、そのディスプレイは切り替えの対象ではなくなります。

- 基本マッピングは、「[マッピング](#)」タブで定義されたタブレットとディスプレイのマッピングです。標準設定では、特定のディスプレイを主要ディスプレイとして定義していない限り、これにはすべてのディスプレイが含まれます。
- 次のディスプレイに切り替えると、有効な操作エリアが該当するディスプレイに割り当てられます（ペンモードの場合のみ）。
- 選択された最後のディスプレイまで切り替えた後、もう1度切り替えると、基本マッピング（現在のマッピング設定）に戻ります。



重要：「マッピング画面切り替え」で特定のアプリケーションに対する設定を使用している場合、「アプリケーション」リスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたデバイスボタンがあるかを確認してください。特定のアプリケーションに対する設定を作成する前に、ファンクションキーに「マッピング画面切り替え」を割り当てることをお勧めします。

次の動作のいずれかを行うと、切り替えの順番は基本マッピングに戻ります。

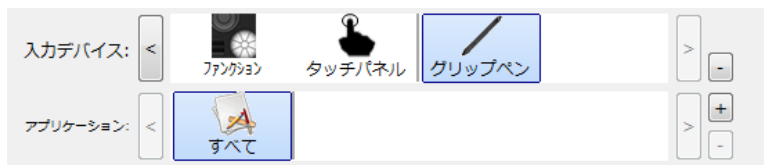
- 筆圧をサポートするグラフィックソフトを起動したとき
- システムをログアウトするか、再起動したとき
- ユーザを切り替えたとき（ファーストユーザスイッチ）
- システムをスリープモードにしたとき
- 「[マッピング](#)」または「マッピング画面切り替え」の設定を変更したとき
- システム上のディスプレイの解像度または数を変更したとき
- 「[ペン⇄マウスモード](#)」機能を使用したとき
- [ラジアルメニュー](#)から「ペンモード」または「マウスモード」を選択したとき

ヒント：「ディスプレイ全体」オプションを含めずに、ディスプレイ間を切り替えるには、「マッピング画面切り替え」タブ上の1番目のディスプレイを無効にします。次に、「マッピング」タブで1番目のディスプレイに対して現在の「表示エリア」を設定します。

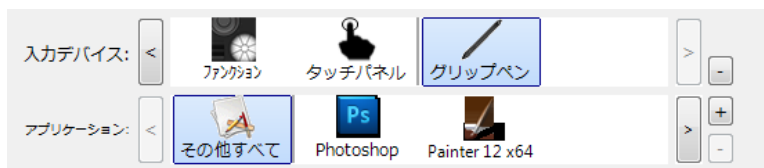
特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定

使用する入力デバイスは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストに対象のソフトウェアを追加し、追加したソフトウェアに対して入力デバイスの設定を行います。

- ソフトウェアごとの設定を行わず入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストに「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、選択中の入力デバイスで操作するソフトウェアすべてを表示します。下の例では、入力デバイス「グリップペン」に「特定のソフトウェアに対する設定」が追加されていません。「グリップペン」で操作されるすべてのソフトウェア内では、「グリップペン」の設定は共通です。



- 特定のソフトウェアに対する設定が追加されると、「すべて」アイコンは「その他すべて」アイコンに変わり、追加されたソフトウェアのアイコンが表示されます。



上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「グリップペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)

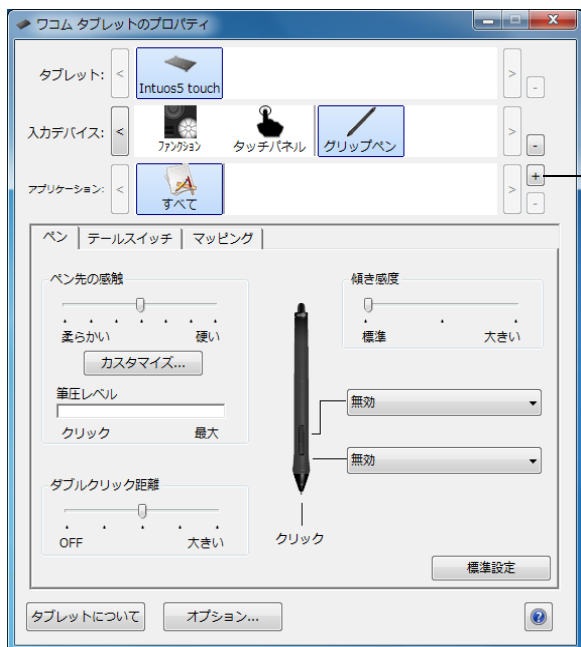
[特定のソフトウェアに対する設定を変更する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を削除する](#)

ヒント：画面の最前面にあるソフトウェアに対して、ファンクションキー、タッチホイール、あるいはペンの設定を確認するには、ファンクションキーの1つに「[設定内容の表示](#)」を設定してそのキーを押すと確認できます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する

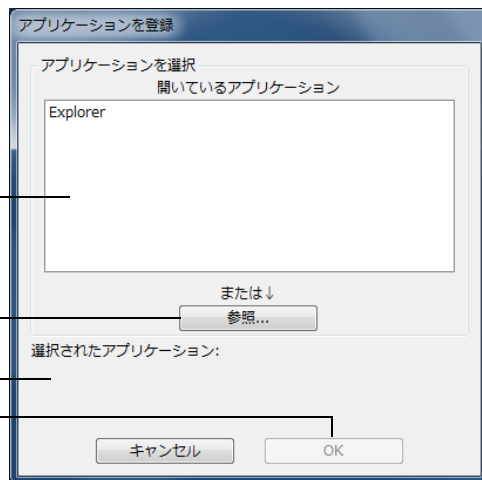
初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成する「タブレット」と「入力デバイス」を選択します。



「アプリケーション」リストの
[+] ボタンをクリックします。

ソフトウェアを選択する方法を次の2つのうちいずれかから選びます。

- ・ 「開いているアプリケーション」ボックスから、設定を作成するソフトウェアを選択します。
- ・ 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。



選択したソフトウェアの名称が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足：2つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、2つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。

ソフトウェアを追加したあと、各入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に入力デバイスと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより使いやすさを感じたら、さらに別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。



特定のソフトウェアに対する設定を変更する

指定のソフトウェアに対して入力デバイスの設定を変更する場合は、入力デバイスとソフトウェアを選択します。続いてタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから、設定を削除したい入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから、リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで、[-] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして、選択を確認します。ソフトウェアは、入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：1つの入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストから入力デバイスを削除します。
次に入力デバイスをタブレットの上に戻すと、入力デバイスは、標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。この方法は、カスタマイズされた「ファンクション」および「タッチパネル」の設定を削除する場合は利用できません。



複数の入力デバイスでの作業

コントロールパネルは、タブレットおよびのカスタマイズと管理に役立つように設計されています。コントロールパネルを開く際に使用した入力デバイスが自動的に選択され、その入力デバイスに適したタブが表示されます。

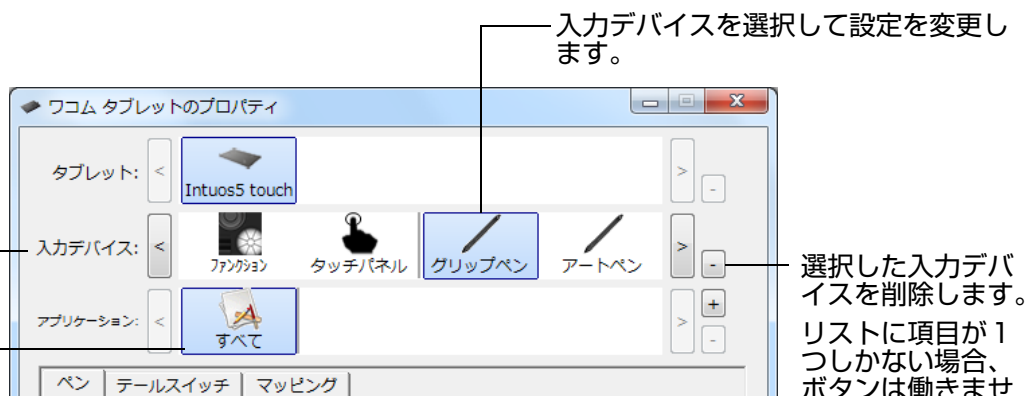
「入力デバイス」リストには、タブレットの「ファンクション」アイコンとタブレット上で使用された入力デバイスが表示されます。

タッチ入力が可能なタブレットの場合は「タッチパネル」アイコンが利用できます。[タッチのカスタマイズ](#)をご覧ください。

特定のアプリケーション（ソフトウェア）に対する設定が追加されていない場合、「すべて」アイコンが表示され、入力デバイスに対する設定はすべてのソフトウェアに適用されます。

タブの設定は、選択した入力デバイスとアプリケーション（ソフトウェア）に対してのみ適用されます。

ヒント：入力デバイスのアイコンをダブルクリックし、新しい名前を入力することで、入力デバイス名を変更できます。「ファンクション」アイコンの名前は変更できません。



入力デバイスを選択して設定を変更します。

選択した入力デバイスを削除します。リストに項目が1つしかない場合、ボタンは働きません。

「ファンクション」および「タッチパネル」アイコンは削除できません。

「入力デバイス」リストに入力デバイスを追加するには、Intuos5 シリーズ上で追加する入力デバイスを使用してください。

- 「入力デバイス」リストに追加された入力デバイスを選択する場合、その入力デバイスの適切な設定がタブに表示されます。変更された設定は、入力デバイスに適用され、直ちに実行されます。同じ入力デバイスが過去に追加されていた場合、新しい入力デバイスは古い入力デバイスの設定を引き継ぎます。設定は、新規に追加された入力デバイスに合わせてカスタマイズすることができます。
- 同一の入力デバイスには同一の設定が適用されます。

選択した入力デバイスを「入力デバイス」リストから削除するには、「入力デバイス」リストの[-]ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから、「削除」をクリックして、選択を確認します。選択した入力デバイスは、その入力デバイス向けに作成した設定とともにリストから削除されます。（削除した入力デバイスをタブレットの上に戻すと、「入力デバイス」リストに再び追加されます。）

タブレットモードの変更

Intuos5 シリーズは、ほとんどのソフトウェアで最適なパフォーマンスでお使いいただけます。ただし、手書き認識ソフトの中には、一般的なソフトウェアよりも高いデータ転送速度を必要とするものがありますので、お使いの環境によってはコンピュータのパフォーマンスが低下する場合があります。

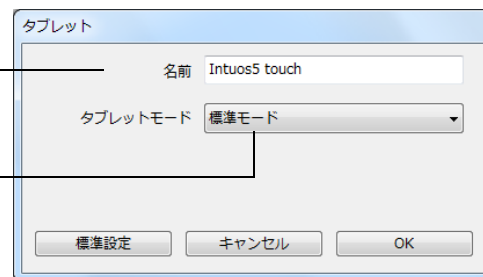
ご使用の手書き認識ソフトウェアの動作が十分ではない場合、タブレットのモードを標準から認識モードに変更してください。

コントロールパネルの「タブレット」リストから、タブレットのアイコンをダブルクリックします。「タブレットモード」設定は、すべての入力デバイスとソフトウェアに適用されます。

必要に応じて、タブレットアイコンの名前を変更することもできます。

グラフィックソフトウェアでは「標準モード」をおすすめします。

「文字認識」では、データ転送速度が最大になります。一部の手書き認識ソフトはこの設定でお使いください。



オプション設定

「オプション」ダイアログボックスを表示するには、コントロールパネルで「オプション」ボタンを押します。

「サイドスイッチエキスパートモード」を変更して、右クリックなどのクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合：ペンをタブレット面から少し浮かせた状態でサイドスイッチをクリックします。タブレット PC 以外の標準設定です。

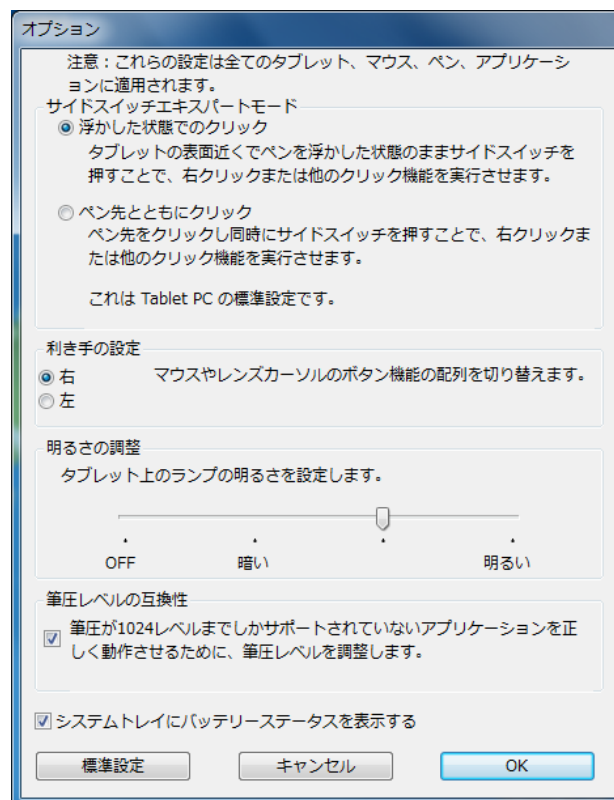


浮かした状態でのクリック

- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合：正確なクリック位置を決めることが可能です。クリック操作を行うには、サイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレット表面にタッチします。



ペン先とともにクリック



- 「利き手の設定」では、マウスを右手、または左手で使えるように、ボタンの向きを変更します。
- 「明るさの調整」で、タッチホイールのすべてのステータスランプおよび操作エリアマーカー（ランプ）の明るさを設定します。
- サポートする筆圧レベルが 1024 レベルまでのグラフィックソフトを使用する場合は、「筆圧レベルの互換性」チェックボックスを必ず選択してください。これを選択しないでソフトウェアを使用すると、ペンの感度が高くなり過ぎてしまいます。

Intuos5 シリーズをワイヤレスで使う

Intuos5 シリーズは、ワイヤレスキットを使うことにより、ワイヤレスでのご使用が可能になります。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

[ワイヤレスキットの構成](#)

[ワイヤレスキットの取り付け](#)

[電池および電源管理](#)

[電池寿命について](#)

[電池を交換する](#)

[ワイヤレスモジュールを取り外す](#)

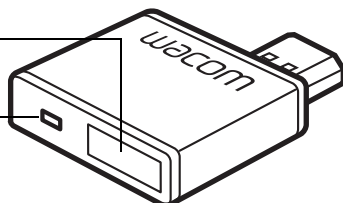
[ワイヤレスレシーバーの保管](#)

ワイヤレスキットの構成

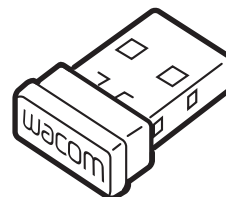
ワイヤレスキットの構成は以下の通りです：

電源ボタン

充電ステータスランプ

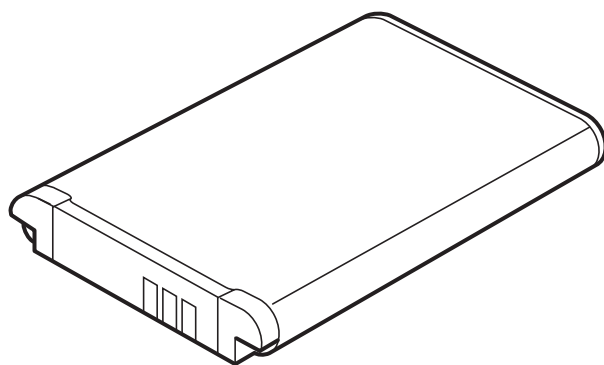


ワイヤレスモジュール
Intuos5 タブレット本体に接続するプラグです。



ワイヤレスレシーバー
コンピュータの USB ポートに接続します。

使用しないときはタブレット内部に収納できます。[ワイヤレスレシーバーの保管](#)をご覧ください。



充電式リチウムイオン電池
タブレット内部にセットします。

警告

製品安全上のご注意についてはワイヤレスキットの「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

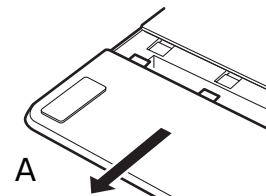
補足：ワイヤレスモジュールとワイヤレスレシーバーは、セットになった状態で販売されます。なくしたり破損した場合には、新しいワイヤレスキットをご購入ください。充電式リチウムイオン電池は単体でご購入いただけます。

ワイヤレスキットの接続のしかたは、[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。

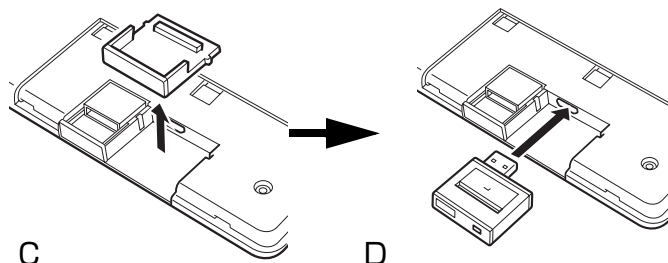
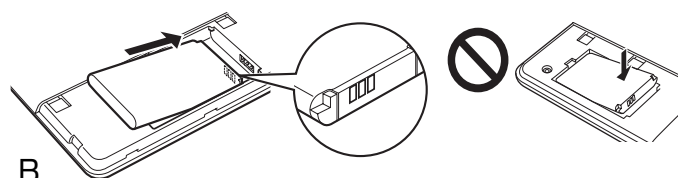
ワイヤレスキットの取り付け

ワイヤレス通信のために、以下の作業を行います。

1. タブレットから USB 接続ケーブルを取り外します。
2. タブレットを裏返し、ワイヤレスキットカバーを取り外します。カバーをスライドさせタブレットから取り外します (図 A)。medium サイズのタブレット (PTH-650、PTK-650) および large サイズのタブレット (PTH-850) をお使いの場合は、2箇所のカバーを取り外します。1箇所はワイヤレスモジュール用、もう1箇所は充電式リチウムイオン電池用です。small サイズのタブレット (PTH-450、PTK-450) では、このカバーは2つに分かれていません。
3. ワイヤレスキットを取り付けます。

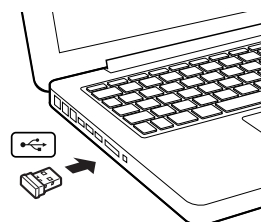
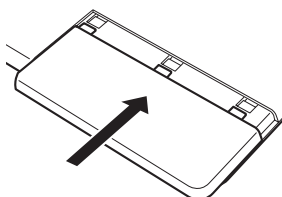


- 充電式リチウムイオン電池をセットします。タブレット側と電池側の端子部を合わせ (図 B)、矢印の方向にゆっくりと押し込みます。[電池を交換する](#)もご覧ください。
- ワイヤレスモジュールを取り付けます。保護カバーを取り外し (図 C)、ワイヤレスモジュールをスライドさせて挿入し、コネクタ部分が完全に収まるまで確実に押し込んでください (図 D)。



重要：保護カバーは大切に保管しておいてください。ワイヤレスモジュールを取り外した場合に、保護カバーが必要になります。[ワイヤレスモジュールを取り外す](#)をご覧ください。

- ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。位置を揃えて所定の位置にスライドさせます (図 E)。
- お使いのコンピュータの有効な USB ポートに、ワイヤレスレシーバーを接続します (図 F)。



4. コンピュータを起動します。

システムが完全に起動したら、ワイヤレス通信を確立してください。

[ワイヤレス通信の確立](#)

[ワイヤレス通信を最適化する](#)

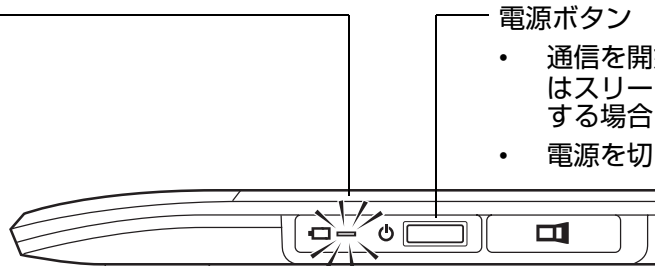
ワイヤレス通信の確立

タブレットとコンピュータ間をワイヤレス通信で接続します。

1. 電池を完全に充電します。[電池の充電](#)をご覧ください。ランプが緑色に点灯し電池がフル充電になっていれば、USB 接続ケーブルを取り外しワイヤレスでお使いいただけます。

充電ステータスランプ

- USB 接続ケーブルが接続され、電池が充電中のときはオレンジ色です。
- USB 接続ケーブルが接続され、電池がフル充電状態のときは緑色です。
- ワイヤレスでタブレットを使用しているときは消灯しています。



電源ボタン

- 通信を開始するときあるいはスリープモードから復帰する場合に押します。
- 電源を切るときに押します。

2. 起動しているコンピュータにレシーバーが挿してある状態で、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。数秒以内にワイヤレス通信が確立されます。確立されない場合は、ワイヤレスモジュールの電源が切れます。その場合は[ワイヤレス通信の問題](#)をご覧ください。
3. タブレット上でペンを使用して画面のポインタを動かし、接続を確認してください。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)もご覧ください。

Intuos5 シリーズはワイヤレス接続または USB 接続のどちらかで操作できますが、同時に両方を使うことはできません。

- ワイヤレス接続は、Intuos5 シリーズがワイヤレス操作用に正しく設定され、USB 接続ケーブルが本体から外されている場合に有効となります。USB 接続ケーブルが本体から外されると、タブレットは自動で検索を開始し数秒以内にワイヤレスレシーバーに接続します。レシーバーが見つからない場合はスリープモードになります。
- USB 接続ケーブルを接続すると、自動的にワイヤレス接続から USB 接続に切り替わり充電が開始されます。

補足： [ペアリング](#)を行う必要はありません。ワイヤレスモジュールとワイヤレスレシーバーは、工場出荷時にペアリングされており、ペアでひとつのセットとして機能します。

Intuos5 シリーズはお使いのコンピュータから約 10 メートルの範囲でワイヤレス操作できます。Intuos5 シリーズをワイヤレスレシーバーの近くに置く必要はありません。ワイヤレスモジュールは無線周波数の技術を使用しています。この無線波は机のような金属以外の物体を通過することができます。

お使いのコンピュータに接続された他のデバイス（オーディオなど）、あるいは電波の通り道やその近くに置かれた金属類は、タブレットの動作不良や通信障害を引き起こす可能性があります。もし、通信がうまくいかない場合は、[ワイヤレス通信を最適化する](#)をご覧ください。

コンピュータを起動した場合にはオペレーティングシステムの起動が完了するまで待ち、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを入れて（最初にスイッチが入っていない場合）ワイヤレス操作を始めてください。

重要： ワイヤレスデバイスの使用は、国によって規制が設けられています。ワイヤレス操作に設定した Intuos5 シリーズを持って旅行する場合には、渡航先の国で製品に適用される制限について、必ず関係規制当局にご確認ください。





⚠ 警告

ワイヤレス信号を使用する製品は、民間飛行機の機器を妨害することがあり、規則により、飛行機内すべてのワイヤレスデバイスの電源を切るよう要求されます。機内に持ち込む場合、Intuos5 シリーズの電源スイッチをオフにするかモジュールを取り外し（ステータスランプは消灯します）、ワイヤレス信号がオフの状態にしてください。特に離発着、飛行時には決して電源スイッチをオンにしないでください。

⚠ 警告

極めて高い信頼性が要求される場所や、ワイヤレスタブレットがその他の電子機器の妨害または誤作動の原因になる恐れのある、施設管理システムやその他の環境では Intuos5 シリーズをワイヤレスで絶対にお使いにならないでください。使用が禁止されている場合には、Intuos5 シリーズの電源スイッチをオフにするかモジュールを取り外し（取り外し前に信号が切っていることを確認）、その他の電子機器を妨害または誤作動の原因にならないようにしてください。弊社は直接的または間接的損害に対する責任を一切負わないものとします。詳細については、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

⚠ 警告

電子機器の使用が禁止されている場所では、タブレットの電源を切ってください。航空機内など電子機器の使用が禁止されている場所では、タブレットが他の電子機器に影響を与える可能性があります。コンピュータから USB 接続ケーブルを抜いて、タブレットのワイヤレスモジュールの電源を切ってください。

ワイヤレス通信を最適化する

ポインタがタブレット上のペンの動きに遅れたり意図しない動きをする場合や、グラフィックソフトで描画している時に極端にまっすぐな線が表示される場合には、ワイヤレス機能が最適な速度でタブレットからのデータを送信できていない可能性があります。これは、その他の電波発生源からの妨害、電波経路にある障害物、またコンピュータから離れすぎているなど複数の理由が考えられます。

以下の対策を行ってワイヤレス通信を向上させ、タブレットの操作性を最適化してください。

- Intuos5 シリーズとコンピュータに取り付けたワイヤレスレシーバーの電波経路上にある金属類を取り除く。
- タブレットをコンピュータに近づける。
- 携帯電話などの 2.4GHz 無線周波数で動作するすべてのデバイスの電源を切るか、コンピュータから遠ざける。



電池および電源管理

このセクションでは、Intuos5 シリーズをワイヤレスで使用した場合の充電式リチウムイオン電池および電源管理の機能に関する重要な情報を記載しています。必ず以下の項目をご覧ください。

[電池の充電](#)

[電池およびワイヤレス通信の状態](#)

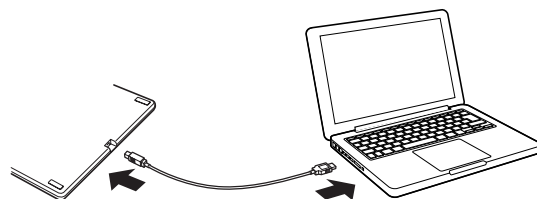
[省電力機能](#)

電池の充電

Intuos5 シリーズをワイヤレス接続でご使用になる前に、充電式リチウムイオン電池をフル充電にしておきます。

Intuos5 シリーズとコンピュータの USB ポートとの間に USB 接続ケーブルを接続します。

- USB 接続ケーブルが接続されている場合、フル充電になるまで自動で充電されます。
- 充電時間は、通常使用の場合は約 4 時間、電池残量 0 の状態からフル充電の場合は約 6 時間かかります。実際の充電時間は、電池の残量および充電中のタブレットの使用状況により変わります。
- 充電中は USB 接続になるため、ワイヤレスでの操作はできません。

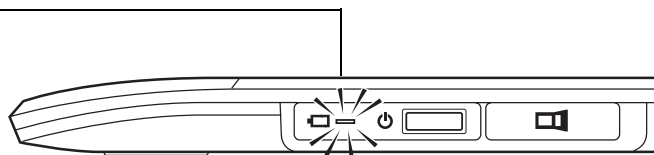


重要： USB ハブではなく必ずコンピュータ本体の USB ポートと接続し充電してください。USB ハブによっては充電するための電流を供給できない場合があります、その場合はタブレット操作に影響を及ぼす場合があります。

USB 接続ケーブルでタブレットとコンピュータを接続していない場合に、USB AC アダプタを使用して充電することができます。ただし、この方法で急速充電を行うことはできません。

充電ステータスランプ

- USB ケーブルが接続され、かつ電池が充電中のときはオレンジ色に点灯します。
- USB ケーブルが接続され、かつ電池がフル充電のときは緑色に点灯します。



⚠ 警告

安全上のご注意については「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

ヒント： 充電するときは、電池およびワイヤレスモジュールの両方がタブレットに取り付けられていることを確認してください。

充電式リチウムイオン電池の充電状態をチェックするには、コントロールパネルを開いて「ファンクション」をクリックし、「ワイヤレス」タブを選択します。

[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。

[省電力機能](#)と[電池寿命について](#)もご覧ください。

電池およびワイヤレス通信の状態

ワイヤレス接続でのタブレットの状態表示は以下の通りです。

- ステータスランプ (タブレット) :

点滅	ワイヤレス通信の確立中。
点灯	ワイヤレス接続が有効。
消灯	スリープモード、またはワイヤレス接続が無効。

- 充電ステータスランプ (ワイヤレスモジュール) :

オレンジ色	USB 接続ケーブルから充電中。
緑色	USB 接続ケーブルから充電完了。(フル充電)
消灯	USB 接続で、サスペンドまたは通信中。 USB 接続ケーブルが外れている。充電が行われていない。 USB 接続ケーブルが外れている。ワイヤレスで動作中。

- システムのタスクトレイ (Windows) またはメニューバー (Mac) に充電ステータスアイコンが表示されます。ポインタをアイコン上に置くと、アイコンの情報が表示されます。



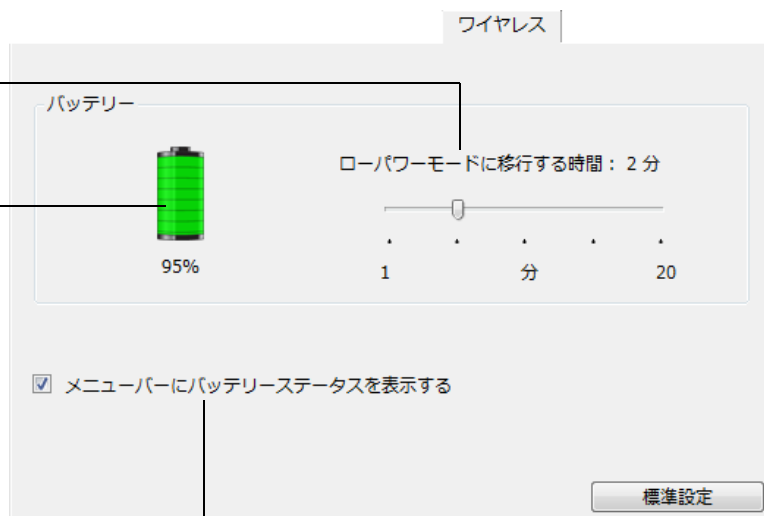
- ワイヤレス操作に設定されているときには、コントロールパネルから電池残量、およびワイヤレス操作のオプション情報を確認することができます。コントロールパネルを開いて「ファンクション」をクリックし、「ワイヤレス」タブを選択します。

スライダーを調節し、節電モードに切り替わる条件を決定します。

充電ステータスアイコンはタブレットが使用中であることと、おおよその充電残量を表示します。

- 電源プラグの表示は、タブレットが USB 接続の外部電源で動作中、および充電中であることを示します。
- チェックマークの表示はフル充電の状態であることを示します。
- アラートマークの表示は電池残量が 20% 未満であることを示します。

お使いのペンタブレットやオペレーティングシステムの状態によって、実際の表示は異なる場合があります。[省電力機能](#)もご覧ください。



充電ステータスアイコンの表示を有効または無効にします。



省電力機能

Intuos5 シリーズには、ワイヤレス操作に設定されているとき、電池の電力を節約しつつ性能を保つよう設計された多くの節電機能が搭載されています。

省電力モード

入力のない状態が 2 分以上続くと、タブレットは省電力モードに入ります。時間の設定はコントロールパネルで変更できます。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。

操作を再開する場合は、お使いの機種により、タブレットに触れる、ファンクションキーを押す、ペンを検出範囲に持ってくるのいずれかを行います。

スリープモード

以下の場合にタブレットはスリープモードになります：

- ワイヤレス通信のない状態が 4 秒以上続いた場合。コンピュータの電源を切るかタブレットを通信範囲の外に移動させる、あるいはワイヤレスレシーバーを取り外した場合です。この状態から操作を再開するには、コンピュータの電源を入れ、タブレットをコンピュータとの通信範囲内に置き、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。[タブレットのテスト](#)をご覧ください。
- 入力のない状態が 30 分以上続いた場合。
- 電池残量が極端に少ない場合。直ちに充電を行います。

操作を再開するときは、タッチホイールの切り替えボタン、またはワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。

お使いの機種に応じて、指またはペンでタブレット操作面に触れ、タブレットに沿って動かすと、タブレットの機能が復帰します。

重要：タブレットを使用しない場合は、ワイヤレスモジュールの電源を切って、充電式リチウムイオン電池の電力を節約してください。電源を切るときは、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。電源を入れたままにすると、次回タブレットを使用する前にタブレットの電池を充電しなければならない場合がありますのでご注意ください。[電池寿命について](#)をご覧ください。





電池寿命について

Intuos5 シリーズをワイヤレスで使用する場合、使用状況とお使いの機種により電池寿命は変わります。フル充電で、PTK-450/650 では約 15 時間、PTH-450/650 では約 8 時間、PTH-850 では約 5 時間の連続使用が可能です。

ワコムでは、予備の電池のご購入をお勧めしております。[オプション品の注文](#)をご覧ください。

- 電池はご使用につれ劣化し蓄電能力が低下します。ご使用状況にかかわらず、充電式リチウムイオン電池の標準寿命は約 2 年です。
- 充電式リチウムイオン電池の寿命と性能は、電池の使用と再充電を繰り返し行っても改善はされません。
- 画面に電池残量が少ないという警告が表示されたときは、速やかに充電を行ってください。[省電力機能](#)もご覧ください。
- 電池電圧が最低安全レベルよりも低下した場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。

電池の残量が少ない状態で、電池が長期間タブレット内にあると、電池から少量の電流が流れ、電池が放電しやすくなります（過放電）。この場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。長期間タブレットを使用しない場合は、タブレットから電池を取り出して保管してください。

過放電された電池は、充電ができなくなります。

- ワイヤレスモジュールのスイッチが入っているときは、タブレットにはいつでも電池から電流が流れています。充電レベルが極度に低下すると、タブレットは電池残量を減らさないために、スリープモードに入ります。この場合は充電を行ってください。

スリープモード中でもタブレットは少量の電力を消費し続けます。数日間タブレットを使用しない場合は、電池を充電してからワイヤレスモジュールの電源を切ってください。

- 長期間（1 カ月以上）保管する場合、電池をある程度充電し（約 40%の充電を推奨）、涼しい場所に保管してください。タブレットと電池の両方を保管する場合電池を取り外す必要はありません。

補足：充電式リチウムイオン電池を使用せず 6 ヶ月間以上経過すると、再充電できなくなることがありますのでご注意ください。

電池が劣化して十分な充電量を維持できなくなるか充電できなくなった場合には、新しい電池を購入する必要があります。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

⚠ 警告

リチウムイオン充電電池を安全にお使いいただくために、必ずワイヤレスキットの「製品に関する重要なお知らせ」または充電式リチウムイオン電池に付属の取扱説明書をお読みください。



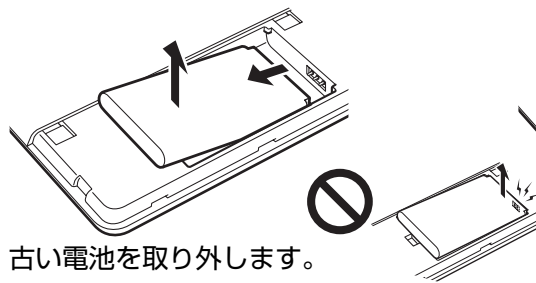
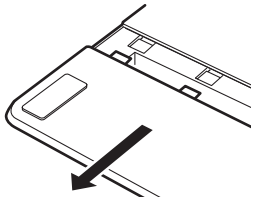
電池を交換する

タブレットの電池が寿命で充電や蓄電ができなくなった場合、電池を交換する必要があります。ワイヤレスキット専用の充電式リチウムイオン電池以外はお使用になれませんのでご注意ください。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

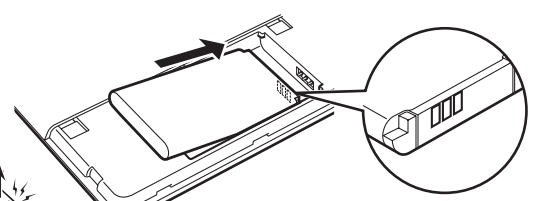
重要：必ずお使いのワイヤレスキット専用の充電式リチウムイオン電池をご使用ください。

電池を交換する：

1. タブレットを裏返し、ワイヤレスキットカバーをスライドさせて取り外します。medium サイズのタブレット (PTH-650、PTK-650) および large サイズのタブレット (PTH-850) をお使いの場合は2箇所のカバーを取り外します。1箇所はワイヤレスモジュール用、もう1箇所は充電式リチウムイオン電池用です。small サイズのタブレット (PTH-450、PTK-450) ではワイヤレスキットカバーは2つに分かれています。
2. 下の図を参考に、使用済み電池（古い電池）を取り外します。
3. 新しい充電式リチウムイオン電池をセットします。下の図を参考に、タブレット側と電池側の端子部を合わせ、電池収納部にゆっくりと押し込みます。
4. ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。位置を揃えて所定の位置にスライドさせます。
5. USB 接続ケーブルを接続し、電池を充電します。[電池の充電](#)をご覧ください。



古い電池を取り外します。
電池を取り出す場合、電池の端を持ち上げてからスライドさせてください。



新しい電池をセットします。
電池の端子部を損傷しないように、図のような角度で電池をゆっくりと挿入してください。

重要：電池を交換するときに、硬い物の上などに電池を落とさないようにご注意ください。電池内部が破損するおそれがあります。また落とした電池は、破損したように見えない場合でも新しい電池と交換してください。万一タブレット内部でショートや液漏れが発生した場合、タブレットが故障する恐れがあります。

警告

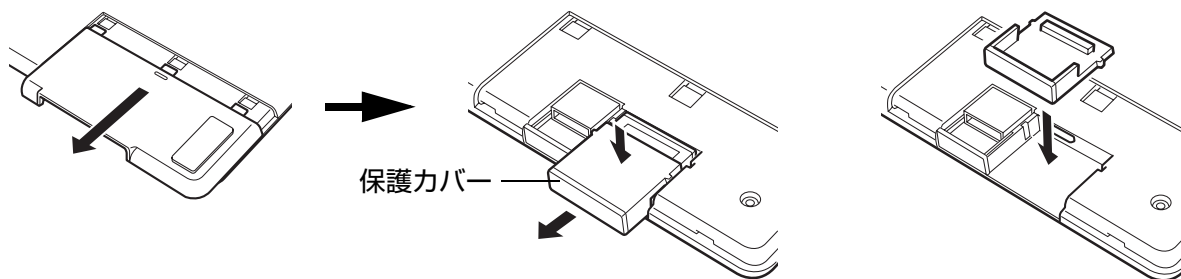
安全上のご注意については、ワイヤレスキットの「製品に関する重要なお知らせ」または充電式リチウムイオン電池に付属の取扱説明書をご覧ください。

多くの地域で自主的または強制的リサイクルプログラムを実施しています。ご使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って、さらに「製品に関する重要なお知らせ」に記載されているリチウムイオン電池に関する安全上のご注意をお読みの上、適切にリサイクルしてください。電池はお子様の手の届かない所に保管してください。使用済みの電池は直ちにリサイクルしてください。

ワイヤレスモジュールを取り外す

ワイヤレスモジュールを取り外す場合は：

1. タブレットを裏返し、ワイヤレスキットカバーをスライドさせて取り外します。medium サイズのタブレット (PTH-650、PTK-650) および large サイズのタブレット (PTH-850) をお使いの場合は2箇所のカバーを取り外します。1箇所はワイヤレスモジュール用、もう1箇所は充電式リチウムイオン電池用です。small サイズのタブレット (PTH-450、PTK-450) ではワイヤレスキットカバーは2つに分かれています。
2. お手持ちの金属製ではない工具を使ってワイヤレスモジュールを浮かせて取り外します。ワイヤレスキットに付属する保護カバーを使用することもできます。保護カバーをワイヤレスモジュールの溝に合うようにかぶせ、保護カバーをフックのように引っ掛けてワイヤレスモジュールを浮かせてスライドさせ、タブレットから取り外します。
3. 保護カバーをワイヤレスモジュール収納部に押し込みます。



4. ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。位置を揃えて所定の位置にスライドさせます。
5. 取り外したワイヤレスモジュールはワイヤレスレシーバーとペアで大切に保管してください。

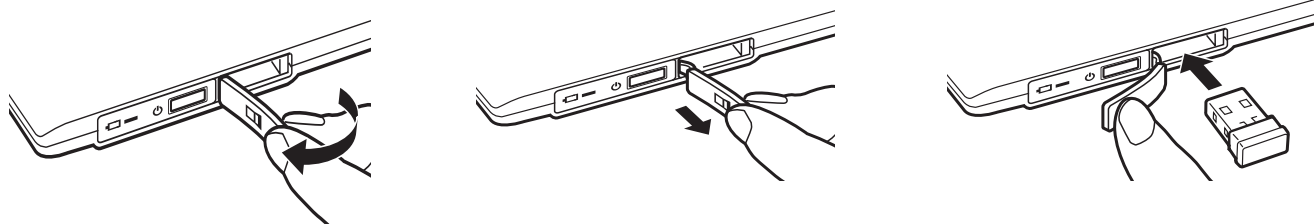


ワイヤレスレシーバーの保管

ワイヤレスレシーバーは、持ち運びのしやすさを考えて設計されています。お使いのコンピュータの USB ポートに取り付けられれば、取り付けたままいつでも使用することができます。旅行先に Intuos5 シリーズを携帯する場合も同じです。

移動時などにはワイヤレスレシーバーを取り外し、タブレット本体に収納することもできます。収納のしかたは以下の通りです：

1. お手持ちの金属製でない工具や指先を使用して、ワイヤレスレシーバー収納部を開きます。
2. 収納部のフタを開き、内部の収納部カバーを少し引き出します。
3. レシーバーを収納部カバー内に挿入します。
4. 収納部カバーをスライドさせて元の位置に戻し、フタを閉じます。



タブレットからワイヤレスレシーバーを取り出すには、収納部を開きます。内部の収納部カバーを少し引き出し、レシーバーを取り出します。取り出したら収納部カバーを押し込んで元の位置に戻し、フタを閉じます。





ワイヤレス通信のテスト

タブレットのステータスランプは、タブレットが正常に接続されお使いのコンピュータがタブレットを USB デバイスの 1 つとして認識している場合に、常に点灯します。ワイヤレス接続で問題が発生した場合は、以下のチェックを行ってください。

1. 最初に、一般的な[トラブルシューティング](#)で問題を確認します。
2. ワイヤレスモジュールのスイッチがオンになっていることを確認します。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)を確認します。
3. ワイヤレスモジュールおよびワイヤレスレシーバーが正しく取り付けられていることを確認します。[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。
4. [電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、電池残量を確認します。電池残量が少ない場合は、USB 接続ケーブルを接続し充電を行います。[電池の充電](#)をご覧ください。
5. ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし再度オンにします。
6. タブレットをお使いのコンピュータに近づけます。タブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。
7. コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスはタブレットについての現在の状態を表示します。「ワイヤレスモード」の入力内容をチェックし、ワイヤレスのステータスが「オン」になっていることを確認します。作業終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

これらのテストに不合格の場合はハードウェアの故障が考えられます。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。





トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順を調べてください。
2. [トラブルシューティング情報](#)をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってみてください。
3. タブレットの「Read Me」ファイルを開いて、最新情報をお読みください。
4. ワコムのホームページのFAQ（よくある質問）を参照してください。
<http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/>
5. Intuos5 シリーズと新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、新しいタブレットドライバが利用できるかチェックしてください。更新したタブレットドライバのダウンロードに関する情報については、[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。ワコムは新製品との互換性を維持するために、ドライバソフトウェアを定期的に更新しています。
6. タブレットと入力デバイスを診断します。[タブレットのテスト](#)と[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。
7. このマニュアルの解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。サポートに関する情報については、[テクニカルサポート](#)および「Read Me」ファイルをご覧ください。

[タブレットのテスト](#)

[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)

[トラブルシューティング情報](#)

[テクニカルサポート](#)

[ドライバのダウンロード](#)





タブレットのテスト

1. コンピュータの電源を入れて、システムが完全に読み込まれるまで待ちます。
2. USB 接続をチェックします。タブレットが正しく接続され、USB デバイスとして認識されると、タブレットのステータスランプが点灯します。そうならない場合は、以下を参照してください。
 - タブレットの USB 接続ケーブルが、コンピュータの利用可能な USB ポートにしっかり接続されていることを確認します。
 - タブレットの USB 接続ケーブルに損傷がないかチェックします。
 - 別の USB ポートにタブレットを接続するか、または別のコンピュータの USB ポートに接続してみてください。
3. [ワイヤレス操作](#)については、タブレットの通信をチェックします。タブレットが適切に接続されていて、USB デバイスとして認識されると、タブレットのステータスランプが点灯します。点灯しない場合には以下のことを行ってください：
 - ワイヤレスモジュールのスイッチが入っているかを確認します。[電池およびワイヤレス通信の状態](#)をご覧ください。
 - ワイヤレスモジュールおよびワイヤレスレシーバーが正しく取り付けられているかを確認します。[ワイヤレスキットの取り付け](#)をご覧ください。
 - [電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、電池残量を確認します。電池残量が少ない場合は、USB 接続ケーブルを接続し充電を行います。[電池の充電](#)をご覧ください。
 - ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし、再度オンにします。
 - タブレットをお使いのコンピュータに近づけます。タブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。





4. ペンをチェックします。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、ペンは正常に動作しません（ポインタの移動とクリック以外の動作ができません）。タブレットドライバの再インストールを行ってください。

- タブレットの操作エリアの上でペンを移動してみてください。画面上のポインタが、ディスプレイ画面で対応する方向へ移動すれば正常です。
- タブレットにペン先を押しあてます。ステータスランプが明るく点灯すれば正常です。
- 次に、ペン先に筆圧をかけずに、タブレットの面からおおよそ 10mm 以内のところで保留にしたまま、サイドスイッチを押します。ステータスランプが、再度明るく点灯すれば正常です。
- ペンを回転させ、テールスイッチ（消しゴム）をタブレットに押しあてます。ステータスランプが明るく点灯すれば正常です。

[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)および[ペンのテスト](#)をご覧ください。

5. タッチをチェックします。

タブレット面で指を動かして、画面のポインタが動くことを確認します。次にタップして項目を選択します。タブレットの操作エリアにタッチして、ステータスランプが明るくなることを確認します。[タッチのテスト](#)もご覧ください。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、基本的なタッチの動作のみ認識され、他の動作やジェスチャーは認識されません。ジェスチャーが認識されない場合は、タブレットドライバをインストールしてください。

6. ファンクションキーをチェックします。[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)および[ファンクションキーのテスト](#)をご覧ください。
7. タッチホイールをチェックします。[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)および[タッチホイールのテスト](#)をご覧ください。
8. マウスなど、他の入力デバイスをチェックしてください。[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。

これらのテストのいずれかに不合格の場合、ハードウェアの故障が考えられます。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

テスト前にタブレットや入力デバイスをカスタム設定で使っていた場合は、テストが終わったらコントロールパネルを使って設定を元に戻してください。

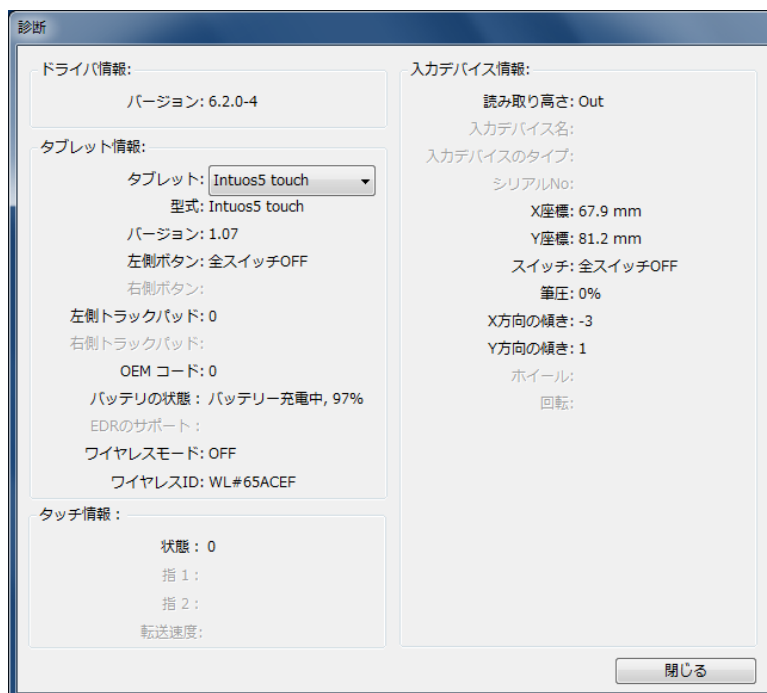


タブレットおよび入力デバイスのテスト

入力デバイスやタブレットの機能が思うように動作しない場合、初めに割り当てた機能をチェックするか、あるいは標準設定の状態に戻してみてください。タッチ入力可能な機種でタッチ関連の問題が発生した場合も、上記の方法をお試しください。

入力デバイスを標準設定の状態に戻す最も速い方法は、コントロールパネルの「入力デバイス」リストからその入力デバイスを削除することです。削除したい入力デバイスのアイコンを選択し、「入力デバイス」リストの「-」ボタンをクリックします。リストからアイコンが削除された後、入力デバイスを再びタブレットの操作面に置きます。入力デバイスは標準設定の状態ですべてリストに再び追加されます。

- コントロールパネルを開いて、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスにはタブレット、入力デバイス、そしてタッチ入力可能なタブレットの現在の状態が提示されます。



- 複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で現在テスト中のタブレットを選択してください。
- タブレットと入力デバイスをテストする際には、「診断」ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。

補足：デバイスボタンが「ラジアルメニュー」または「開く／起動…」に設定されている場合、デバイスボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にデバイスボタンの機能を変更してください。

[ファンクションキーのテスト](#)

[タッチホイールのテスト](#)

[ペンのテスト](#)

[タッチのテスト](#)

[マウスのテスト](#)

ファンクションキーのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、各ファンクションキーをテストして「タブレット情報」欄を観察してください。「タブレット情報」欄で、必ず現在テストしているタブレットを選択してください。
2. ファンクションキーを1つずつ押してテストします。キーを押すと「左側ボタン」カテゴリーのとなり番号が表示されます。
3. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

重要：ソフトウェアによってはファンクションキーの機能が無効になったり、制限される場合があります。ファンクションキーのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。詳細については[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

タッチホイールのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスを開いたままタッチホイールのテストをして、「タブレット情報」欄を観察してください。「タブレット情報」欄で、必ず現在テストしているタブレットを選択してください。
2. タッチホイールの周りを一周するように指を滑らせます。タッチホイールに触れて、指先を滑らせるように動かすと、現在の指の位置が「左側トラックパッド」または「右側トラックパッド」に数値で示されます。
3. タッチホイールの切り替えボタンを押して、カスタマイズ可能な4つの機能を切り替えます。設定を切り替えるたびに、対応するステータスランプが点灯します。「診断」ダイアログボックス内にも、ボタンの機能が「左側ボタン」に表示されます。

補足：タッチホイール機能に「スキップ」が設定された場合、対応するステータスランプは点灯しません。

4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイールの設定が無効になったり、制限される場合があります。タッチホイールのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

ペンのテスト



1. 「診断」ダイアログボックスを開いて「入力デバイス情報」欄を見ながら、入力デバイスを、タブレットの操作エリアから 10mm を超えないように浮かせます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル No」の値が表示されます。複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で、入力デバイスをテストするタブレットが選択されていることを確認してください。
 2. タブレットの操作エリアでペンを移動させると、「X 座標」と「Y 座標」のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
 3. ペンのデバイスボタンをテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ（消しゴム）をタブレットの上で押すと、タブレットのステータスランプが明るく点灯します。
 - タブレットエリアをペン先でクリックします。「入力デバイス情報」の「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% からおよそ 100% まで変化します。
 - 次に、タブレットにペン先を押し当てずにサイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。この操作はペンの両方のサイドスイッチに対して行います。

ペン	ペン先 = 1
「スイッチ」の状態	サイドスイッチ（下側） = 2
	サイドスイッチ（上側） = 3
	テールスイッチ（消しゴム） = 1
<hr/>	
エアブラシ	ペン先 = 1
「スイッチ」の状態	サイドスイッチ = 2
	テールスイッチ（消しゴム） = 1
 - タブレットにペンのテールスイッチ（消しゴム）を押し当てます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変わります。「筆圧」は 0% から 100% まで変わります。
 - オプション品のエアブラシの場合は、ホイールを奥に回します。ホイールを完全に奥まで回すと、「ホイール」はおよそ 0 まで減少します。ホイールを手前に回します。完全に手前まで回すと、「ホイール」はおよそ 1000 まで増加します。
4. X 軸方向の傾きをテストします。「X 方向の傾き」は、ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、およそ 0 から + 60 まで変わります。ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、「X 方向の傾き」は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
 5. Y 軸方向の傾きをテストします。「Y 方向の傾き」は、ペンを垂直位置からタブレットの手前に傾けると、およそ 0 から + 60 まで変わります。ペンを垂直位置からタブレットの向こう側へ傾けると、「Y 方向の傾き」は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
 6. オプション品のアートペンの場合、ペン先をタブレット操作面に置き、軸を中心にして緩やかにペンを回転させ回転機能をテストします。ペンを回転させると「回転」の値が変化します。
 7. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。



トラブルシューティング情報

タブレットまたは入力デバイスで問題が生じた場合、次の表をご覧ください。問題が説明され、解決策が提示されていれば、その方法をお試しください。また、「Read Me」ファイルを確認してください。最新の情報が記載されています。

問題のより詳細な情報については、ワコムのホームページ (<http://wacom.jp/jp/customer-care/>) をご覧ください。

[一般の問題](#)

[ペンの問題](#)

[タッチの問題](#)

[ワイヤレス通信の問題](#)

[Windows の問題](#)

[Mac の問題](#)

一般の問題

<p>タブレットのステータスランプが点灯しない。</p>	<p>タブレットの USB 接続ケーブルが、タブレットと利用可能な USB ポートに正しく接続されていることを確認します。</p> <p>別の USB ポート、または USB 接続ケーブルと接続してみてください。</p> <p>ワイヤレス接続でお使いの場合は、ワイヤレス通信の問題をご覧ください。</p>
<p>コンピュータが節電モードにならない。</p>	<p>Intuos5 シリーズの入力デバイスを使用しない場合、タブレット面上に置かないでください。置いたままにすると、タブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。</p> <p>補足：金属その他の導電性の物体の中には、タブレットがデータを送る原因となるものがあるため、使わないときはタブレット面に何も置かないのが一番です。</p>
<p>タブレット使用中に、画面のポインタが揺れたり、「ジャンプ」をする。</p>	<p>まれに、タブレットはコンピュータ画面あるいは AM ラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。ディスプレイからの電磁波による影響に気付いた場合、タブレットをディスプレイから 30cm 以上離してみてください。あるいは、ディスプレイのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。</p>
<p>タブレットは「ファンクションキーを右側」（または「ファンクションキーを左側」）用に設定されているが、ログオン画面ではタブレットが上下逆に動作する。</p>	<p>タブレットドライバをインストールし直し、タブレットの標準設定の向きを変更します。タブレットの向きを設定する をご覧ください。</p>
<p>ソフトウェアによって、ファンクションキーやタッチホイールが、コントロールパネルの設定と異なる動作をする。</p>	<p>ソフトウェアによっては、ファンクションキーやタッチホイールの設定が無効になったり、制限されることがあります。</p> <p>タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う をご覧ください。</p> <p>特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、使用しているソフトウェアに対する設定を更新したかどうか確認して下さい。</p>



ペンの問題



ペンで画面のポインタの移動ができない、または正しく動かない。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない可能性があります。タブレットドライバが読み込まれていないときの動作としては以下のようになります。

- ポインタの移動以外のペン入力できません。
- ペン入力とタッチ入力の両方に対応した機種の場合、基本的なタッチ以外の操作やジェスチャーは認識されません。

このような場合は、[タブレットドライバのアンインストール](#)を行い、コンピュータを再起動後、[タブレットドライバを再度インストール](#)してください。

ペンで筆圧感度を使った線を引く、塗るなどの動作ができない。

ご使用のソフトウェアが筆圧機能に対応しているかどうかを、ソフトウェアの取扱説明書や発売元にご確認ください。ソフトウェアによっては、筆圧機能を利用可能にするための設定が必要な場合があります。また、お使いのソフトウェアが筆圧に対応していることを確認してください。

クリックが利かない。

「ペン先の感触」を柔らかく設定してください（[ペン先の感触とダブルクリックを調整する](#)をご覧ください）。

ペン先でダブルクリックが利かない。

タブレットの操作エリアの同じ場所を 2 回、速くたたいていることを確認してください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることを推奨しています。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。次に「ダブルクリック距離」を大きくするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定します。

ファンクションキーの 1 つを「ダブルクリック」に設定して、ダブルクリックを実行します。

Windows の場合：1 回のクリックでプログラムが起動するように設定します。[クリック](#)をご覧ください。

ペンがあらゆるものを選択する。選択が解除できない。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方に動かします。あるいは、「カスタマイズ…」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。また、芯の抜き差しも行なって下さい。

以上で効果がない場合は、[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。または[テクニカルサポート](#)へご連絡ください。

ペン先（芯）がすり減っている可能性があります。[芯を交換する](#)をご覧ください。

消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。

コントロールパネルを開いて、「テールスイッチ」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させます。あるいは、「カスタマイズ…」を選択して「クリック圧」の設定を大きくします。以上で効果がない場合は、[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。





ペンまたはインクのストロークの開始が遅れる。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください。動作しない場合、「ダブルクリック距離」のスライダを「OFF」へ動かして「ダブルクリックアシスト」をオフにします。

Ink 機能をオフにしてください。

クリック、描画、あるいは文字を書くときに、ペンを強く押さなければならない。

コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。また、「カスタマイズ…」を選択して、「筆圧感度」と「クリック圧」の設定を減少させます。

ペン先が利かない。

互換性のあるワコム製のペン（付属品など）、または Intuos5 シリーズに対応しているオプション品のペンを使用していることを確認してください。他のペンは、本機で正しく動作しません。

- コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。
- ペン先を押したとき、ステータスランプが明るく点灯することを確認してください。明るくならない場合、タブレット本体に問題がある可能性があります（[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください）。

ペンやその他の入力デバイスに対して機能の設定を変更しても反映されていない。

使用中の入力デバイスとソフトウェアに対して、設定変更を行ったかを確認してください。[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定と複数の入力デバイスでの作業](#)をご覧ください。

サイドスイッチが利かない。

互換性のあるワコム製のペン（付属品など）、または Intuos5 シリーズに対応しているオプション品のペンを使用していることを確認してください。他のペンは、本機で正しく機能しない場合があります。

タブレットの操作エリアから 10 mm 以内にペン先があるときに、サイドスイッチを押してください。ペン先でタブレットを押さずにこれを行ってください。

コントロールパネルで、サイドスイッチが、使用中のソフトウェアと入力デバイスで実行する機能に設定されていることを確認してください。

「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先をタブレット表面にタッチする必要があります（[オプション設定](#)をご覧ください）。

サイドスイッチを押すと、タブレットのステータスランプが明るく点灯することを確認してください。点灯しない場合、タブレット本体に問題がある可能性があります（[タブレットのテスト](#)をご覧ください）。

画面のポインタが「ジャンプ」して引き戻される。

使用していないときや、他のポインティングデバイスを使用しているときには、タブレットの上に入力デバイスを置かないでください。入力デバイスをタブレットの上に置いたままですと、ほかの入力デバイスを使ったときに、画面のポインタの移動ができなくなる場合があります。





ポインタが画面上の思う位置に移動しない。またはペイントソフトで、描いた線とポインタの位置が合わない。

コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを指定します。「ペンモード」が選択され、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して「表示エリア」が「最大」に設定されていることを確認してください。効果がない場合は、「標準設定」ボタンをクリックしてください。それでも効果がない場合は、タブレットの設定ファイルを削除してください（詳しくは [Windows の問題](#) または [Mac の問題](#) をご覧ください）。

ペンが機能するかどうかを確認します。[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#) をご覧ください。

ペンでタッチホイールを操作できない。

タッチホイールは指で操作するように設計されており、ペンで操作することはできません。

マルチディスプレイ環境で、一つのディスプレイでしかペンが機能しない。

[「マッピング画面切り替え」](#) を割り当てたファンクションキーまたはサイドスイッチを押して、Intuos5 シリーズのペンで操作するディスプレイを切り替えてください。

「マッピング」タブの「表示エリア」が「最大」に設定されていることを確認してください。

マウスモードでペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、初めにサイドスイッチを「ペン⇄マウスモード…」に設定します。次に、スイッチを使ってペンモードとマウスモードを切り替えます。



タッチの問題



タッチができない。

「タッチ機能 on/off 切り替え」に設定されているファンクションキーを押してタッチを有効にします。

あるいは、コントロールパネルを開いて「タッチ」アイコンをクリックしてから「ジェスチャーの標準設定」、「ジェスチャーの個人設定」、または「タッチオプション」タブを選択します。「タッチ入力を有効にする」オプションが選択されていることを確認してください。

タッチが一部しか機能しない。画面のポインタは動かせるが、もっと複雑な動作やジェスチャーは機能しない。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合には、基本的なタッチ操作のみ認識されます。その他のタッチ操作やジェスチャーは認識されません。このような場合は、タブレットドライバの再インストールを行ってください。

複数の指でタッチした場合に、正しく認識されない。

指同士が近づきすぎている場合、タブレットは別々の指として認識していない可能性があります。指同士をもう少し離して動かしてください。

Adobe Photoshop 使用中に、ズームイン、ズームアウトができない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。

Adobe Photoshop で作業するときに、ジェスチャーのスクロールとパンが正しく動作しない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。

ソフトウェアによってジェスチャーの回転の動作が変わる。あるいは全く機能しない。

回転機能は、お使いのソフトウェアによって動き方が異なります。90度単位で滑らかに回転する場合もあれば、全く回転しない場合もあります。これは各ソフトウェアの仕様であり、タブレットの故障によるものではありません。

このジェスチャーをタブレットに正しく認識させるために、2本の指を斜めに25 mm 以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその間隔を維持してください。



ワイヤレス通信の問題

コンピュータに使用可能な USB ポートがない。

現在使用していない周辺機器があれば、USB ポートから取り外してください。付属の USB 接続ケーブルで、タブレットをコンピュータ本体の USB ポートに接続します。

ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押すと、タブレットのステータスランプが約 4 秒間点灯した後に電源が切れる。

ワイヤレス通信が確立していない場合、約 4 秒後にワイヤレスモジュールの電源が切れます。

- ワイヤレスレシーバーがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているかを確認してください。
- タブレットをお使いのコンピュータに近づけ、タブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。

再度電源ボタンを押して、ワイヤレス接続を有効にします。

ワイヤレスモジュールの電源を入れると、ステータスランプは正常に機能していることを示すが、画面のポインタが動かない。

お使いのタブレットがタッチ機能に対応している場合は、タッチ機能がオフになっていないことを確認してください。[タッチ入力を無効にする](#)を再度ご覧ください。

タブレットの使い方が誤っていないか確認してください。[ペンを使う](#)を再度ご覧ください。

ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし、再度オンにします。

電池残量が少ない場合は[電池の充電](#)を行ってください。

ワイヤレス通信は確立しているがタブレットが正しく動作しない。

タブレットドライバが正しくインストールされているか確認してください。

また、[ワイヤレス通信を最適化する](#)をご覧ください。

USB 接続ケーブルを外すとタブレットが動作しなくなる。

ワイヤレスモジュールとレシーバーが正しく取り付けられ、ワイヤレスモジュールの電源が入っていることを確認してください。

[電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、電池残量を確認してください。

- タブレットのワイヤレスキットカバーを開き、充電式リチウムイオン電池およびワイヤレスモジュールが正しく取り付けられているか確認してください。
- 電池に液漏れや破損がないか確認してください。
- 電池を一晩充電してから再度試してください。問題が解消されなければ、電池の寿命、または破損の可能性がありますので、新しい電池と交換してください。電池の購入については、[オプション品の注文](#)をご覧ください。
- ワイヤレスレシーバーとワイヤレスモジュールが購入時の組み合わせと異なる場合は、タブレットは動作しません。購入時の組み合わせに戻してください。





ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押しても、タブレットのステータスランプが点灯しない。

再度電源ボタンを押し、以下を確認してください。

1. ワイヤレスレシーバーがコンピュータ本体の有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。USB ハブに接続されている場合は、コンピュータ本体の USB ポートに接続してください。
2. ワイヤレスモジュールがタブレットに正しく接続されているか確認し、電源ボタンを押してワイヤレス通信を確立してください。
3. 以上を行ってもステータスランプが点灯しない場合は、タブレットとコンピュータを USB 接続ケーブルを接続してください。

ワイヤレスモジュールの充電ステータスランプを確認します。オレンジ色の場合は、電池が充電中です。緑色の場合は、電池がフル充電状態です。点灯しない場合は、電池の寿命、または破損の可能性があるので、新しい電池と交換してください。

4. タブレットとワイヤレスモジュールのステータスランプが両方とも点灯しない場合には、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

一部のソフトウェアでポインタまたはペンストロークが遅れたり、ポインタが飛び回ったりする。

[ワイヤレス通信を最適化する](#)をご覧ください。

コンピュータがスリープモードになると常に充電が停止するように見える。

コンピュータがスリープモードになると充電はされません。充電中にスリープモードに入らないように、お使いのシステムの省電力機能を設定する必要があります。





Windows の問題

タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用して、再設定を行います。開いているソフトウェアをすべて閉じ、Windows の「スタート」ボタンをクリックし「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ」をクリックし、画面の指示に従って設定します。
- 次にタブレット設定ファイルユーティリティを使用して、以下の手順でタブレットの設定を削除します：

シングルユーザの場合：「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックし、現在のユーザ設定を削除します。

マルチユーザの場合：「すべてのユーザーの設定ファイル」の「削除」ボタンをクリックし、マルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。

以前の設定ファイルのバックアップがある場合は、「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元」ボタンをクリックするとタブレットの設定を素早く復元できます。





Mac の問題

コンピュータを起動すると、ドライバの読み込みに失敗したか、あるいはタブレットの設定ファイルがまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。

起動時にタブレットが検出されませんでした。

ワイヤレス通信を行っている場合：

- [電池およびワイヤレス通信の状態](#)を参考に、ワイヤレス通信が正常に行われていることを確認してください。
- 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択して、「システムプロファイラ」もしくは「システム情報」を立ち上げます。「内容」の中の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB タブレットの機種がリストされています。タブレットの機種がリストにない場合、ワイヤレス接続を確認してください。

付属の USB 接続ケーブルで接続されている場合：

- USB 接続ケーブルがコンピュータ本体の有効な USB ポートにしっかり接続され、タブレットのステータスランプが点灯していることを確認してください。
- 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択し「システムプロファイラ」もしくは「システム情報」を立ち上げます。「内容」の中の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB タブレットの機種がリストされています。タブレットの機種がリストにない場合、USB タブレットのケーブル接続を確認するかタブレットを別の USB ポートに接続してみてください。

これで解決しない場合は、タブレットドライバを再インストールしてください。

それでも解決しない場合は、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。





タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

ワコムタブレットユーティリティを使用して、お使いの環境設定を調べます。開いているソフトウェアをすべて閉じ、メインメニューの「アプリケーション」を開きます。続いて「ワコムタブレット」を開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。ワコムタブレットユーティリティでは、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」を選択します。次に、「バックアップ」をクリックし、設定指示に従います。
- 次に、下記のとおり、タブレット設定を削除します。
 - シングルユーザの場合 ユーティリティが起動したら、「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。ログアウトして、ログオンします。タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態ですべての設定ファイルが作成されます。
 - 複数ユーザの場合 ユーティリティが起動したら、「すべてのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。ログアウトして、ログオンします。タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態ですべての設定ファイルが作成されます。

補足：ユーティリティの中の「復元...」をクリックして、バックアップ済みの「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」の設定ファイルを素早く復元することができます。

補足：「WacomTablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「PreferencePanels」フォルダから手動で削除しないでください。このファイルを削除するのは、タブレットドライバをアンインストールする場合と、ワコムタブレットユーティリティを使用する場合だけです。





テクニカルサポート

タブレットに問題がある場合、初めにタブレットのクイックスタートガイドを読んで、正しくインストールされていることを確認してください。次に、このユーザーズガイドの中の[トラブルシューティング](#)をご覧ください。問題の内容が記述され、解決法が示されています。

このユーザーズガイドで解決法が見つからない場合、「Read Me」ファイル（タブレットドライバ CD-ROM にあります）に、問題に関する最新情報が記載されていることがあります。ワコムのホームページの製品 FAQ（よくある質問）もチェックしてください。

<http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/>

インターネットが接続できる場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードすることができます。[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

ワコムのホームページにアクセスして、「ユーザサポート」のコンテンツをチェックしてください。お電話をかける前に、問題の解決法が見つかるかもしれません。

問題が解決せず、タブレットが適切に動作していないと思われる場合、ワコムのサポートセンターに連絡してください。連絡先については、タブレットに付属のタブレットドライバ CD-ROM に収録されている「Read Me」ファイルをご覧ください。

電話によるサポートを受ける場合、次の情報を用意してください。

- 本書
- タブレットのシリアル番号とモデル名（タブレットの裏面をご覧ください）
- ドライバのバージョン（タブレットドライバ CD-ROM をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」ボタンをクリックしてください）
- コンピュータの製造元と型式、および OS のバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したときに使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したときに起こったことにどう対処したか
- どのように問題を解決しようとしたか

FAX にて修理をご依頼になる場合は、[お問い合わせ／修理依頼票](#)をコピーし、必要事項をご記入の上、お問い合わせ／修理依頼票に記載の FAX 番号までお送りください。





ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用できる場合）は、ワコムのホームページからダウンロードすることができます。

ダウンロードページ：<http://tablet.wacom.co.jp/download/>

重要：インターネットからダウンロードしたタブレットドライバでバージョンアップする場合、インストール前に古いドライバをアンインストールすると、電子マニュアルがシステムから削除されます。また、すべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります（標準設定で「タブレットの向き」をカスタマイズしていた場合も、右利き用が変わります）。

バージョンアップをするときは、古いドライバに新しいドライバを上書き（更新インストール）することをおすすめします。

また、旧製品のドライバがインストールされている場合は、そのタブレットドライバを削除した後コンピュータを再起動し、新しいドライバをインストールしてください。





付録

このセクションは、Intuos5 シリーズのお手入れに関するヒント、タブレットドライバをアンインストールする方法、デジタルインクなどに関する情報を記載しています。

[Intuos5 シリーズのお手入れ](#)

[芯を交換する](#)

[タブレットドライバのアンインストール](#)

[エクस्प्रेसビューを使う](#)

[設定ファイルの管理](#)

[複数タブレットの設置](#)

[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)

[上級者向けの設定を組み込む](#)

[エアブラシとアートペンを使う](#)

[マウスの使用](#)

[Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能](#)

[製品情報](#)

[オプション品の注文](#)

Intuos5 シリーズのお手入れ

入力デバイスとタブレットは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは入力デバイスに付いて、タブレットの表面を傷付けてすり減らす原因となります。水、または薄い石鹼水で湿らせた柔らかい布で定期的に拭くと、タブレットと入力デバイスを長期間ご利用いただけます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、プラスチックケースを傷めますので使用しないでください。

タブレットは清潔な涼しい場所に、極端な温度変化を避けて保管してください（室温が最適です）。タブレットおよび入力デバイスは分解しないでください。ペンを強くねじると、ペンが壊れる可能性があります。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要：タブレットや入力デバイスに液体をこぼさないように注意してください。特にタブレットや、ペン先とテールスイッチ（消しゴム）を含むデバイスボタンを濡らさないよう注意してください。液体が入ると故障するデリケートな電子部品を内蔵しています。

タブレットに傷をつけないよう、ペン先（芯）は適宜交換してください。芯が磨耗したり尖っていると、タブレットの表面を傷つけることがあります。[芯を交換する](#)をご覧ください。

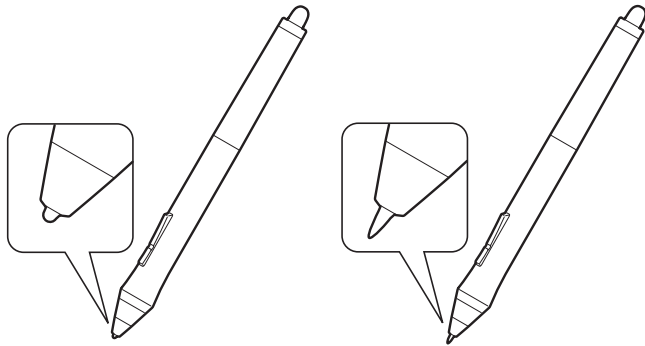


芯を交換する



タブレットを保護し、最適な操作性を保つために、定期的にペン先（芯）を交換してください。

重要：芯の外観が下図のようになる前に、新しい芯と交換してください。

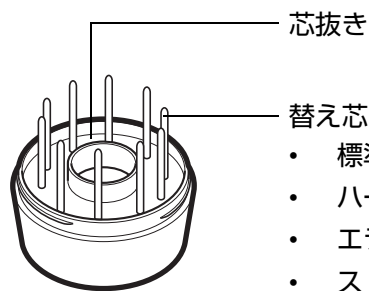
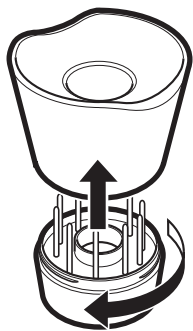


芯（ペン先）は、通常の使用で磨耗します。

筆圧をかけすぎると磨耗が早まります。

ペン先が短くなったり、平らになった場合には、芯を交換してください。

1. ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出します。



芯抜き

替え芯

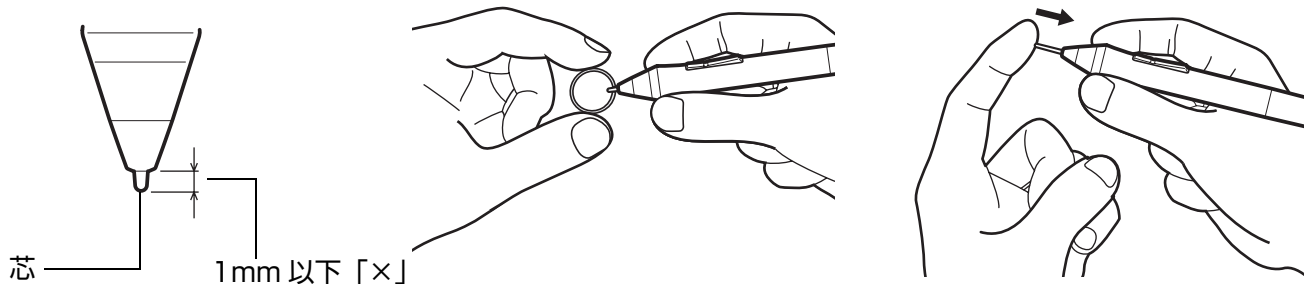
- 標準芯 5 本（黒色）
- ハードフェルト芯 3 本（グレー）
- エラストマー芯 1 本（中心が白色、外縁が黒色）
- ストローク芯 1 本（白色、バネ付き）

2. 芯抜き、ピンセット、毛抜き、ラジオペンチなどをお使いください。ペンから真っ直ぐ引き抜きます。





3. 新しい芯の先を、ペンの軸に真っ直ぐに差し込みます。芯が止まるまでしっかり差し込んでください。



補足：ストローク芯にはバネが組み込まれているため、独特の手応えが加わります。ストローク芯は、標準の芯と同じ方法で取り付けることができます。

⚠ 警告

小さなお子様がペンや芯などを口の中に入れてはいけないようにご注意ください。芯やサイドスイッチなどが抜けて飲み込んだり、またペンが故障する恐れがあります。

交換部品については、クイックスタートガイドをご覧ください。

重要： ペンを使用していない間は、ペンスタンドに置くか机の上に寝かせてください（オプション品のエアブラシは、机の上に寝かせて下さい）。
ペン先がテールスイッチに接触するような入れ物に入れて、保管しないでください。ペン先やテールスイッチを押した状態でペンを収納すると、ペンが故障する場合があります。

タブレットドライバのアンインストール

タブレットドライバをシステムからアンインストールする場合は、以下の方法で行ってください。

- 重要：**
- ・ タブレットドライバをアンインストールすると、ペンタブレットのタブレット機能は動作しなくなりますが、タッチ入力でお使いの場合はマウスとして機能します。
 - ・ インターネットからダウンロードしたタブレットドライバでバージョンアップする場合、インストール前に古いドライバをアンインストールしないでください。詳しくは[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

Windows 7 および Vista： 「スタート」 ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を開きます。「コントロールパネル」ウィンドウで、「プログラムと機能」をクリックします。ダイアログボックスから「ワコムタブレット」を選択します。「アンインストール」をクリックして、画面の指示に従ってタブレットドライバを削除します。画面の指示があれば、ユーザ名とパスワードを入力します。タブレットドライバをアンインストール後に、必ずコンピュータを再起動してください。

Windows XP： Windows の「スタート」 ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を開きます。「コントロールパネル」ウィンドウで「プログラムの追加と削除」をクリックします。「プログラムの追加と削除」ウィンドウで「ワコムタブレット」を選択し「削除」をクリックします。画面の指示に従ってタブレットドライバを削除します。画面にプロンプトが表示されたら、管理者ログオン名とパスワードを入力してください。タブレットドライバをアンインストール後に、コンピュータを再起動してください。

Mac： 「Finder」の「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。「ワコムタブレット ユーティリティ」アイコンをダブルクリックして、タブレットドライバ項目の「削除」ボタンを選択します。「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。削除が終了したら、「OK」をクリックします。タブレットドライバをアンインストールしたら、コンピュータを再起動してください。

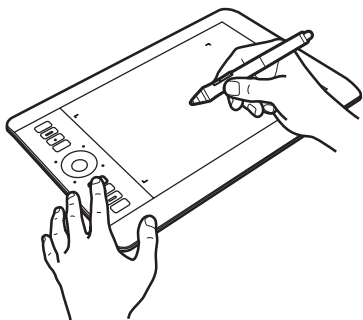
補足：パスワードとは Mac のログインパスワードです。



エクスプレビューを使う

ファンクションキーの1つに指で触れる（タッチする）と、お使いのメインディスプレイにエクスプレビューが表示されます。

下図は Intuos5 touch medium(PTH-650) ファンクションキーの、標準設定を表します。



- タッチしたファンクションキーがハイライトで表示されます。ファンクションキーの列に沿って指を動かして、画面の他のキーをハイライトさせます。無効なファンクションキーがある場合、そのキーは無効として表示されるか、またはキーそのものが表示されない場合もあります。
- ファンクションキーから指を離すか、または一定時間を超えてキーの上に指を置き続けると、エクスプレビューの表示は閉じます。

補足：ファンクションキーを押しても、エクスプレビューは起動できません。

エクスプレビューの表示を無効にするには、コントロールパネルを開いて「ファンクションキー」タブを選択し、「エクスプレビューを表示」ボックスのチェックを外します。

再度エクスプレビューを有効にするときは、「エクスプレビューを表示」ボックスにチェックを入れます。



設定ファイルの管理

ワコムタブレットの設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザーまたはマルチユーザーのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

Windows の場合：最初に起動中のソフトウェアをすべて終了します。次に、「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- ログインユーザーの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「削除」をクリックします。
- マルチユーザーの設定ファイルを削除するには、「すべてのユーザーの設定ファイル」から「削除」をクリックします。すべてのユーザーの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「バックアップ」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「復元」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Mac の場合：最初に「アプリケーション」フォルダを開きます。次に「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「削除」をクリックします。ログアウトしてから再度ログオンします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「バックアップ」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「復元」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。



複数タブレットの設置

お使いのシステムに検出されたタブレットは、コントロールパネルの「タブレット」リストにアイコンとして表示されます。

入力デバイスとソフトウェアをカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートされているタブレットがコンピュータに接続されていないときは表示されません。
- 接続されているタブレットの設定を、表示または変更することができます。



タブレットを追加する場合は、追加するタブレットをコンピュータに接続してください。システムが自動的にタブレットを認識して初期化し、コントロールパネルにタブレットアイコンを表示します。

重要：複数のタブレットを Windows システムに追加する場合、ソフトウェアによっては追加されたタブレットでテールスイッチ（消しゴム）が機能しない場合があります。最初にコントロールパネルに設置されたタブレットでは、正しく機能します。

ドライバから複数あるタブレットのうちの1つを削除するには：削除するタブレットを選択します。「タブレット」リストのとなりにある [－] ボタンをクリックします。

- コントロールパネルの「タブレット」リストからタブレットを削除するには、タブレットとコンピュータが接続されている必要があります。
- タブレットをドライバに再度追加するには、先にコンピュータを再起動する必要があります。



タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ファンクションキーまたはタッチホイール機能を直接コントロールするように設計されているものがあります。

このようなソフトウェアでは、ファンクションキーまたはタッチホイールがコントロールパネルで設定されている機能とは異なる動きをする場合があります。

- ファンクションキーの1つがソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションキーの設定は自動的に更新され、「アプリケーションの設定に従う」が表示されるか、または新しい機能名が付けられます。ソフトウェアによっては、ファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- タッチホイールの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、すべてのタッチホイール機能が影響を受けます。ソフトウェアがタッチホイール機能の一部を書き換えると、残りの機能は「スキップ」に設定されます。
- ソフトウェアが実行中または画面の最前面にある場合のみ、このソフトウェアはファンクションキーあるいはタッチホイールの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了する（または作業するために別のソフトウェアのウィンドウ枠を選択する）と、コントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の最前面にあるソフトウェアに対して、ファンクションキー、タッチホイールまたはペンの機能の設定を確認するには、ファンクションキーを「[設定内容の表示](#)」に設定し実行します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、ワコム製品の使用にあたり、この機能を選択しないかまたは無効にできます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアで提供される取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、コントロールパネルを使って、[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成するための情報については、[特定のアプリケーションソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

重要：特定のソフトウェアに対する設定を、タブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはタッチホイールに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。





上級者向けの設定を組み込む

上級者向けの設定を組み込む機能によって、XML(Extensible Markup Language) ファイルの指定どおりにカスタマイズされたコントロールパネルの設定を組み込むことができます。

- ソフトウェア開発者によっては、そのソフトウェアをワコム製品で使用する際に最適なパフォーマンスが得られるよう、特別に設計されたカスタム設定ファイルを作成している場合があります。
- お使いの製品で利用できるカスタム設定ファイルについては、ワコムのホームページをご覧ください。
- XML ファイルによっては、複数のソフトウェアに対応してカスタマイズされた設定を含む場合があります。これらの設定はファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニュー、あるいはペンのサイドスイッチおよび消しゴム機能に適用できる場合があります。

上級者向けの設定を組み込むには：

1. 特定のソフトウェアでの使用に対応した XML ファイルを選択します。選択したファイルをダブルクリックします。
2. 確認ダイアログの指示を確認し、指示に従って操作します。
 - 複数のソフトウェアに対応する設定が組み込まれると、それらのソフトウェアの以前の設定は書き替えられる場合があります。
 - 上級者向けの設定を組み込む前に、コントロールパネルの既存設定をバックアップしておくことをおすすめします。
 - 設定の組み込みを途中で中止したり、再開することができます。
3. 設定の組み込みを選択した場合、XML ファイルで記述された設定のみが組み込まれます。対応するすべての設定は、新しい設定値で書き替えられます。それ以外のすべての既存設定は変更されません。

組み込みが完了したら、新しい設定をコントロールパネルで確認することができます。



エアブラシとアートペンを使う



オプション品のエアブラシは、グリップペンのように使うことができ、さらに付属のホイールを使って、エアブラシの太さなどに変化を与えることができます。

エアブラシを親指と中指で持ちます。人差し指で回転させやすい位置にホイールを配置します。エアブラシを傾けて、筆圧を使用して色を塗ったり絵を描いたりするのに適した位置を探します。

ソフトウェアのサポートにより、エアブラシの写実的な描写がシミュレートできます。例えば、ペン先の筆圧でブラシのサイズをコントロールしたり、エアブラシを傾げることでスプレーパターンを長くできます。また、ホイールを回転させることでスプレーの強さを調節します。

サイドスイッチ

標準設定：

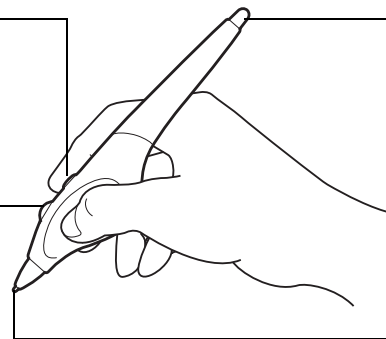
Windows: 「右ボタンクリック」

Mac: 「ダブルクリック」

ホイール

手前に回転させると、インクの量またはブラシのサイズが大きくなり、奥へ回転させると小さくなります。

人差し指でホイールを操作します。ホイールはペン先に適する筆圧とは無関係に操作できます。



テールスイッチ

ペン先 (芯) は交換可能です。

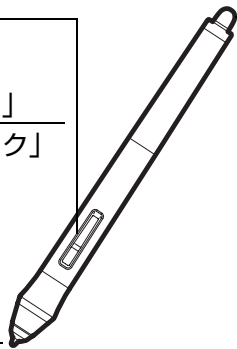
オプション品のアートペンは、ペンに与える筆圧、傾き、回転に対応します。

サイドスイッチ

標準設定：

上側: 「ダブルクリック」

下側: 「右ボタンクリック」



テールスイッチ

回転はサポートしていません

ペン先 (芯) は交換可能です。

アートペンは、ペン軸 360° の回転をサポートします。回転の検出をサポートするソフトウェアで使用すると、アートペンを少し回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。

絵を描いているとき、非円形のブラシの回転を様々に変えることにより、ストロークの線幅を変化させることができます。ソフトウェアで選択したブラシの形の特徴に応じて、カリグラフィペン、幅広のフェルト芯アートペンやその他の非円形のブラシまたはツールをシミュレートできます。

重要：エアブラシまたはアートペンを使用していないときは、机の上に横にして置いてください。入力デバイスの感度を保持するために、ペン先やテールスイッチ（消しゴム）に接触するような入れ物に入れて保管しないでください。また、タブレット上に Intuos5 シリーズの入力デバイスを置いたままにすると、通常のマウスなどを使う場合、ポインタの移動ができない場合があります。

[ワコムホームページ](#)で、エアブラシのホイール、アートペンの回転をサポートしているソフトウェアを確認できます。エアブラシとアートペンの購入方法については、[オプション品の注文](#)をご覧ください。

マウスの使用

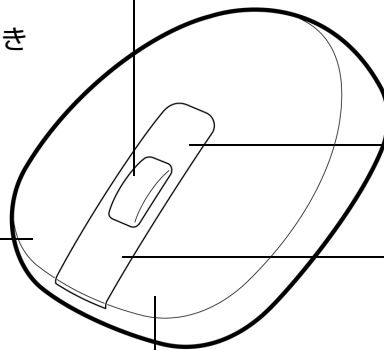
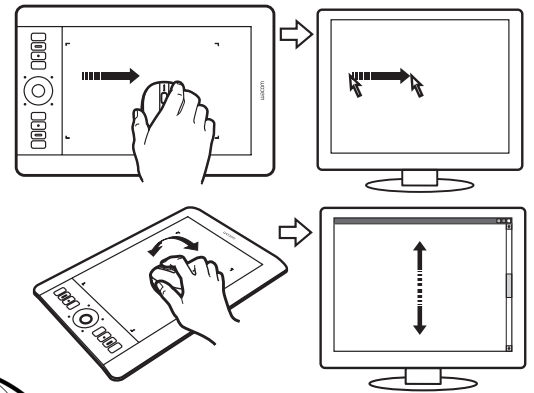
オプション品のマウスはコードレスで電池レスです。Intuos5 シリーズで動作します。

タッチホイール

ホイールは回転させる、および押す（追加のボタン機能）のどちらかで操作できます。

- ホイールを回転すると、ほとんどの画面やソフトウェアでスクロールが実行されます。ホイールを手前に回すと下方向に、逆に回すと上方向にスクロールされます。
- ホイールを押すと、「中ボタンクリック」が実行されます。

ヒント：ホイールマウスをサポートする Microsoft Office では、[Ctrl] キーを押しながらホイールを回転させると、ズーム操作を実行することができます。



右ボタン

押すと、コンテキストメニューが表示されます。

左ボタン

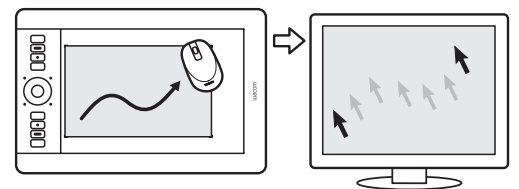
標準設定で「クリック」が設定されています。オブジェクトの選択で使用します。

奥と手前のボタン

インターネットブラウザの「進む」と「戻る」に相当します。

マウスボタンの標準設定

左ボタン：	「クリック」
右ボタン：	「右ボタンクリック」
中ボタン：	「中ボタンクリック」
奥：	「進む」
手前：	「戻る」



マウスモードの設定

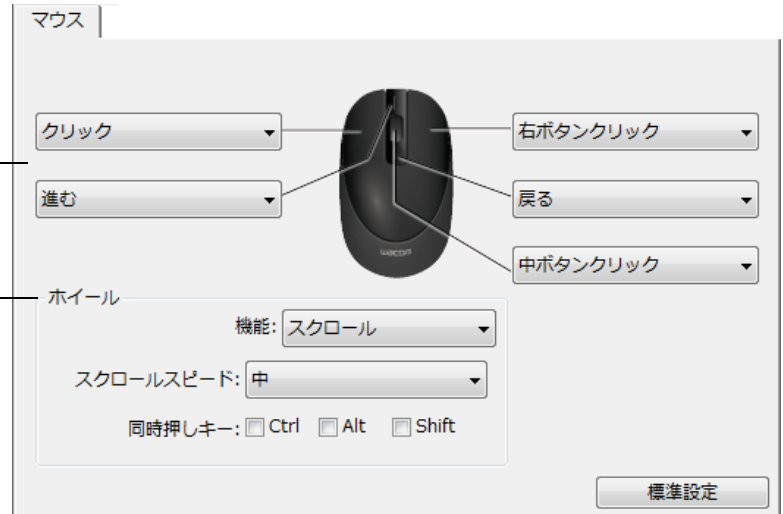
重要：オプションのマウスを使用しないときは、机の上に置いてください。入力デバイスをタブレットの上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使うとき、ポインタの位置決めができなくなる場合があります。また、コンピュータがスリープしなくなる場合があります。

[マウスボタンのカスタマイズ](#)もご覧ください。

マウスボタンのカスタマイズ

マウスでコントロールパネルを開いてください。自動的に「入力デバイス」リストで「マウス」が選択されます。自動的にマウスが選択されない場合は、手動で「入力デバイス」リストから「マウス」を選択し、「マウス」タブを選択してください。

マウスボタンの [ボタン機能](#) を選択します。



「ホイール」で、ホイールのオプションを設定します。

スクロール	標準設定。「スクロールスピード」：ホイールを 1 ノッチ（目盛り）回転させたときのスクロールの速度を選択します。 「同時押しキー」：スクロールしながら押す修飾キーを選択します。ズーム操作、または他の操作をソフトウェア内で実行する場合に使えます。 (Mac の場合：[option]、[command (アップルキー)]、[control]、[shift] キーを利用できます。)
キーストローク	「 キーストローク 」オプションを選択して、機能をホイールに割り当てます。繰り返しの多い機能を使用する場合に役立ちます。設定したキーストロークは、ホイールの 1 ノッチ（目盛り）につき 1 つ送られます。 キーストローク動作の速度を 2 倍にするには、「キーストロークを登録」ダイアログボックスで 2 度キーストロークを入力してください。
無効	ホイール機能を無効にします。

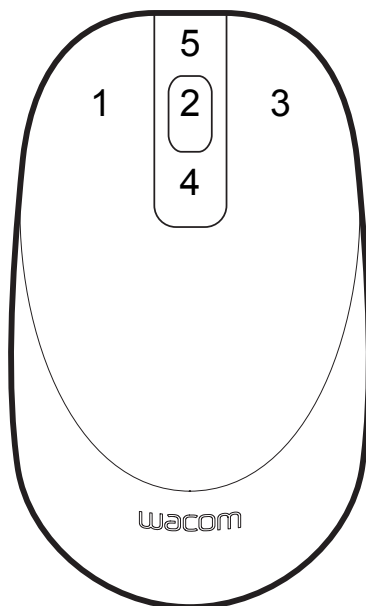
マウスボタンは複数同時押しが可能です。たとえば、1 つのボタンに [Ctrl] キーを、別のボタンに [Alt] キーストロークをシミュレートするよう設定した場合、両方のボタンを押すと、[Ctrl]+[Alt] が実行されます。

補足：左手操作用のマウスを設定するには、必要に応じてボタン機能を再度割り当てます。コントロールパネルを開いて、「オプション」をクリックして、「利き手の設定」で「左」を選択します。



マウスのテスト

1. コントロールパネルから「診断」ダイアログボックスを開きます。[タブレットおよび入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。
2. 「診断」ダイアログボックスを開いたまま、マウスをタブレットの操作エリアに置きます。各ボタンをクリックして、ボタンをテストします。タブレットのステータスランプが明るく点灯すれば正常です。また「スイッチ」の状態が変わります。



3. 「診断」ダイアログボックスを最初に開いた場合、「ホイール」の状態は0のはずです。ホイールを手前に回すと、「ホイール」の状態は0から1に変われば正常です。
 4. ホイールを奥へ回すと、「ホイール」の状態は-1まで変化すれば正常です。
- 終了したら、「閉じる」をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。





Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能



Microsoft Windows 7 (Starter を除く) および Windows Vista (Home Basic を除く) は、ペン入力機能に対応しています。Intuos5 シリーズとワコムペンを使用して、素早く直感的な反応をお確かめください。

- **手書きメモ帳機能**：Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書きこむことができます。手書き入力した内容を確認するには、Windows Journal の検索エンジンを使用します。
- **手書き文字認識機能**：タブレットで素早く書いた手書き文字をテキストに変換する機能です。
- **ジェスチャー機能**：タブレットの操作面での簡単な動作によって、カスタマイズ可能な操作を実行できます。ジェスチャー機能をカスタマイズするときは、Windows 7 の「ペン&タッチ」、または Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの「フリック」タブを選択します。
- **Office 2007 デジタルインク機能**：タブレットを接続し、ペンを使って手書き文字や図形などを自由に書き込むことができる機能です。デジタルインク機能は、該当する各ソフトウェアの「レビュー」タブにありますので、ご活用ください。

Windows 7 または Windows Vista Tablet PC 入力パネルによって、ワコムペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力することができます。

また、以下のようにして入力パネルを起動することもできます。

- 画面のポインタをテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右ボタンクリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルを無効にするには：

1. 「Tablet PC 入力パネル」を開きます。
2. 「ツール」「オプション」の順に選択します。
3. 「開き方」タブを選択して、次のボックスのチェックを外します：
 - 「タブレットペン入力の場合、テキストボックスの横にアイコンを表示する」
 - 「入力パネルタブを使用する」
4. 「OK」をクリックします。

詳しくは、Windows トレーニングツールおよび Tablet PC チュートリアルを含め、ご使用システムの付属文書を参照してください。「Tablet PC ペントレーニング」を起動するには、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」、「TABLET PC」、「TABLET PC ペントレーニング」の順に選択します。「スタート」メニューからトレーニングツールを起動できない場合は、Windows のヘルプを検索してください。

Windows のデジタルインク入力機能に関する追加情報は、Microsoft のホームページで検索してください。

補足：ワコムタブレットドライバでは、Windows 7 および Windows Vista での描画性能改善のために、下記の次善策をとっています。

- ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、Wintab API を使うグラフィックソフトでは無効になります。
- Windows 7 の「ペンとタッチ」コントロールパネル、または Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」の両方の機能を無効にして、Windows Journal や他のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。





製品情報

Intuos5 シリーズに関する詳細や、Windows 7 および Windows Vista で様々なペン機能と[デジタルインク](#)機能をフルに活用する方法やソフトウェアについては、ワコムのホームページ (<http://tablet.wacom.co.jp>) をご覧ください。





オプション品の注文

Intuos5 シリーズはクリエイティブな仕事に携わる方に最適なツールです。グリップペンやその他の入力デバイスを組み合わせ、イラスト作成や画像編集を行うことができます。グリップペンやその他の入力デバイスにはそれぞれ固有のデバイス ID が書き込まれ、それぞれに設定を記憶することも可能です。Intuos5 シリーズの機能を最大限に使いこなすために、ワコムのホームページでオプション品の情報をご覧ください。

これらの入力デバイスやその他のオプション品を購入するには、ワコムのホームページをご覧ください。
<http://store.wacom.jp/>





用語

エクスパンド [タッチによる操作](#)での動作の 1 つ。2 本の指をくっつけた状態でタブレットにタッチし、次にタブレットに触れたまま指を開きます。

回転 [タッチによる操作](#)での動作の 1 つ。2 本の指を少し開いてタブレットにタッチし、円を描くように順方向／逆方向に回します。または 1 本の指を固定して、もう一方の指を固定した指の周囲を巡るように回します。

傾き感度 入力デバイスが傾く角度を読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、傾き対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

画面のポインタ 表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、ボックスなど、様々な形に変わります。

クリック圧 クリックするとき、ペン先にかかる力の大きさ。

消しゴム対応 消しゴム機能に対応しているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

操作エリア タッチまたは入力デバイスが検出されるタブレット上の操作領域および描画領域。[タッチセンサー](#)をご覧ください。

修飾キー 修飾キーには、Windows では「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーが、Mac では「shift」、「control」、「command」、「option」キーが含まれます。サイドスイッチやファンクションキーを、修飾キーが実行されるようにカスタマイズすることができます。

芯 ペン先で交換が可能な部分。

スワイプ [タッチによる操作](#)での動作の 1 つ。3 本、4 本または 5 本の指でタブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

タッチセンサー タッチ入力を検出するための Intuos5 シリーズの操作領域。タッチセンサーは操作エリア内にあり、ペン入力は検出しません。

タッチ入力 タブレット上で指先でコンピュータを操作する方法。[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。

タッチホイール タブレット上にある、カスタマイズ可能なリング状の装置です。

タップ [タッチによる操作](#)での動作の 1 つ。指 1 本でタブレットにタッチしてから離します。

縦横比 タブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。





ダブルクリックアシスト ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単に
するコントロールパネルの機能。

ダブルクリック距離 ペン先でダブルクリックするとき、2 回目のクリックですれでもよい距離を画面
のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックはしやすくなりま
すが、グラフィックソフトによっては、線の引き初めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線
が現れないことがあります。

ダブルクリック速度 ダブルクリックの1回目と2回目のクリックの間隔の設定。遅くするとペン先でダ
ブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引き始めに「ダブルク
リックの速度」で設定されている時間が過ぎるまで線が現れないことがあります。

デジタルインク コンピュータへのペン入力で作成した手書きのコンテンツについての総称。この手書き
のコンテンツには、画像、インク・マークアップ、手書きがあります。手書きのコンテンツは、キーボ
ード入力されたテキストに変換するか、手書きのまま使用することができます。システムおよびソフト
ウェアの設定に応じて、デジタルインクによる手書きのテキストを書き終わった文字からすぐに変換する
ようにもできますし、最後にまとめて変換することもできます。

特定のソフトウェアに対する設定 ソフトウェアごとに入力デバイスとタブレットの設定をカスタマイズ
します。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズしま
す。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。[特定の
アプリケーションソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

トラック [タッチによる操作](#)での動作の1つ。指1本でタブレット面にタッチし、そのまま移動させま
す。

ピクセル 画面上の最小の測定単位。

筆圧対応 ペン先およびテールスイッチ（消しゴム）にかかる圧力を感知します。筆圧に対応したソフト
ウェアで、自然な感じに文字を書いたり、色を塗ったりできます。ブラシの太さなども調節できます。

筆圧対応ソフト 筆圧機能に対応するソフトウェア。

パン [タッチによる操作](#)での動作の1つ。タブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

ピンチ [タッチによる操作](#)での動作の1つ。2本の指を少し離れた状態でタブレットにタッチし、次にタ
ブレットに触れたまま2本の指をくっつけます。

ファンクションキー タブレットに装備されたカスタマイズ可能なコントロールキー。[ファンクション
キーを使う](#)をご覧ください。

ファンクションキーを左側 「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがタブ
レットの左側になります。

ファンクションキーを右側 「タブレットの向き」の設定。タッチホイールとファンクションキーがタブ
レットの右側になります。





ペアリング 2 台のデバイス間に仮想ケーブルリンクを確立する方法。

ペン入力 タブレット上でペントールを使ってコンピュータを操作する方法。

ペンモード ペン入力によるポインタの位置決め方法。ペントールをタブレット上に置くと、画面のポインタは、画面上の対応点にジャンプします。これは絶対座標で、入力デバイスの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを見つける必要はなく、ポインタをすぐに配置させることができます。マウスモードもご覧ください。

ホイール マウスとオプション品のエアブラシのコントロールホイール。

ポインタの加速 マウスモードのとき、ポインタの加速を調整することができます。

ポインタの速度 マウスモードのとき、ポインタのスピードを調整することができます。

マウスモード ポインタの位置決めの方法。入力デバイスをタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。

これは相対位置で、マウスの標準設定です。 [ペンモード](#) もご覧ください。

マッピング タブレット上の入力デバイスの位置と画面上のポインタの位置との関係。

マッピング画面切り替え マルチディスプレイ全体、または 1 つのディスプレイを使って作業できます。システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。 [マッピング画面切り替えを使う](#) をご覧ください。

読み取り高さ ペンが検出されるタブレットの [操作エリア](#) からの高さ。 [ポインタの移動](#) もご覧ください。

ラジアルメニュー 円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、デバイスボタンに機能を割り当てる必要があります。

LED Light-Emitting Diode (発光ダイオード)。タブレットの表示ランプに使用されます。

Tablet PC 入力パネル Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。入力パネルは、手書き文字をテキストに変換します。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

USB Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェースの基準。USB ポートはホットプラグに対応し、これによりコンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの接続と取り外しが可能です。

Windows Journal 紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートの特長も備えた Microsoft Windows ソフト。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、様々なペン、マーカー、ハイライトツールに加えて、ペンのテールスイッチで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

Wintab タブレットの情報を受け取る Windows ソフトによって使用されるインタフェースの基準。Intuos5 シリーズは、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアにすべて対応します。





索引

I		け	
Intuos5 touch タブレット	7	消しゴムで消す	24
Intuos5 シリーズについて	6	消しゴムの感触 (カスタマイズ)	51
Intuos5 タブレット	8	検出範囲	20
M		こ	
Mac の問題 (トラブルシューティング)	103	コントロールパネル	
T		概要	48
Tablet PC 入力パネル	119	使い方	17
U		開く	47
USB 接続ケーブル	14	さ	
W		作業環境を整える	11
Windows の問題 (トラブルシューティング)	102	し	
あ		ジェスチャー	32, 36, 37, 39
アートペン	115	進む	36
アンインストール (タブレットドライバ)	109	ファストスクロール	34
え		戻る	36
エアブラシ	115	充電式リチウムイオン電池	
エクスプレビュー	110	電池寿命	84
お		電池を交換する	85
お手入れ	107	取り付け	78
か		芯を交換する	108
カスタマイズ		せ	
Intuos5	46	設定	
消しゴムの感触	51	コントロールパネル	48
タッチ機能	40	タブレットの向き	13
タッチホイール	56	そ	
ダブルクリック距離	51	操作エリア	15
ファンクションキー	55	た	
ペン		正しい姿勢	11
傾き感度	54	タッチ入力	
サイドスイッチ	53	1 本指での操作	31
入力	50	2 本指での操作およびジェスチャー	32
ペン先の感触	51	3 本指でのジェスチャー	36
ボタン機能	61	4 本指でのジェスチャー	37
ラジアルメニュー	68	5 本指でのジェスチャー	39
画面を見ながらペンを使う	24	オプション	30
き		カスタマイズ	40
機能 (ボタン)	61	基本操作	31, 32
く			
クリック (タッチ)	31		
クリック (ペン)	21		





タッチ入力時の問題（トラブルシューティング）	99	消しゴムを使う	24
タッチによる操作	30	サイドスイッチ	
使ってみよう	29	カスタマイズ	53
タッチホイール		使う	22
カスタマイズ	56	芯を交換する	108
使う	28	ダブルクリック	21
ダブルクリック距離のカスタマイズ	51	テスト	94
ダブルクリック（タッチ）	31	特徴	10
ダブルクリック（ペン）	21	ドラッグする	21
タブレットドライバ		入力時の問題（トラブルシューティング）	96
アンインストール	109	筆圧を使って書き込む	23
ドライバのダウンロード	106	筆圧を使って線を引く	23
		ペン先の交換	108
て		持ち方	19
テクニカルサポート	105	ペン先	
デジタルインク機能	119	交換	108
テスト		ほ	
タッチホイール	93	ポインタの移動（ペン）	20
タブレット	90	保管	107
ファンクションキー	93	ボタン機能	61
ペン	94	本書について	5
電池寿命	84	ま	
電池を交換する	85	マウス	116
と		マッピング	
ドライバのダウンロード	106	タブレット操作エリア	60
トラック	31	表示エリア	59
ドラッグする（タッチ）	31	マルチディスプレイ	17
ドラッグする（ペン）	21	マルチディスプレイ	17
ドラッグロック	31	も	
トラブルシューティング	89	持ち方（ペン）	19
Mac の問題	103	ら	
Windows の問題	102	ラジアルメニュー	68
一般の問題	95	わ	
情報	95	ワイヤレスキット	
タッチ入力の問題	99	構成	77
ペン入力の問題	96	取り付け	78
ワイヤレス通信の問題	100	ワイヤレス通信	77
ひ		最適化	80
左クリック	32	状態の確認	82
筆圧を使って書き込む	23	省電力機能	83
筆圧を使って線を引く	23	ワイヤレス通信の確立	79
ふ		ワイヤレスモジュール	78, 86
ファンクションキー		ワイヤレスレシーバー	78, 87
カスタマイズ	55		
使う	26		
へ			
ペン			
カスタマイズ	50		
クリック	21		



このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

お問い合わせ

FAX 送付先 : 03-5337-6514

修理依頼

受付 No. _____

発信	年	月	日
----	---	---	---

お客さま	フリガナ		会社名	
	氏名		(学校名) ・所属部署	
	使用場所	会社(学校)・自宅	連絡先	会社(学校)・自宅
	住所	〒 _____ ※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。 E-mail : _____		
	TEL	()	FAX	()

タブレット	型式	PTH - 450、PTH - 650、PTH - 850、 PTK - 450、PTK - 650	シリアル番号	
	タブレットドライバ	バージョン : _____		
	購入年月日	年	月	日

使用環境	使用 コンピューター	メーカー :	機種名 :		
		モデム内蔵 Yes ・ No	使用 OS	(バージョン : _____)	
	使用アプリケーション	(バージョン : _____)			
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他の USB 機器			
		USB ハブ			
		ディスプレイ			
		ビデオカード			
その他					

内容	現象発生日	年	月	日
	現象発生頻度	常時・ときどき (システム起動時・使用中・その他 : _____)		
	内容			

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。



Wacom International Offices

株式会社ワコム TABLET SALES DIVISION

〒160-6131
東京都新宿区西新宿 8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー 31 階
インターネット：<http://wacom.jp/>
ワコムサポートセンター
電話：0570-05-6000
受付時間 平日 9:00 ~ 20:00
土曜 10:00 ~ 17:00
(日曜、祝日、および年末年始など
弊社指定休日を除く)

Wacom Technology Corporation

1311 SE Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone
General: +1-360-896-9833
Fax: +1-360-896-9724

Wacom China Corporation

Unit 2807, 28th Floor, SK Tower,
No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,
Beijing, China 100022
<http://www.wacom.com.cn>

Wacom Australia Pty. Ltd.

Unit 8, Stage 1 Cumberland Green
2-8 South Street, Rydalmere
NSW 2116 Australia
Telephone
General: +61-2-9422-6700
Fax: +61-2-9420-2272

Wacom Taiwan Information Co., Ltd.

9F-1, No.237 Songjiang Rd.,
Zhongshan Dist. Taipei 104
Taiwan
Telephone: +886-2-2516-1718
Fax: +886-2-2516-5100

Wacom India Pvt. Ltd.

2nd Floor, Elegance Tower
District Centre, Mathura Road
New Delhi 110025, India
Telephone: +91-11-40601200
Fax: +91-11-40601235

Wacom Co., Ltd. ASIA PACIFIC DIVISION

Asia Pacific Office
Sumitomo Fudosan Shinjuku Grand Tower 31F,
8-17-1 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-6131,
Japan
Telephone
General: +81-3-5337-6709
Fax: +81-3-5337-6514

Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9,
47807 Krefeld,
Germany
Telephone
General: +49-(0)2151-3614-0
Fax: +49-(0)2151-3614-111

Wacom Korea Co., Ltd.

Rm #1211, 12F, KGIT Sangam Center,
402 worldcup bukro, Mapo-gu,
Seoul 121-913, Korea
Telephone: +82-2-557-3894
Fax: +82-2-557-3895

Wacom Singapore Pte. Ltd. (Singapore)

#12-09 Suntec Tower Five
5 Temasek Boulevard,
Singapore 038985
Telephone
General: +65-6258-8640
Fax: +65-6258-8697

Wacom Hong Kong Limited

Room 2105, C C Wu Building
302-308 Hennessy Road
Wanchai, Hong Kong
Telephone: +852-25739322
Fax: +852-25739500

